

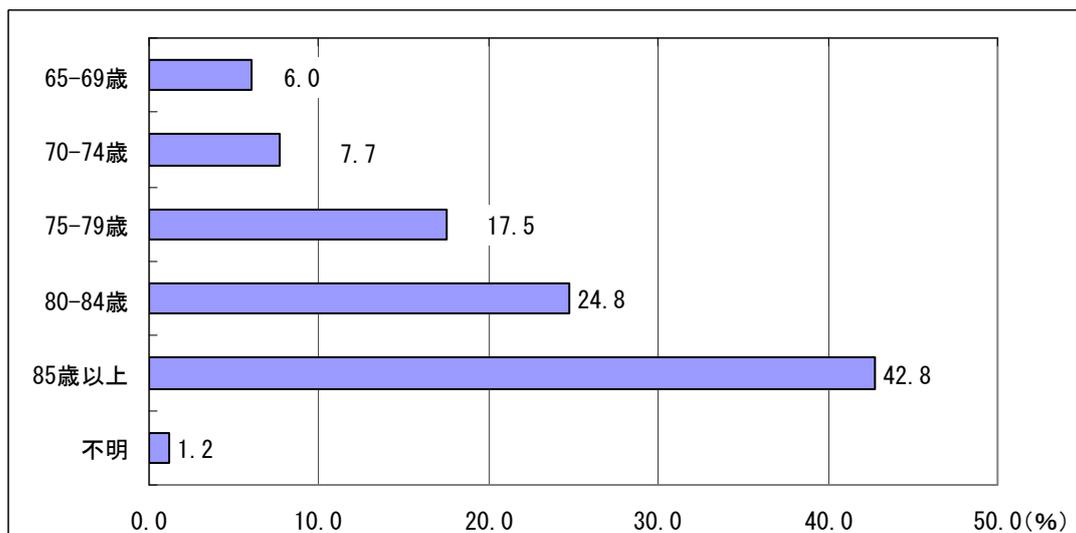
Ⅲ 要介護者

1. 回答者の属性

(1) 年齢

年齢については、「85歳以上」の割合が42.8%と最も高く、次いで、「50-84歳」が24.8%となっています。

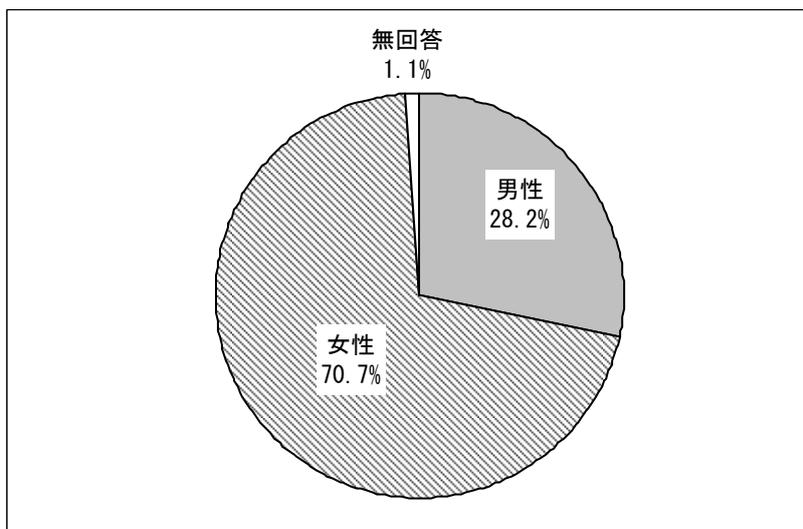
図表 163 年齢[N=1,000]



(2) 性別

性別については、「女性」が70.6%、「男性」が28.2%となっています。

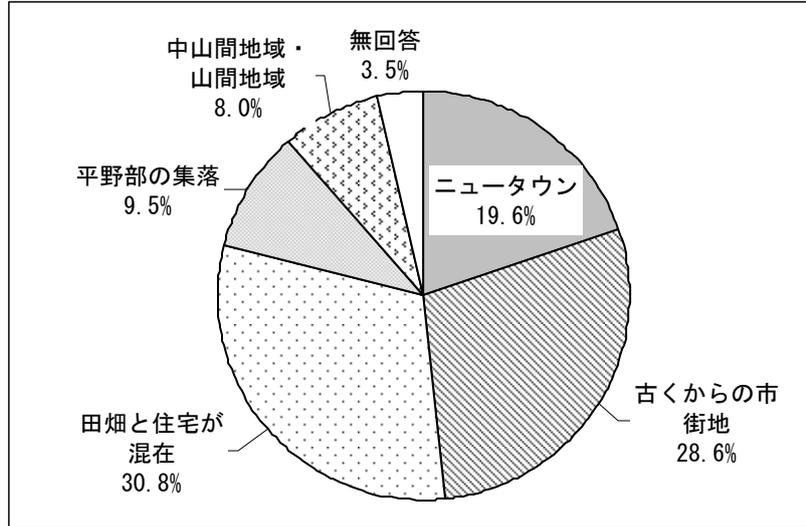
図表 164 性別[N=1,000]



(3) 居住地域の特徴

居住地域の特徴についてきいたところ、「田畑と住宅が混在」の割合が 30.8%と最も高く、次いで、「古くからの市街地」が 28.6%となっています。

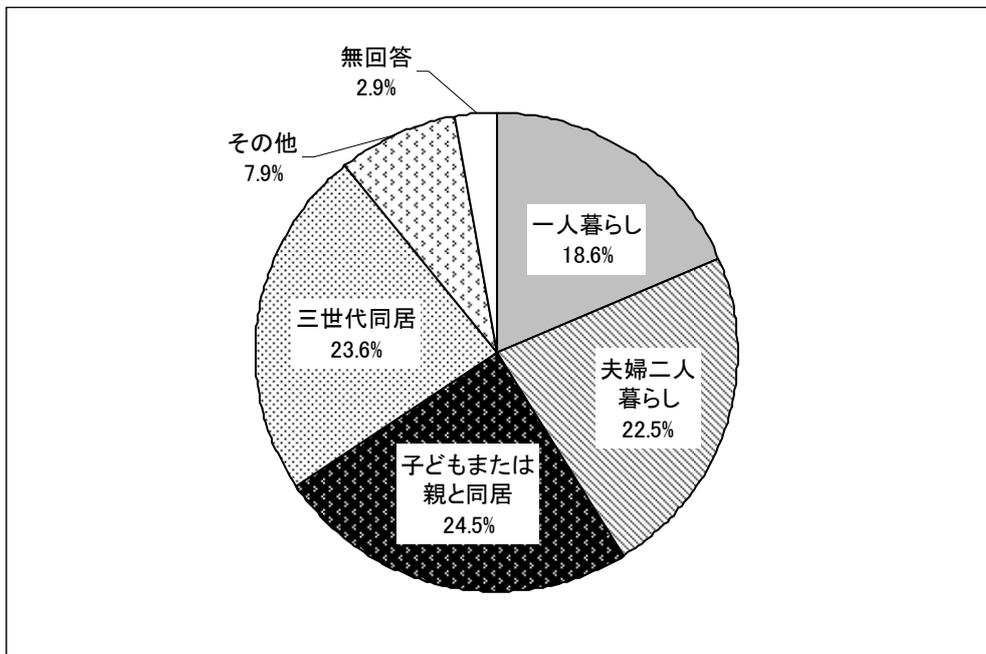
図表 165 居住地域の特徴[N=1,000]



(4) 家族構成

家族構成については、「子どもまたは親と同居」の割合が 24.5%と最も高く、次いで、「三世代同居」が 23.6%、「夫婦二人暮らし」が 22.5%となっています。

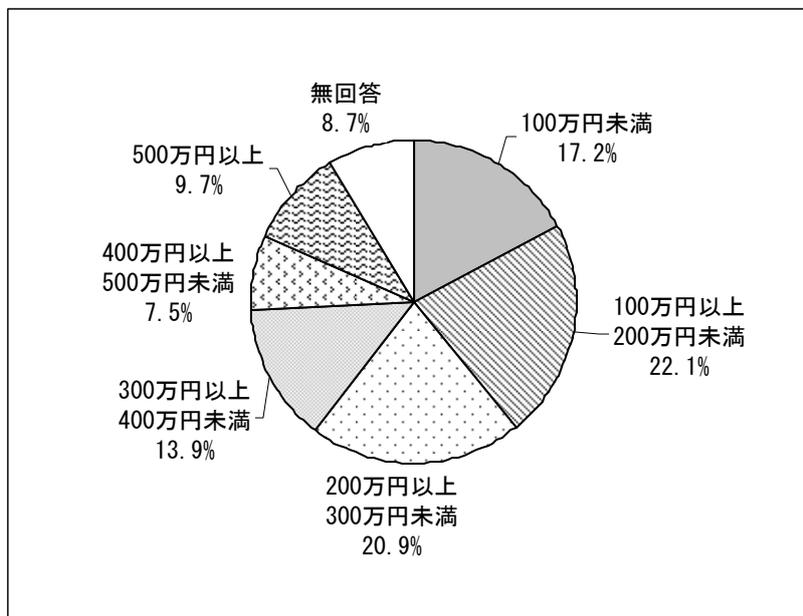
図表 166 家族構成[N=1,000]



(5) 世帯の収入状況

世帯の収入状況についてきいたところ、「100万円以上 200万円未満」の割合が 22.1%と最も高く、次いで、「200万円以上 300万円未満」が 20.8%となっています。

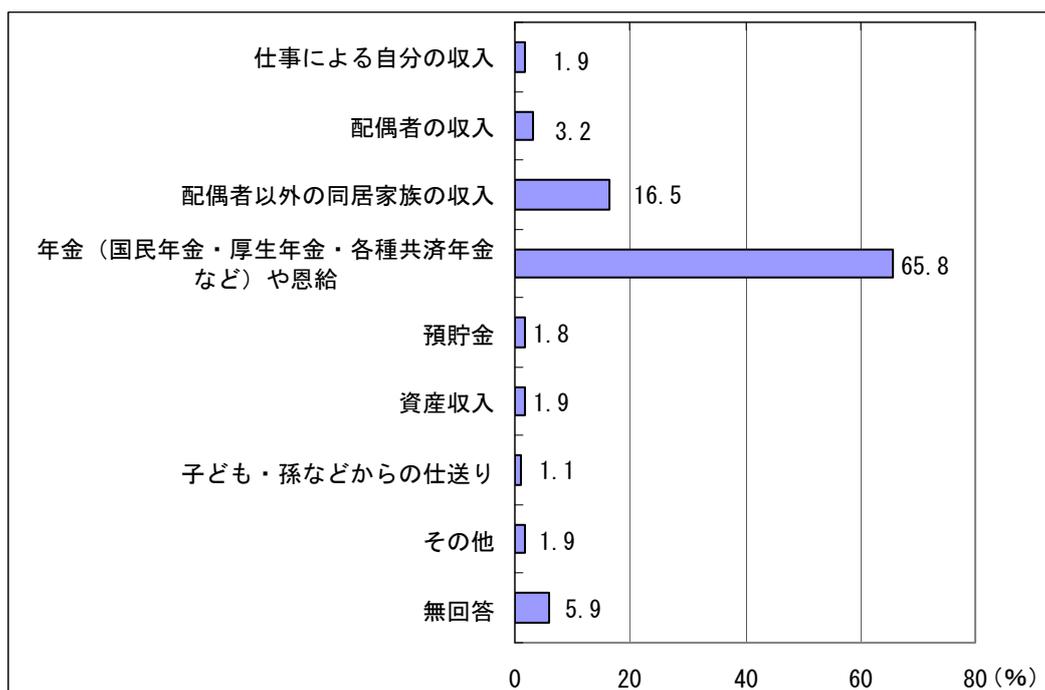
図表 167 世帯の収入状況[N=1,000]



(6) 世帯の収入源

世帯の収入源についてきいたところ、「年金（国民年金・厚生年金・各種共済年金など）や恩給」の割合が 65.7%と最も高く、次いで、「配偶者以外の同居家族の収入」が 16.5%となっています。

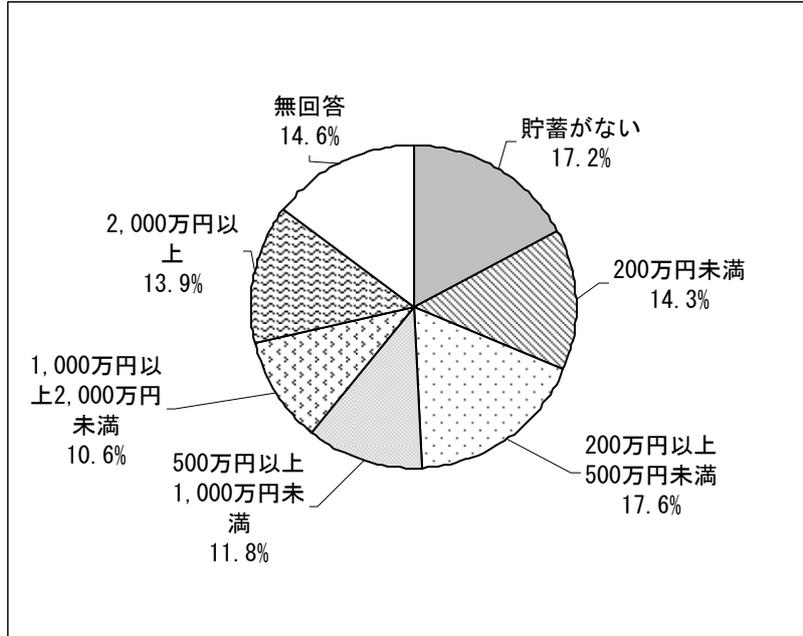
図表 168 世帯の収入源[N=1,000]



(7) 世帯の貯蓄額

世帯の貯蓄額についてきいたところ、「200万円以上500万円未満」の割合が17.5%と最も高く、次いで、「貯蓄がない」が17.2%となっています。

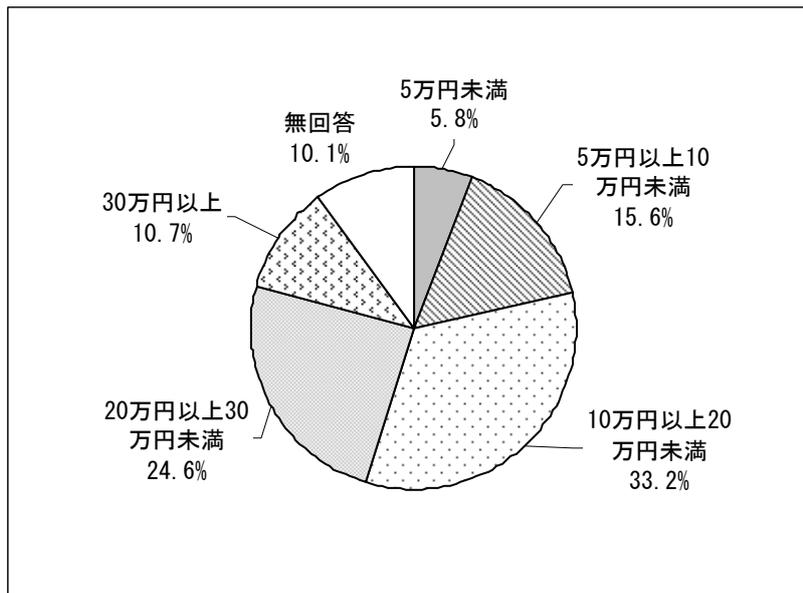
図表 169 世帯の貯蓄額[N=1,000]



(8) 世帯の1か月の生活費

世帯の1か月の生活費についてきいたところ、「10万円以上20万円未満」の割合が33.2%と最も高く、次いで、「20万円以上30万円未満」が24.6%となっています。

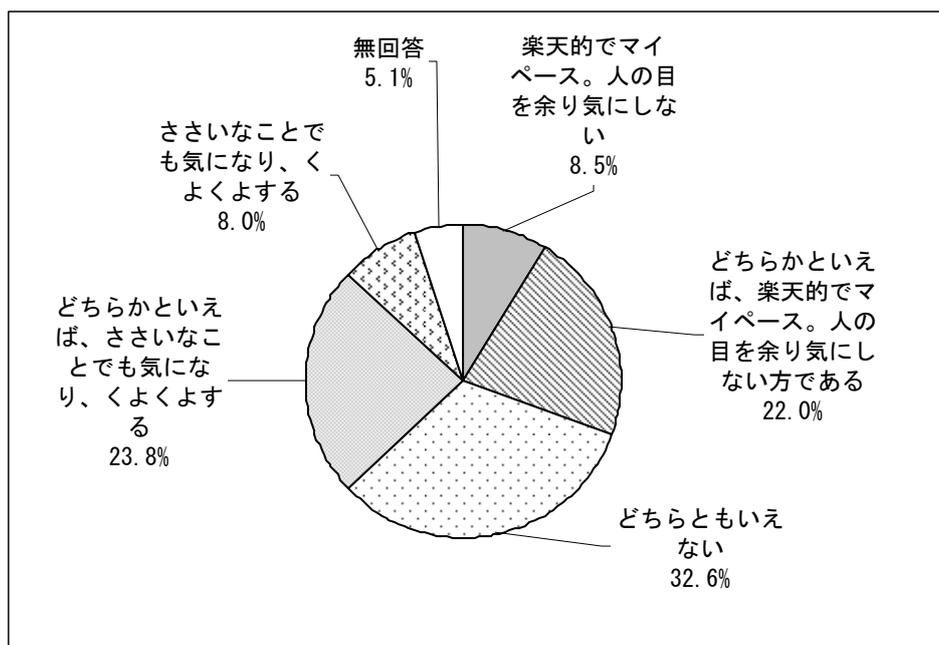
図表 170 世帯の1か月の生活費[N=1,000]



(9) 自分の性格

自分の性格についてきいたところ、「楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない」が 8.5%、「どちらかといえば、楽天的でマイペース。人の目を余り気にしない方である」が 22.0%と比較的楽天的でマイペースな人が約 31%、「どちらともいえない」が 32.6%、「どちらかといえば、些細なことでも気になる、くよくよする」が 23.8%、「ささいなことでも気になる、くよくよする」が 8.0%といった、比較的くよくよする人が約 32%となっています。

図表 171 自分の性格[N=1,000]

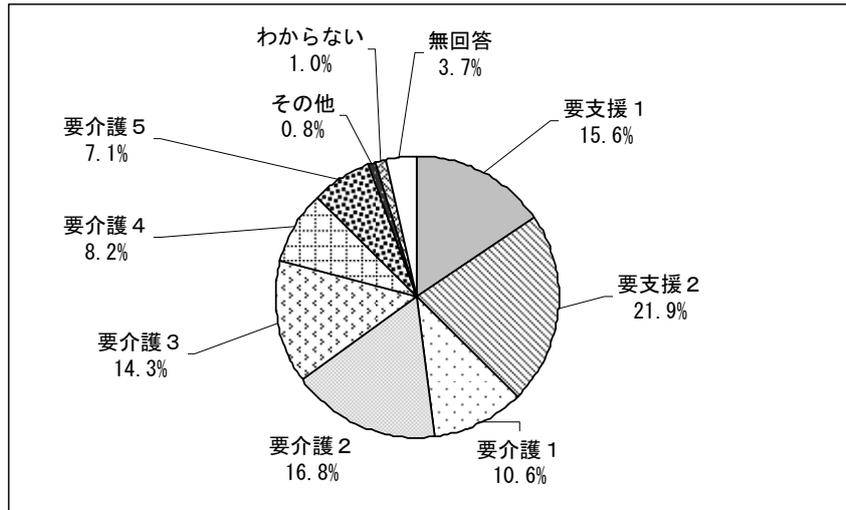


2. 心身の状況

(1) 現在の要介護度

現在の要介護度についてきいたところ、「要支援1」が15.6%、「要支援2」が21.9%、「要介護1」が10.6%と約48%が軽度となっています。また、「要介護2」が16.7%、「要介護3」14.3%といった中度が約31%、「要介護4」が8.2%、「要介護5」が7.1%といった重度が約15%となっています。

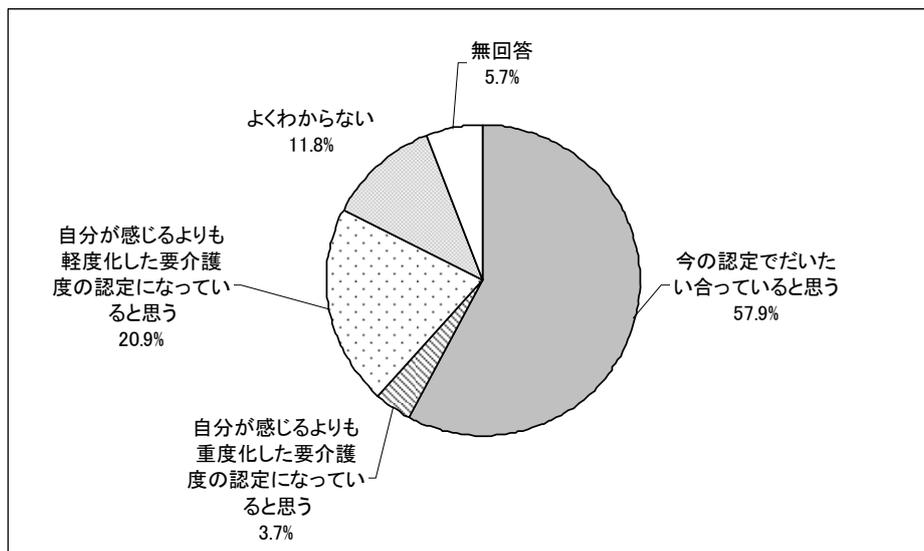
図表 172 現在の要介護度[N=1,000]



(2) 今の要介護度の認定について思うこと

今の要介護度の認定について思うことについてきいたところ、「今の認定でだいたい合っていると思う」の割合が57.8%と最も高く、次いで、「自分が感じるよりも軽度化した要介護度の認定になっていると思う」が20.9%となっています。

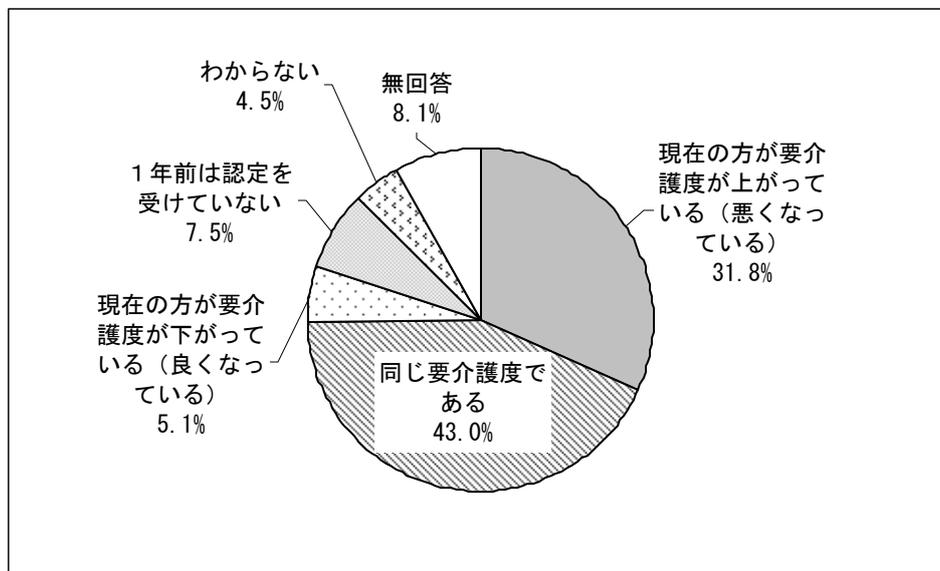
図表 173 今の要介護度の認定について思うこと[N=1,000]



(3) 要介護度の変化

要介護度の変化についてきいたところ、「同じ要介護度である」の割合が43.0%と最も高く、次いで、「現在の方が要介護度が上がっている（悪くなっている）」が31.7%となっています。

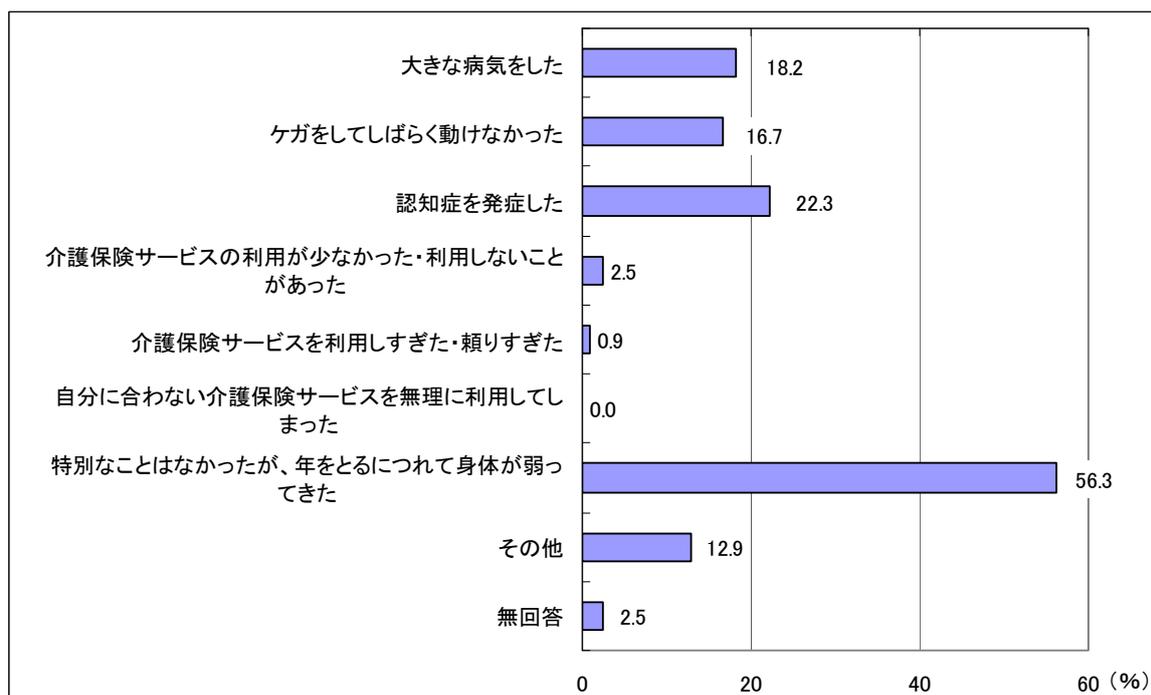
図表 174 要介護度の変化[N=1,000]



(4) 要介護度が上がっている（悪くなっている）原因

要介護度が上がっている（悪くなっている）原因についてきいたところ、「特別なことはなかったが、年をとるにつれて身体が弱ってきた」の割合が56.5%と最も高く、次いで、「認知症を発症した」が22.4%となっています。

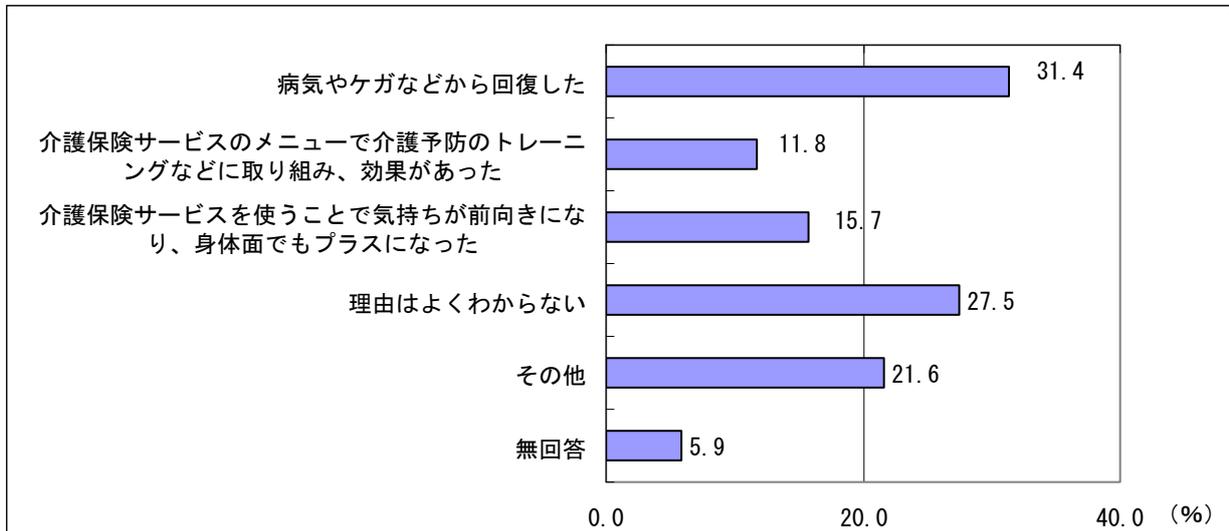
図表 175 要介護度が上がっている（悪くなっている）原因[N=317；複数回答]



(5) 要介護度が下がっている（良くなっている）理由

要介護度が下がっている（良くなっている）理由についてきいたところ、「理由はよくわからない」の割合が 27.5%と最も高く、次いで、「病気やケガなどから回復した」が 31.4%となっています。

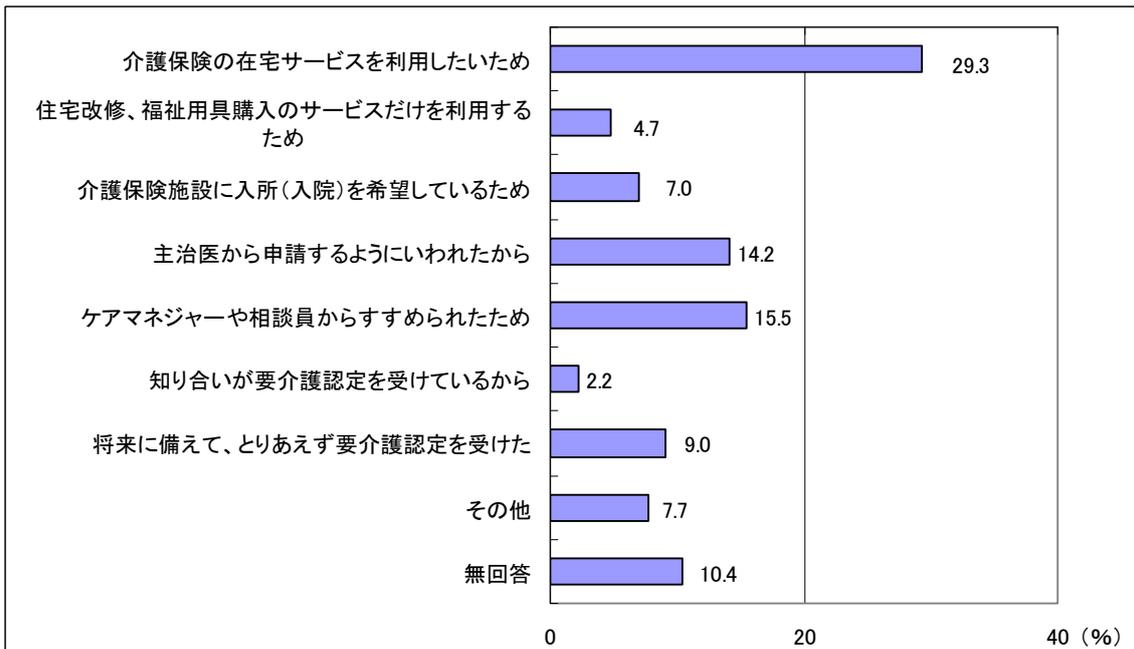
図表 176 要介護度が下がっている（良くなっている）理由[N=51；複数回答]



(6) 要介護認定を申請した主な理由

要介護認定を申請した主な理由についてきいたところ、「介護保険の在宅サービスを利用したいため」の割合が 29.3%と最も高く、次いで、「ケアマネジャーや相談員からすすめられたため」が 15.5%となっています。

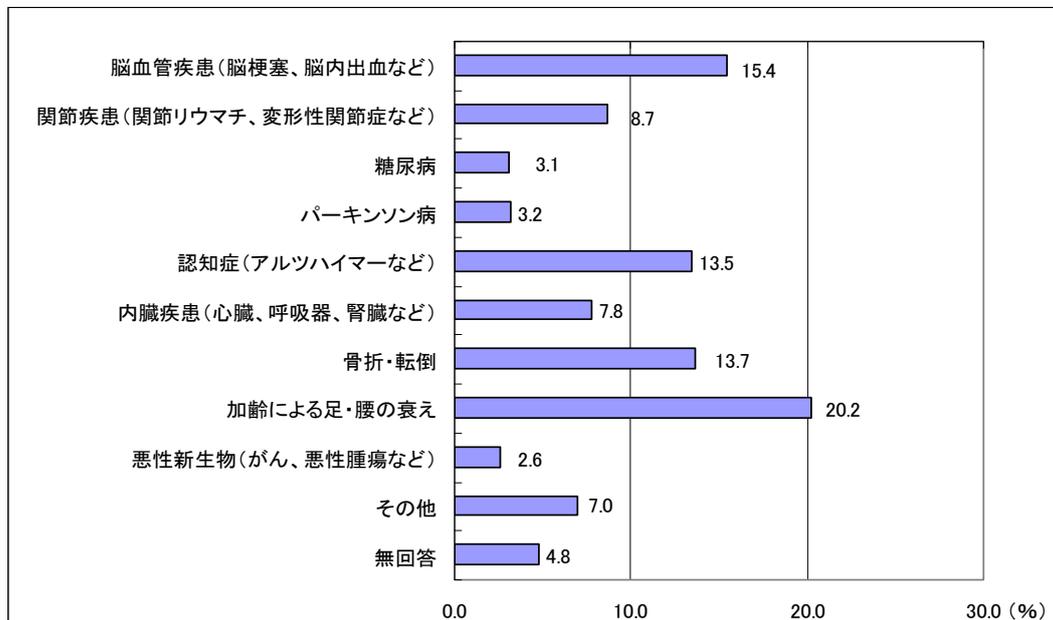
図表 177 要介護認定を申請した主な理由[N=1,000]



(7) 要介護認定を申請するきっかけ

要介護認定を申請するきっかけについてきいたところ、「加齢による足・腰の衰え」の割合が20.2%と最も高く、次いで、「脳血管疾患（脳梗塞、脳内出血など）」が15.4%となっています。

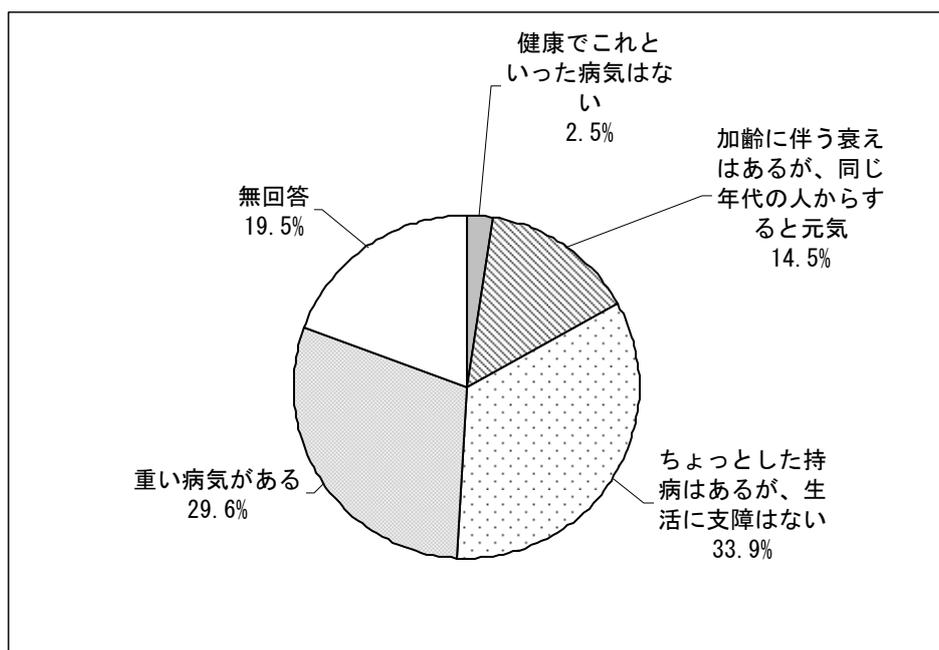
図表 178 要介護認定を申請するきっかけ[N=1,000]



(8) 現在の健康状態

現在の健康状態についてきいたところ、約半数が健康であったり、病気はあるものの生活に支障がないとしており、なかでも「ちょっとした持病はあるが、生活に支障はない」が33.9%と最も高くなっています。一方、「重い病気がある」が29.6%となっています。

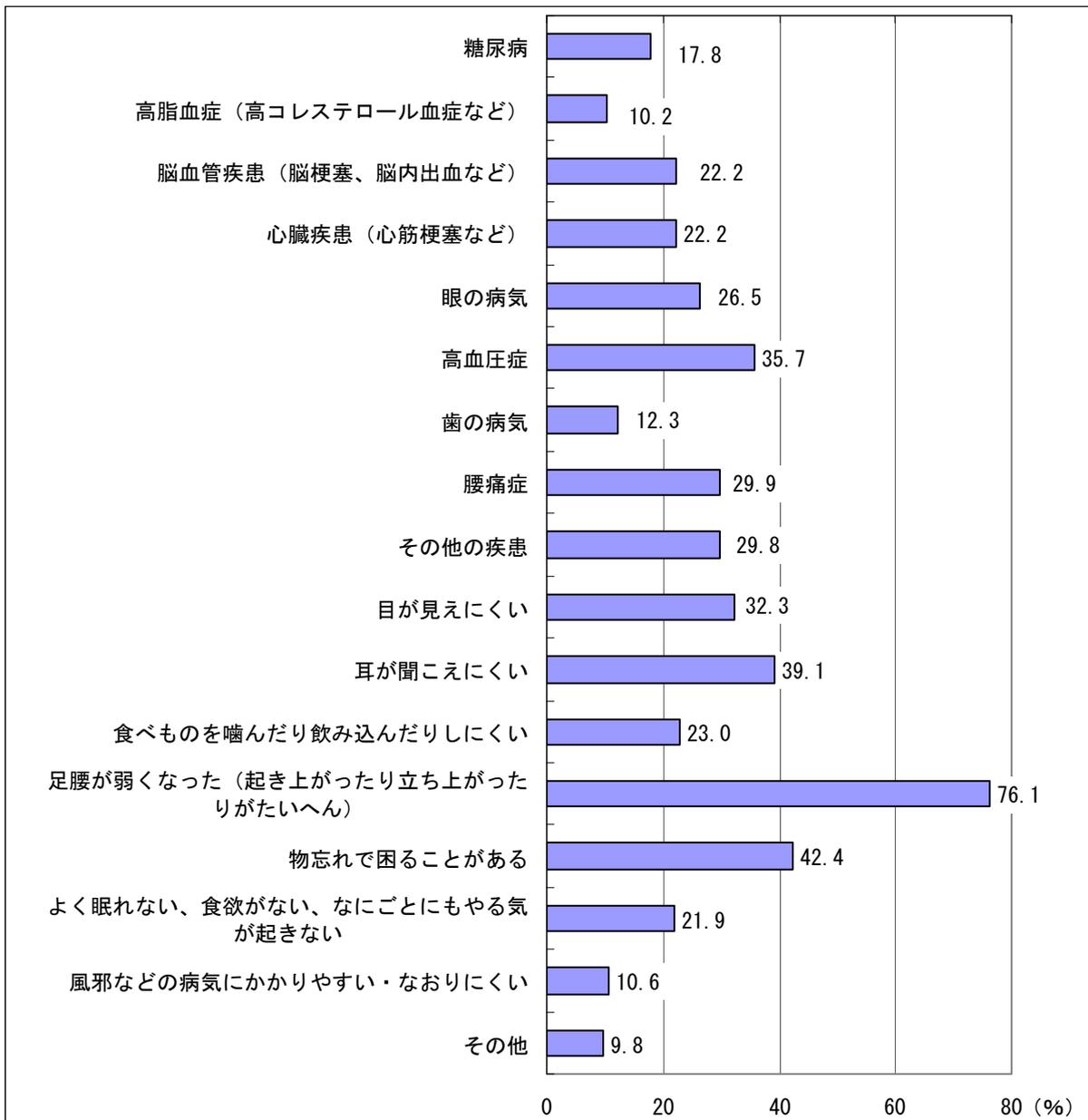
図表 179 現在の健康状態[N=1,000]



(9) 治療中の疾患や健康状態

治療中の疾患や健康状態についてきいたところ、「高血圧症」の割合が 35.7%と最も高く、次いで、「腰痛症」が 29.9%となっています。また、健康状態については、「足腰が弱くなった（起き上がったり立ち上がったりがたいへん）」の割合が 76.1%と最も高く、次いで、「物忘れで困ることがある」が 42.4%となっています。

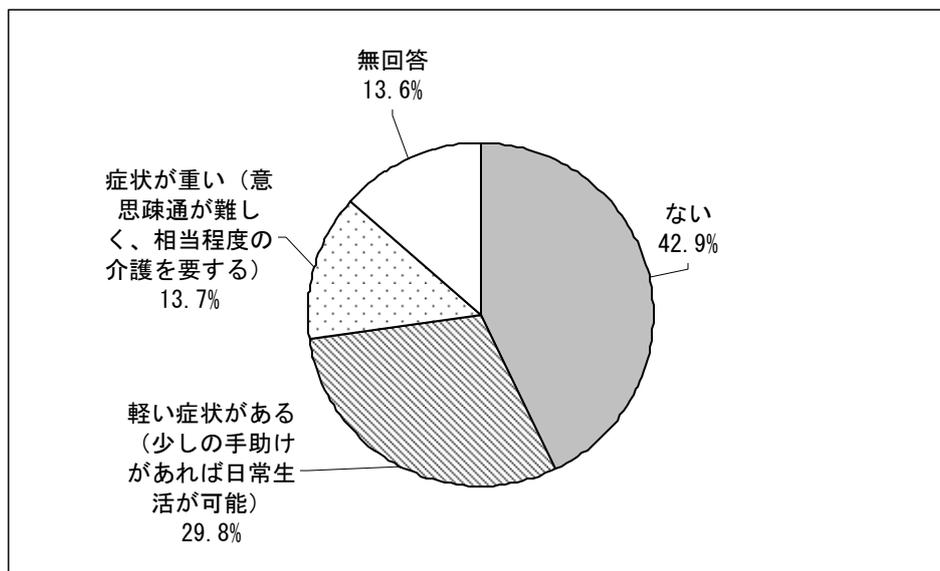
図表 180 治療中の疾患や健康状態[N=635；複数回答]



(10) 認知症の症状の有無

認知症の症状の有無についてきいたところ、「ない」の割合が42.9%となっています。一方、何らかの症状がある人は約44%おり、なかでも「軽い症状がある（少しの手助けがあれば日常生活が可能）」が29.7%と高くなっています。

図表 181 認知症の症状の有無[N=1,000]

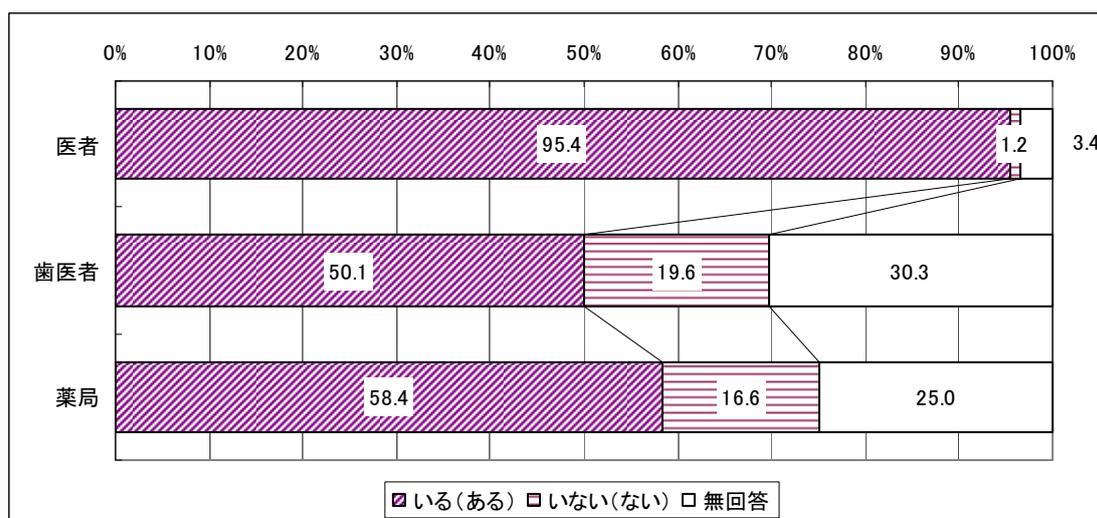


(11) かかりつけ医などの有無

かかりつけの医者は、「いる」が95.4%、「いない」が1.2%となっています。

また、歯医者、薬局については、「いる (ある)」が約半数となっています。一方、「いない (ない)」が20%弱となっています。

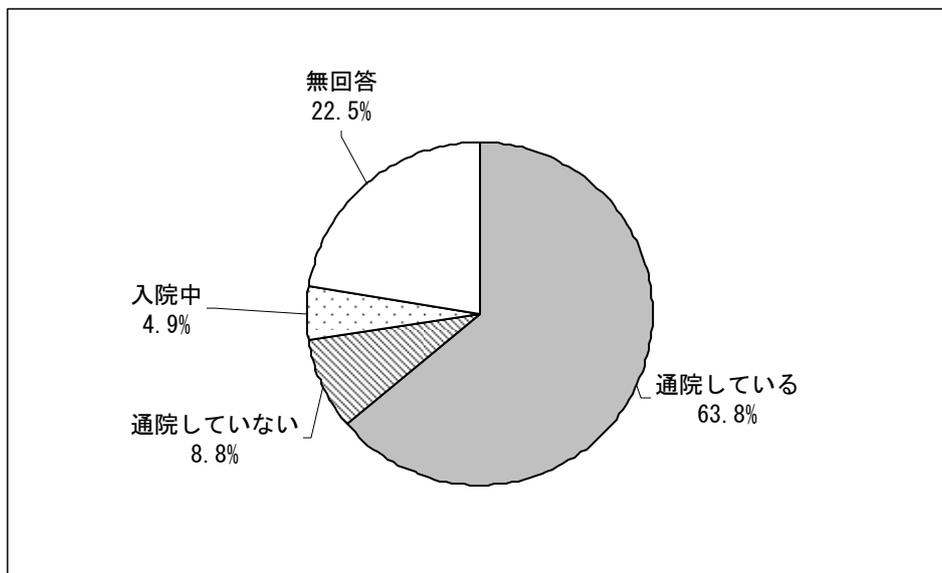
図表 182 かかりつけの医者・歯医者・薬局の有無[N=1,000]



(12) 現在の定期的な通院状況

現在の定期的な通院状況についてきいたところ、「通院している」の割合が 63.8%と最も高く、次いで、「通院していない」が 8.8%となっています。

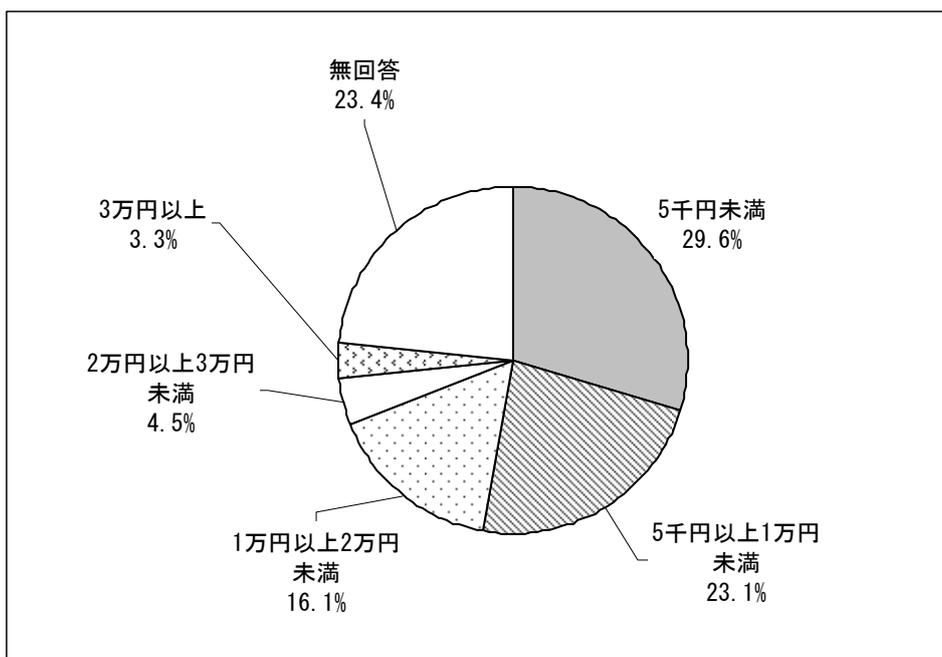
図表 183 現在の定期的な通院状況[N=1,000]



(13) 世帯の1か月の医療費

世帯の1か月の医療費についてきいたところ、「5千円未満」の割合が 29.5%と最も高く、次いで、「5千円以上1万円未満」が 23.1%となっています。

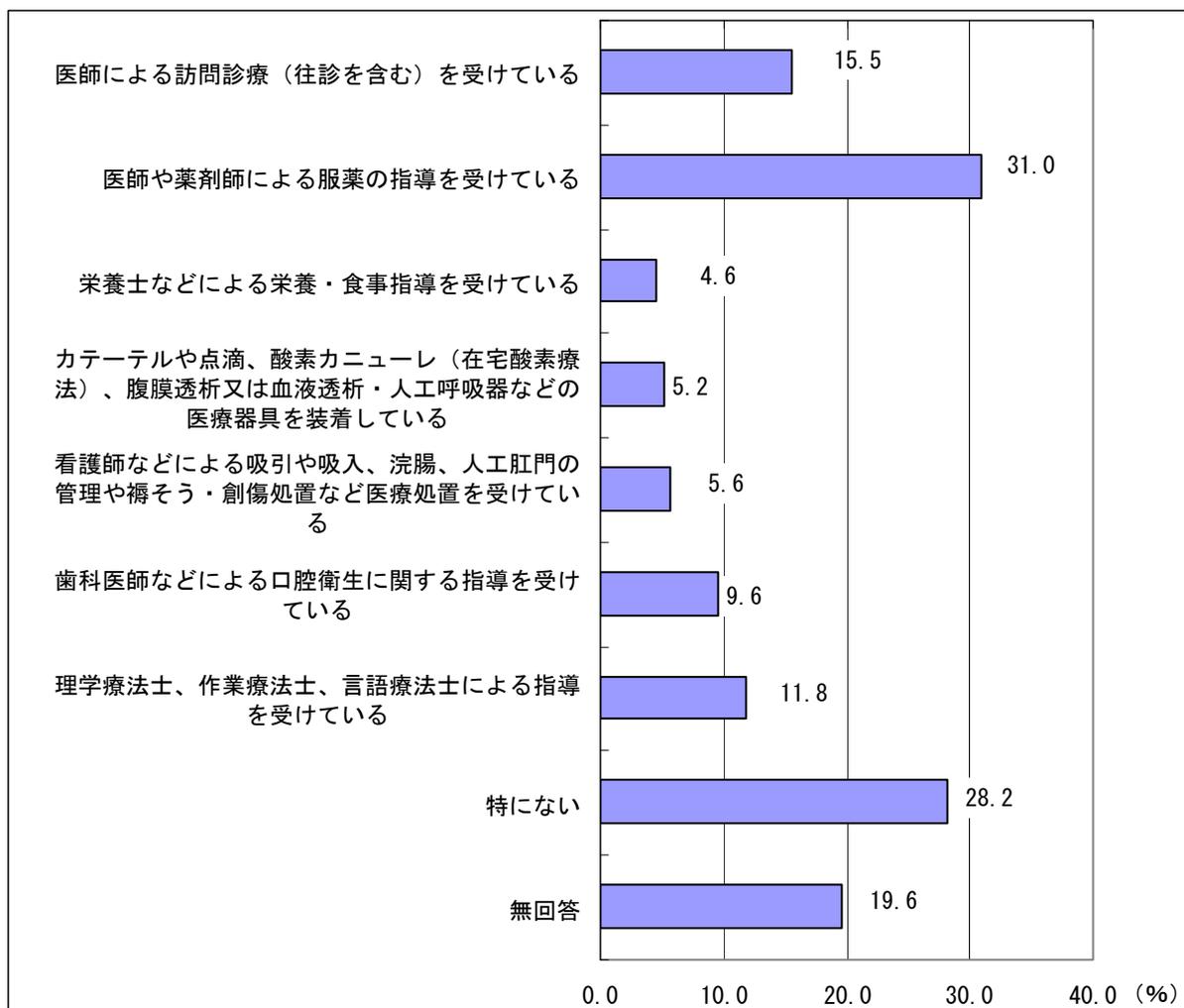
図表 184 世帯の1か月の医療費[N=1,000]



(14) 医療などに関わる援助で受けているもの

医療などに関わる援助で受けているものについてきいたところ、何らかの医療的な援助を受けている人は約 52%おり、なかでも「医師や薬剤師による服薬の指導を受けている」の割合が 31.0%と最も高く、次いで、「医師による訪問診療（往診を含む）を受けている」が 15.5%となっています。一方、「特にない」が 28.2%となっています。

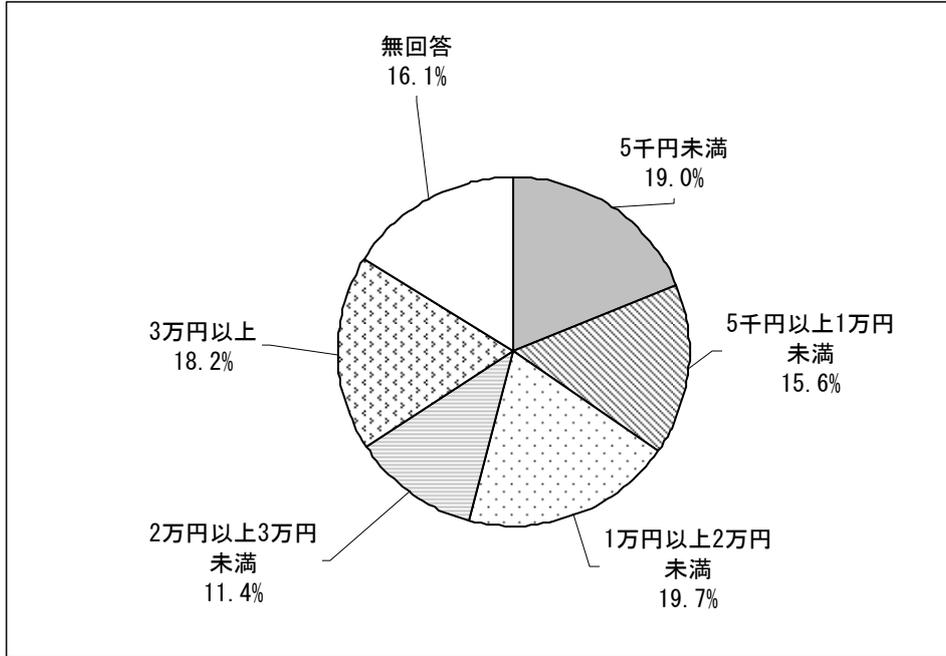
図表 185 医療などに関わる援助で受けているもの[N=1,000；複数回答]



(15) 世帯の1か月の介護費

世帯の1か月の介護費についてきいたところ、「1万円以上2万円未満」の割合が19.7%と最も高く、次いで、「5千円未満」が18.9%となっています。

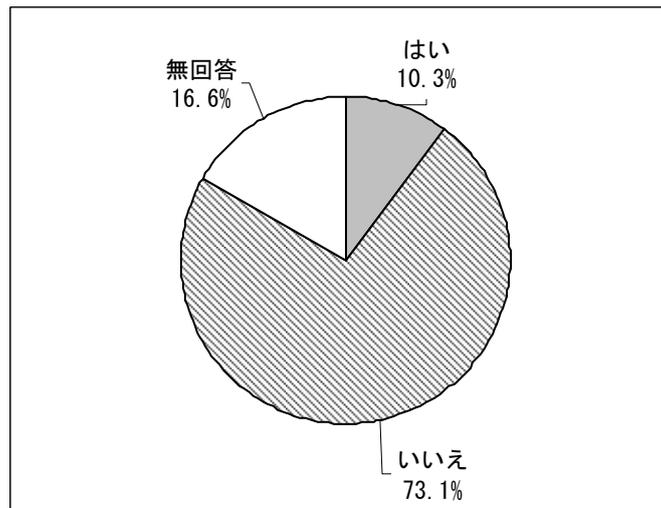
図表 186 世帯の1か月の介護費[N=1,000]



(16) 食事をとらないことがあるか

食事をとらないことがあるかきいたところ、「いいえ」が73.1%、「はい」が10.2%となっています。

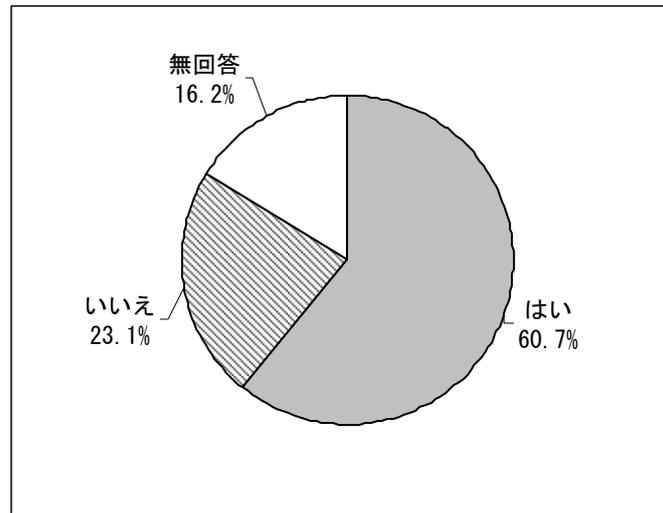
図表 187 食事をとらないことがあるか[N=1,000]



(17) 肉より魚をよく食べるか

肉より魚をよく食べるかきいたところ、「はい」が 60.7%、「いいえ」が 23.1%となっています。

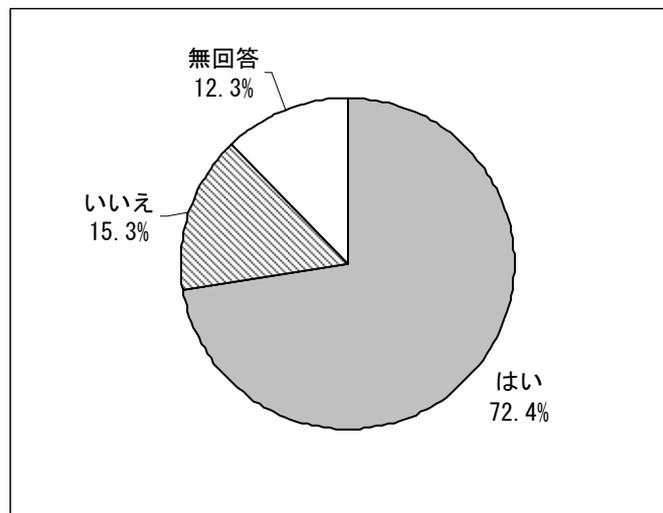
図表 188 肉より魚をよく食べるか[N=1,000]



(18) 食事は薄味を心がけているか

食事は薄味を心がけているかきいたところ、「はい」が 72.4%、「いいえ」が 15.3%となっています。

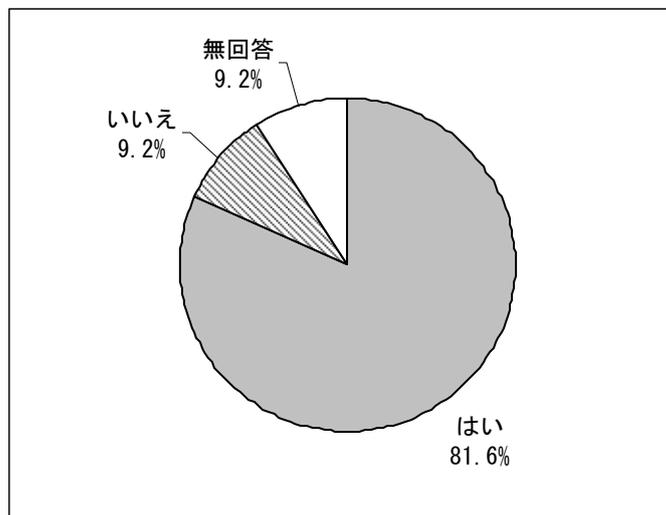
図表 189 食事は薄味を心がけているか[N=1,000]



(19) 野菜を多くとるようにしているか

野菜を多くとるようにしているかきいたところ、「はい」が81.6%、「いいえ」が9.2%となっています。

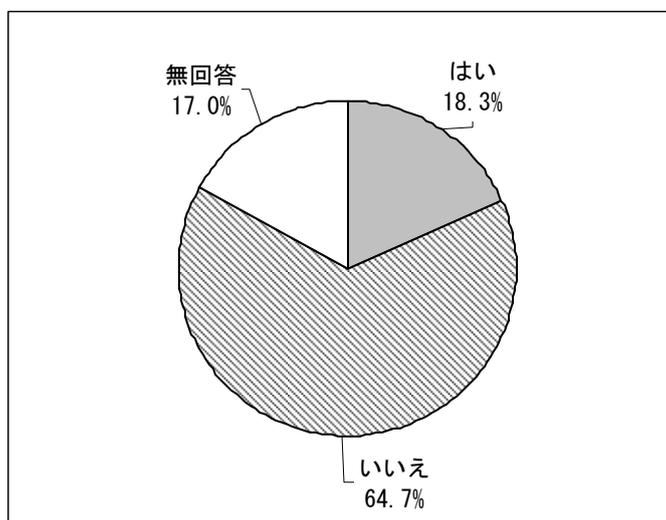
図表 190 野菜を多くとるようにしているか[N=1,000]



(20) 天ぷらや揚げ物をよく食べるか

天ぷらや揚げ物をよく食べるかきいたところ、「いいえ」が64.7%、「はい」が18.3%となっています。

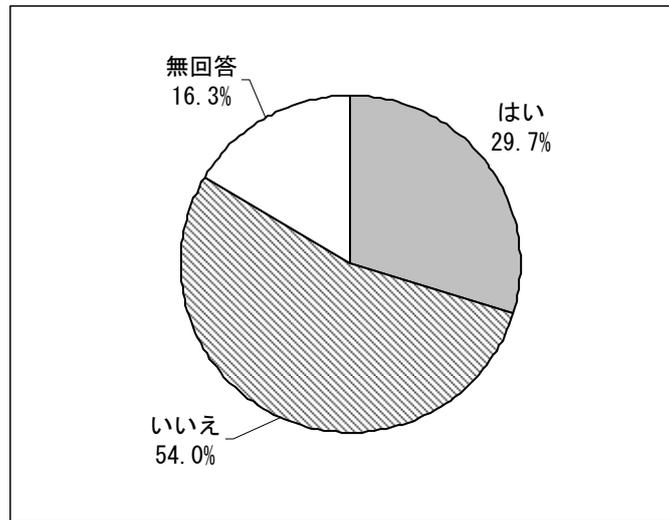
図表 191 天ぷらや揚げ物をよく食べるか[N=1,000]



(21) お腹いっぱい食べる方か

お腹いっぱい食べる方かきいたところ、「いいえ」が 54.0%、「はい」が 29.7%となっています。

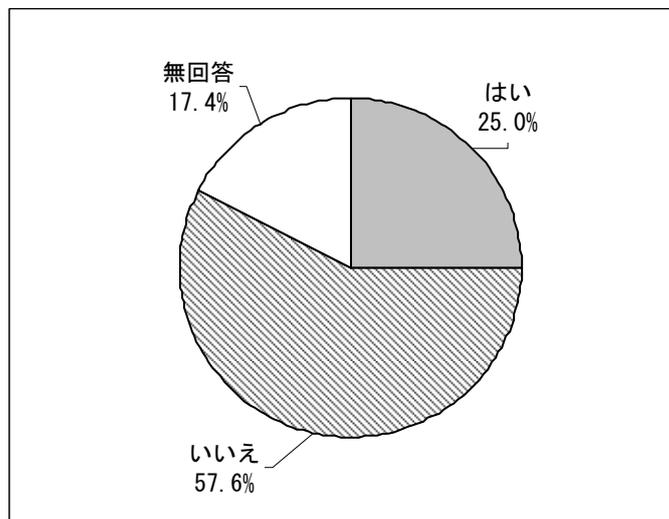
図表 192 お腹いっぱい食べる方か[N=1,000]



(22) お菓子をよく食べる方か

お菓子をよく食べる方かきいたところ、「いいえ」が 57.5%、「はい」が 25.0%となっています。

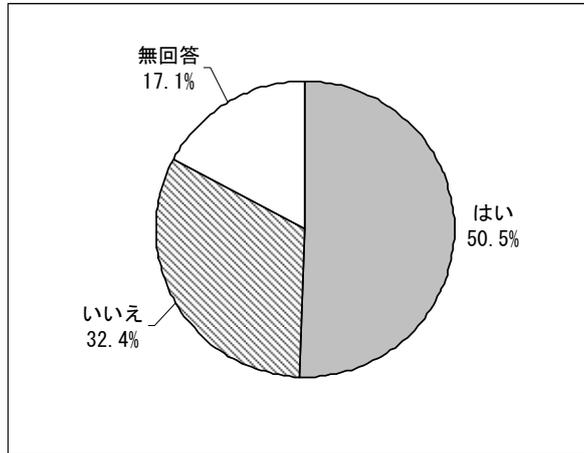
図表 193 お菓子をよく食べる方か[N=1,000]



(23) 食事のメニューは好きな物が多いか

食事のメニューは好きな物が多いかきいたところ、「はい」が 50.5%、「いいえ」が 32.4%となっています。

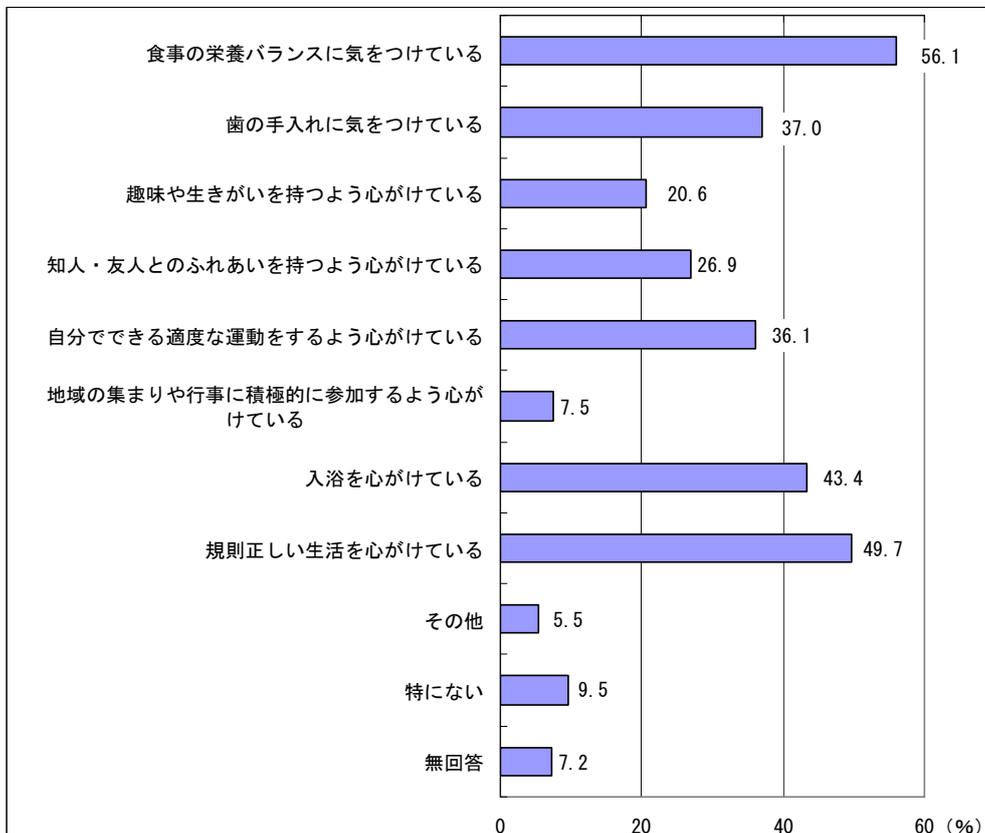
図表 194 食事のメニューは好きな物が多いか[N=1,000]



(24) 健康な生活の維持、悪化の防止のために心がけていること

健康な生活の維持、悪化の防止のために心がけていることについてきいたところ、「食事の栄養バランスに気をつけている」の割合が 56.1%と最も高く、次いで、「規則正しい生活を心がけている」が 49.7%となっています。

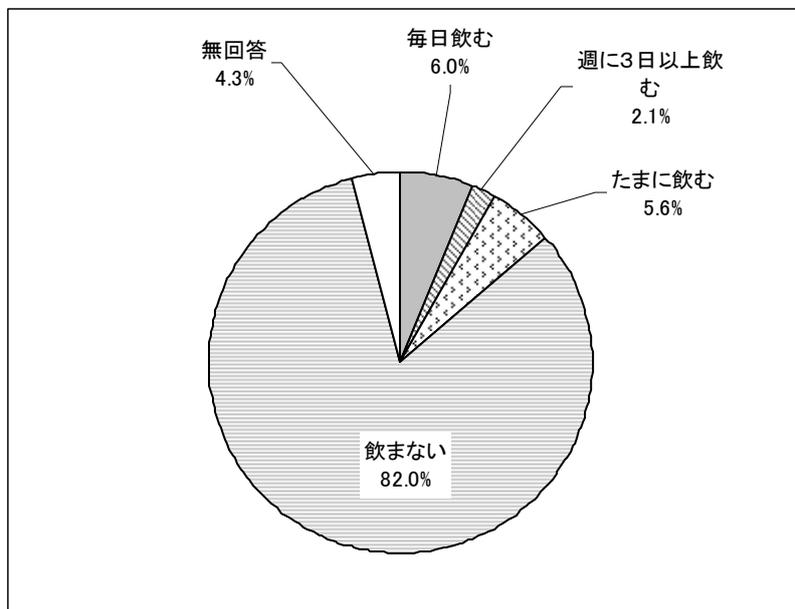
図表 195 健康な生活の維持、悪化の防止のために心がけていること[N=1,000；複数回答]



(25) 飲酒状況

飲酒状況についてきいたところ、「飲まない」の割合が82.0%と最も高く、次いで、「毎日飲む」が6.0%となっています。

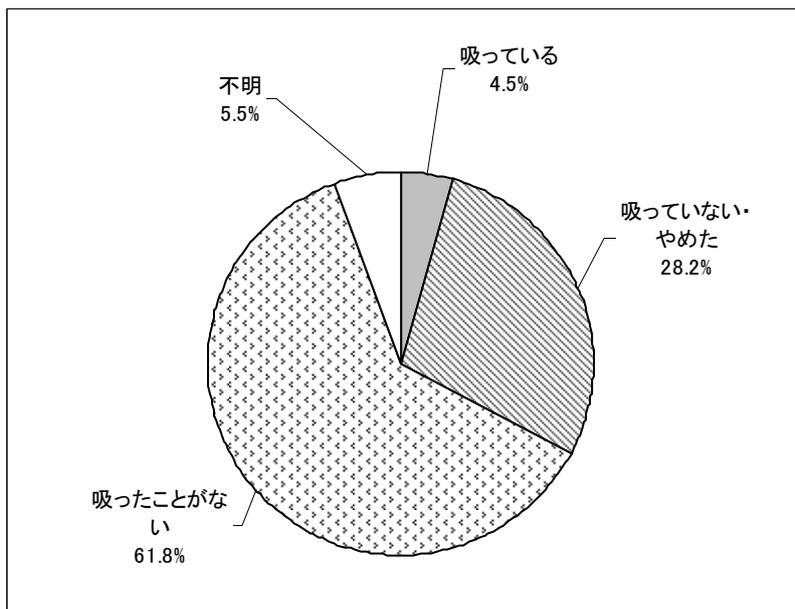
図表 196 飲酒状況[N=1,000]



(26) 喫煙状況

喫煙状況についてきいたところ、「吸ったことがない」の割合が61.8%と最も高く、次いで、「吸っていない・やめた」が28.2%となっています。

図表 197 喫煙状況[N=1,000]

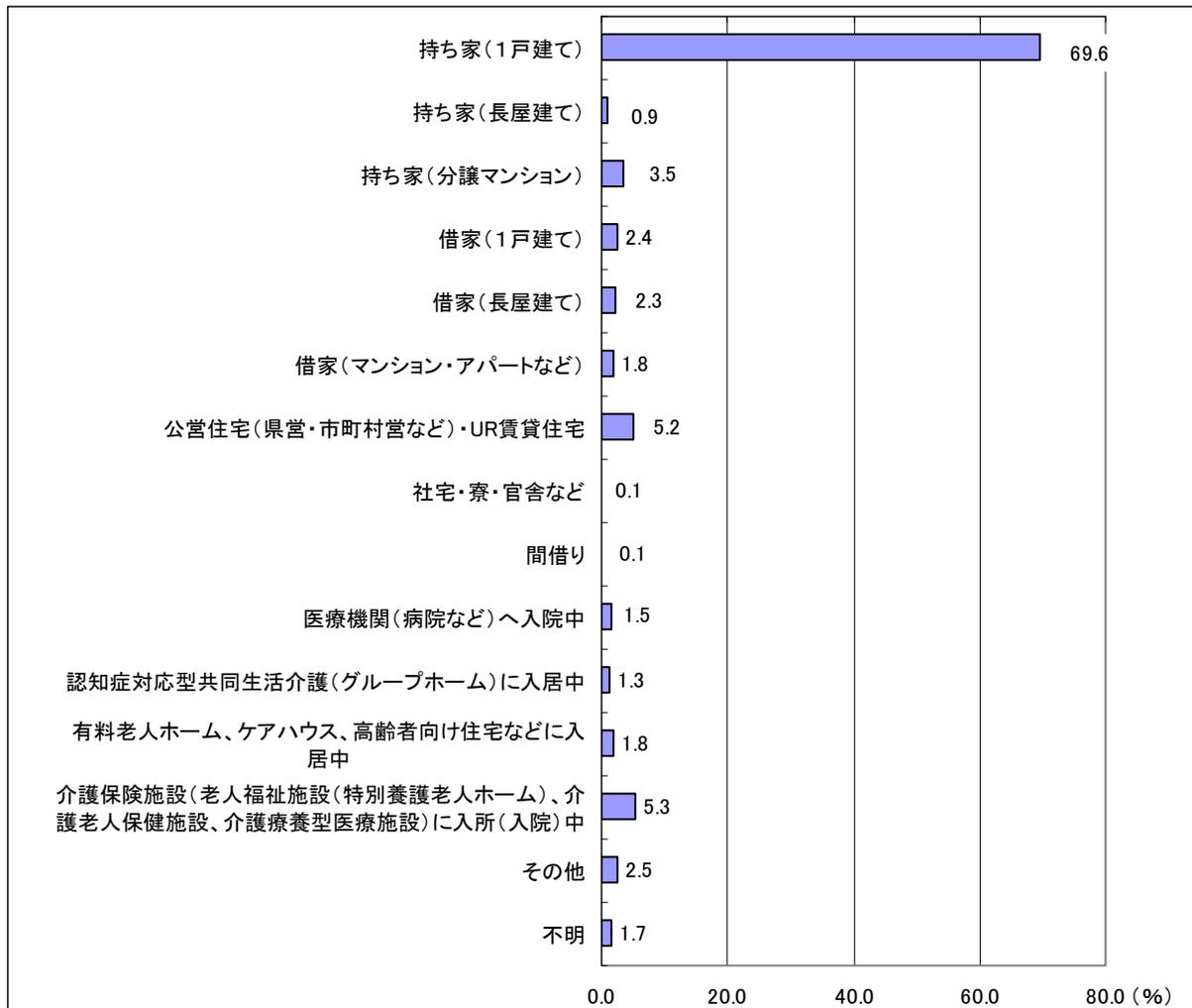


3. 日常生活について

(1) 生活の場所

生活の場所についてきいたところ、「持ち家（1戸建て）」の割合が69.6%と最も高く、次いで、「介護保険施設（老人福祉施設（特別養護老人ホーム）、介護老人保健施設、介護療養型医療施設）に入所（入院）中」が5.3%となっています。

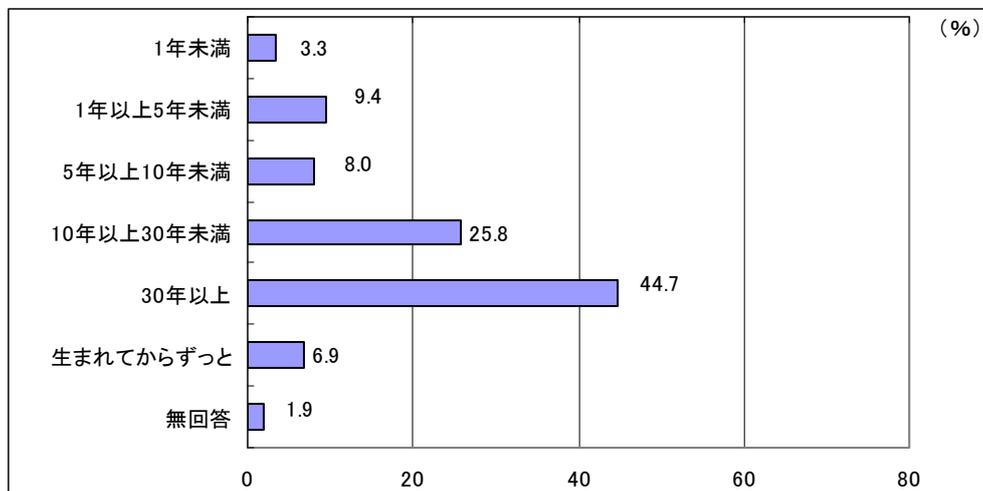
図表 198 生活の場所[N=1,000]



(2) 居住年数

居住年数についてきいたところ、「30年以上」の割合が44.7%と最も高く、次いで、「10年以上30年未満」が25.8%となっています。

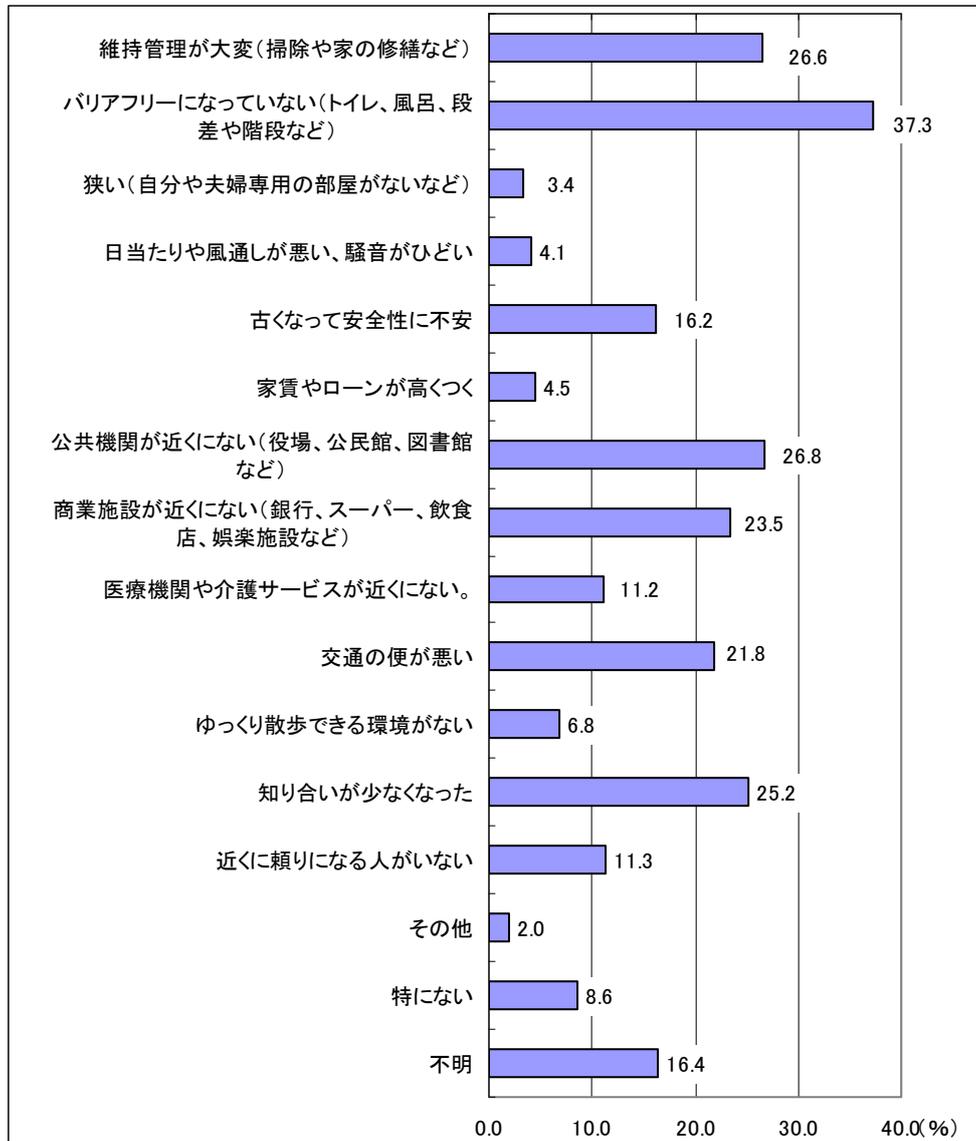
図表 199 居住年数[N=1,000]



(3) 居住環境で困っていること

居住環境で困っていることについてきいたところ、「バリアフリーになっていない(トイレ、風呂、段差や階段など)」の割合が 37.3%と最も高く、次いで、「公共機関が近くにない(役場、公民館、図書館など)」が 26.8%となっています。

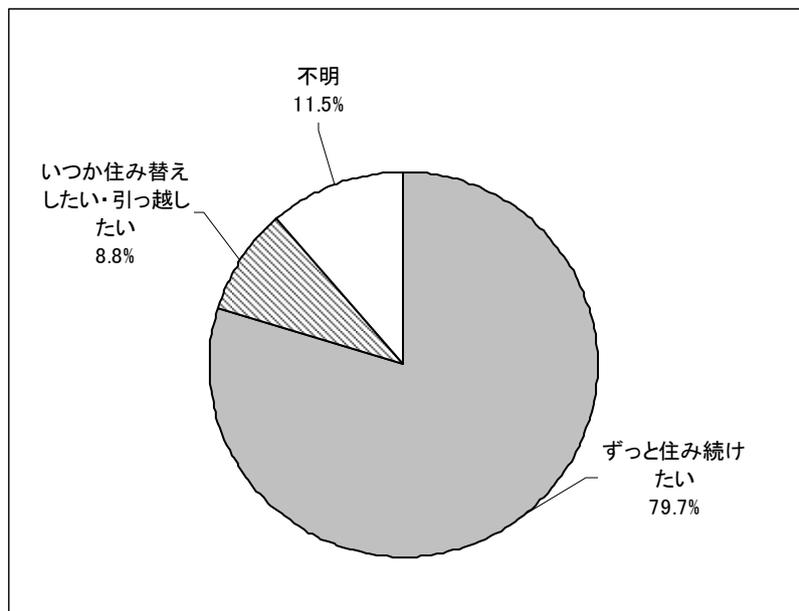
図表 200 居住環境で困っていること [N=1,000 : 複数回答]



(4) 今後の居留意向

今後の居留意向についてきいたところ、「ずっと住み続けたい」が 79.7%、「いつか住み替えしたい・引っ越したい」が 8.8%となっています。

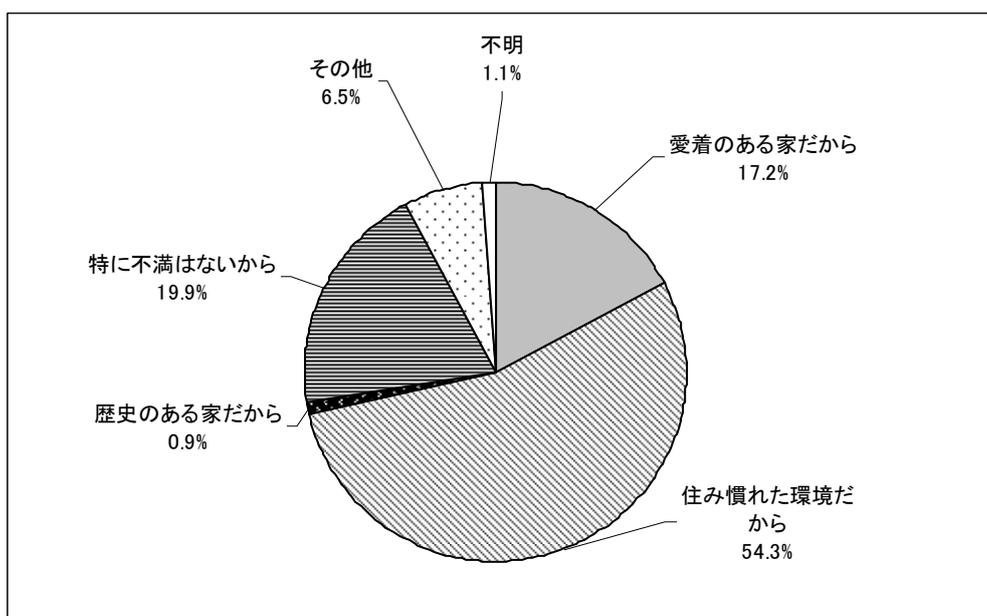
図表 201 今後の居留意向[N=1,000]



(5) 住み続けたい理由

住み続けたい理由についてきいたところ、「住み慣れた環境だから」の割合が 54.3%と最も高く、次いで、「特に不満はないから」が 19.9%となっています。

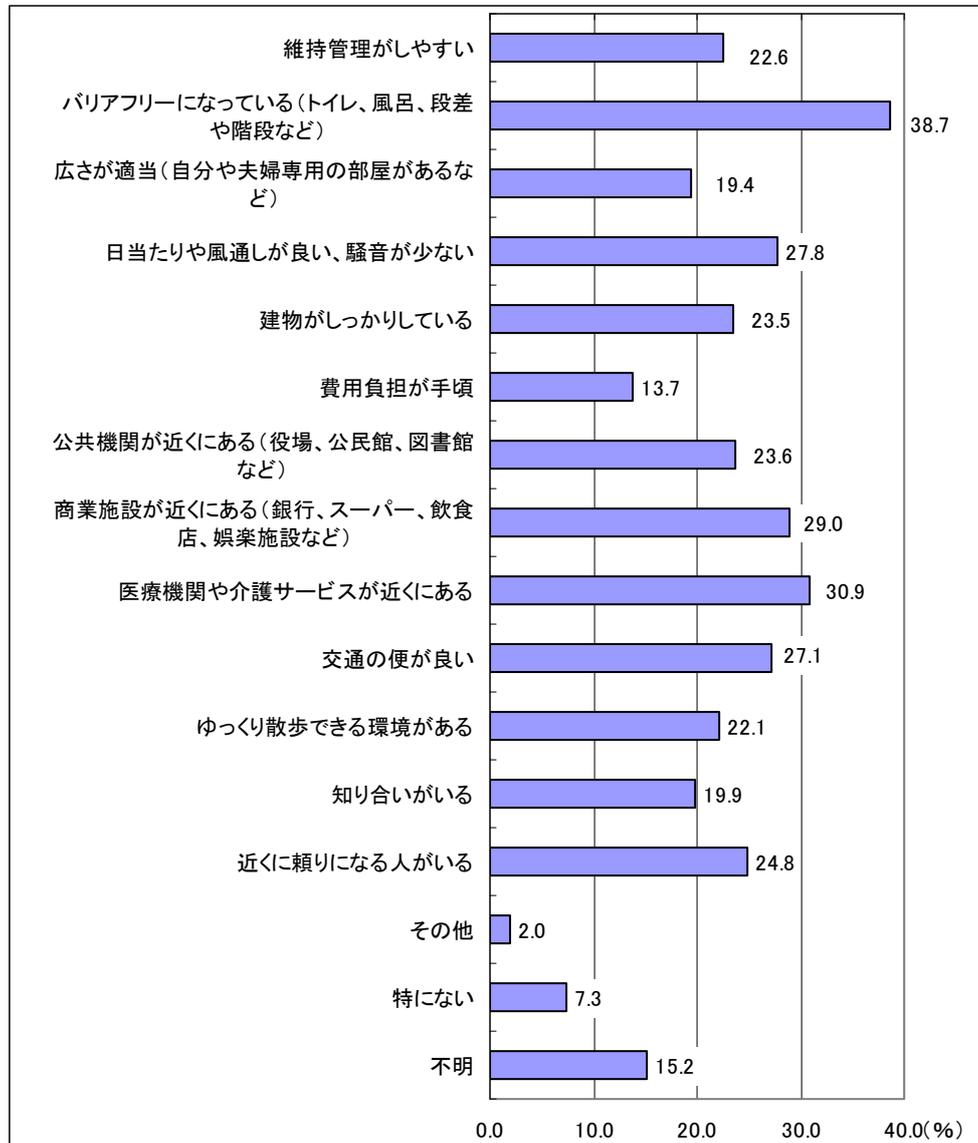
図表 202 住み続けたい理由[N=1,000]



(6) 居住環境に求めること

居住環境に求めることについてきいたところ、「バリアフリーになっている（トイレ、風呂、段差や階段など）」の割合が 38.7%と最も高く、次いで、「医療機関や介護サービスが近くにある」が 30.9%となっています。

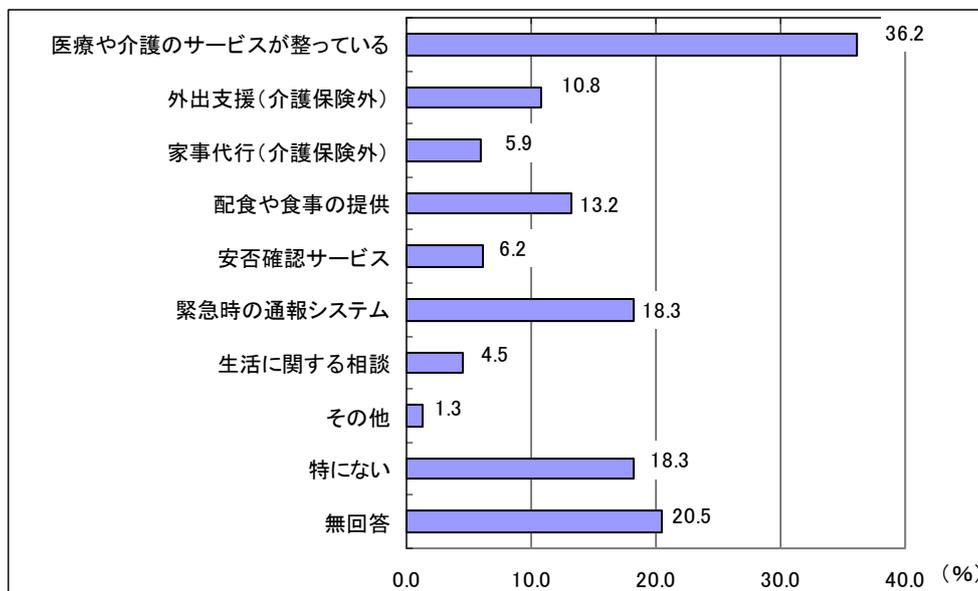
図表 203 居住環境に求めること [N=1,000：複数回答]



(7) 身近にあればよいと思うサービス

身近にあればよいと思うサービスについてきいたところ、「医療や介護のサービスが整っている」の割合が 36.2%と最も高く、次いで、「緊急時の通報システム」が 18.3%となっています。一方、「特にない」が 18.3%となっています。

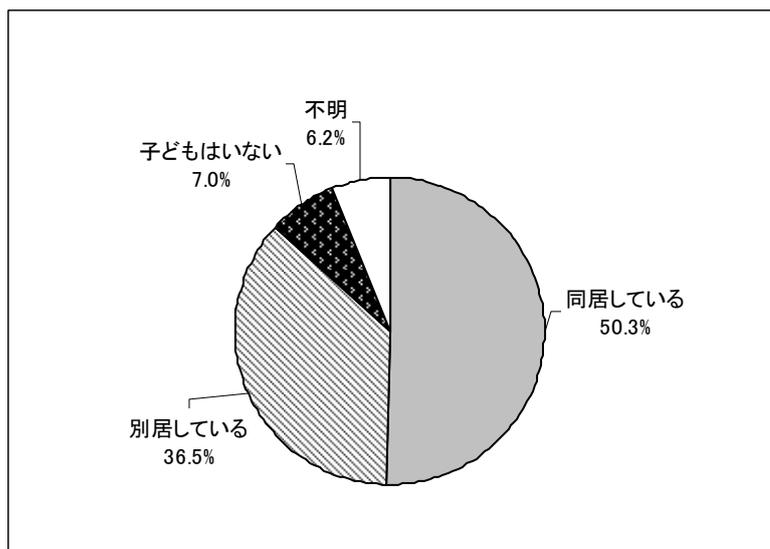
図表 204 身近にあればよいと思うサービス[N=1,000：複数回答]



(8) 子どもとの同居の状況

子どもとの同居の状況についてきいたところ、「同居している」が 50.3%、「別居している」が 36.5%となっています。

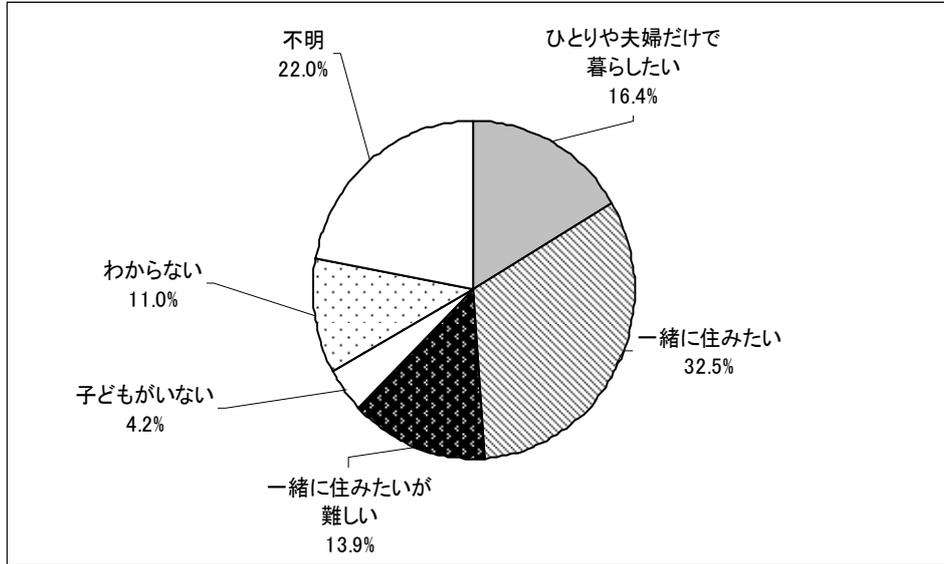
図表 205 子どもとの同居の状況[N=1,000]



(9) 子どもとの今後の同居意向

子どもと今後同居したいかきいたところ、「一緒に住みたい」の割合が32.5%と最も高く、次いで、「ひとりや夫婦だけで暮らしたい」が16.4%となっています。

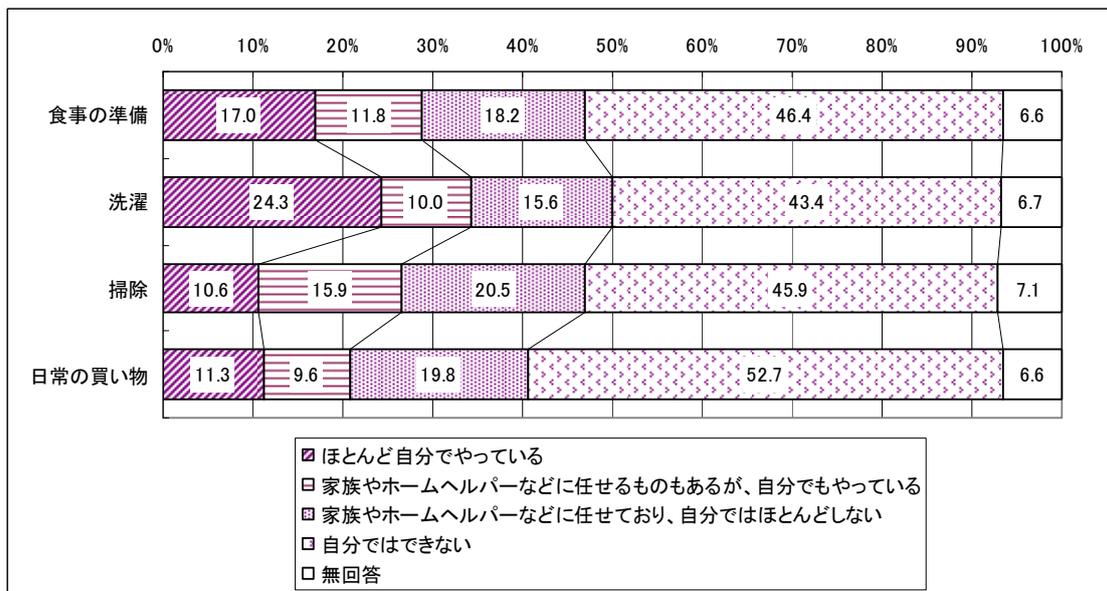
図表 206 子どもとの同居意向[N=1,000]



(10) 日常の家事の状況

日常の家事の状況についてきいたところ、どの家事も半数前後が「自分ではできない」としています。一方、食事の準備や洗濯については、「ほとんど自分でやっている」も約20%前後あります。

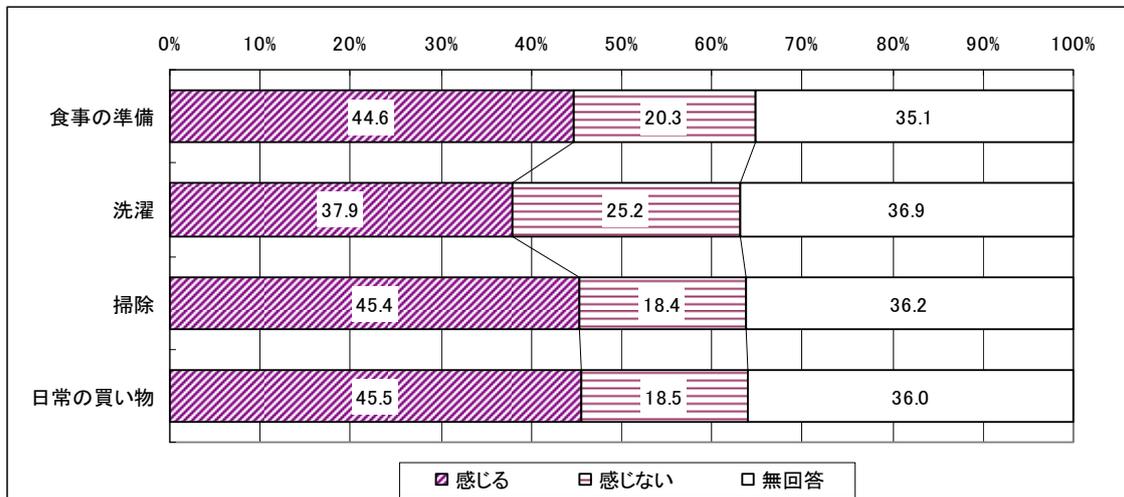
図表 207 日常の家事の状況[N=1,000]



(11) 家事の負担感

家事についての負担感についてきいたところ、約 38～46%が「感じる」としています。一方、「感じない」は 18～25%となっています。

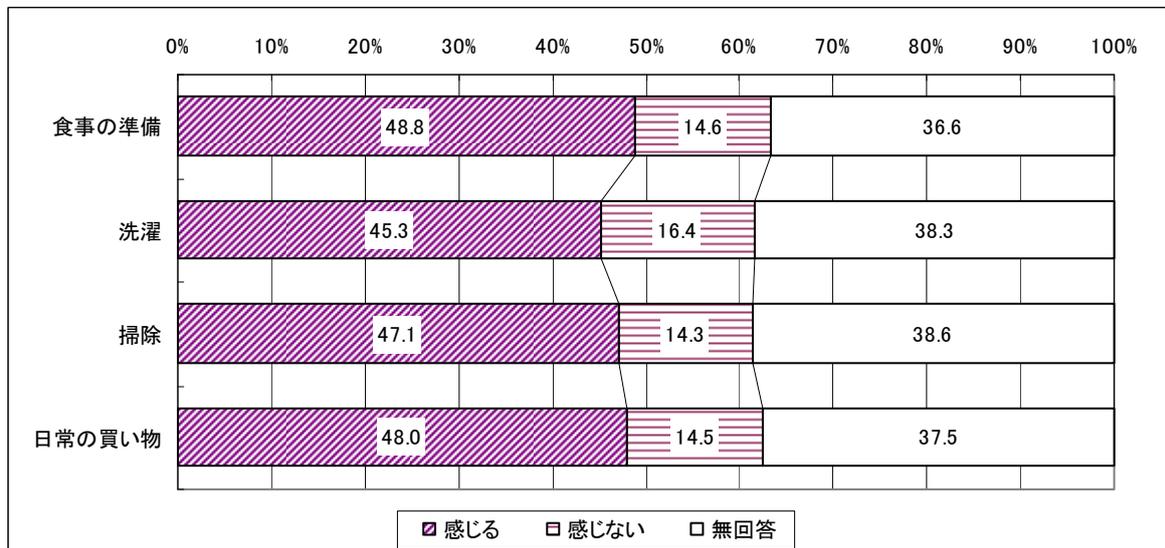
図表 208 家事の負担感[N=1,000]



(12) 家事についての将来の不安

家事についての将来の不安についてきいたところ、約半数が「感じる」としています。一方、「感じない」は 14～16%となっています。

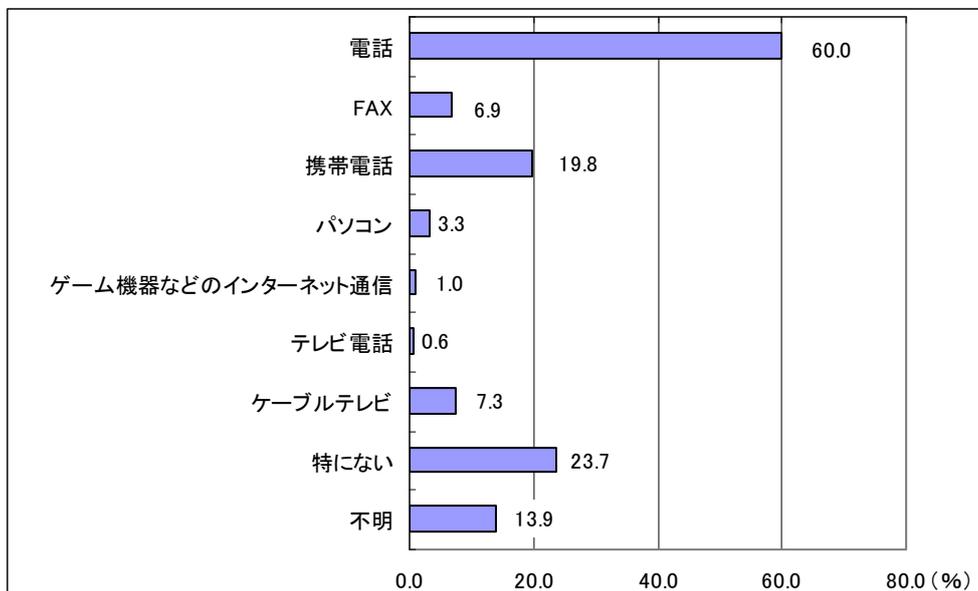
図表 209 家事についての将来の不安[N=1,000]



(13) 利用している通信機器

利用している通信機器についてきいたところ、「電話」の割合が60.0%と最も高く、次いで、「特
にない」23.7%となっています。

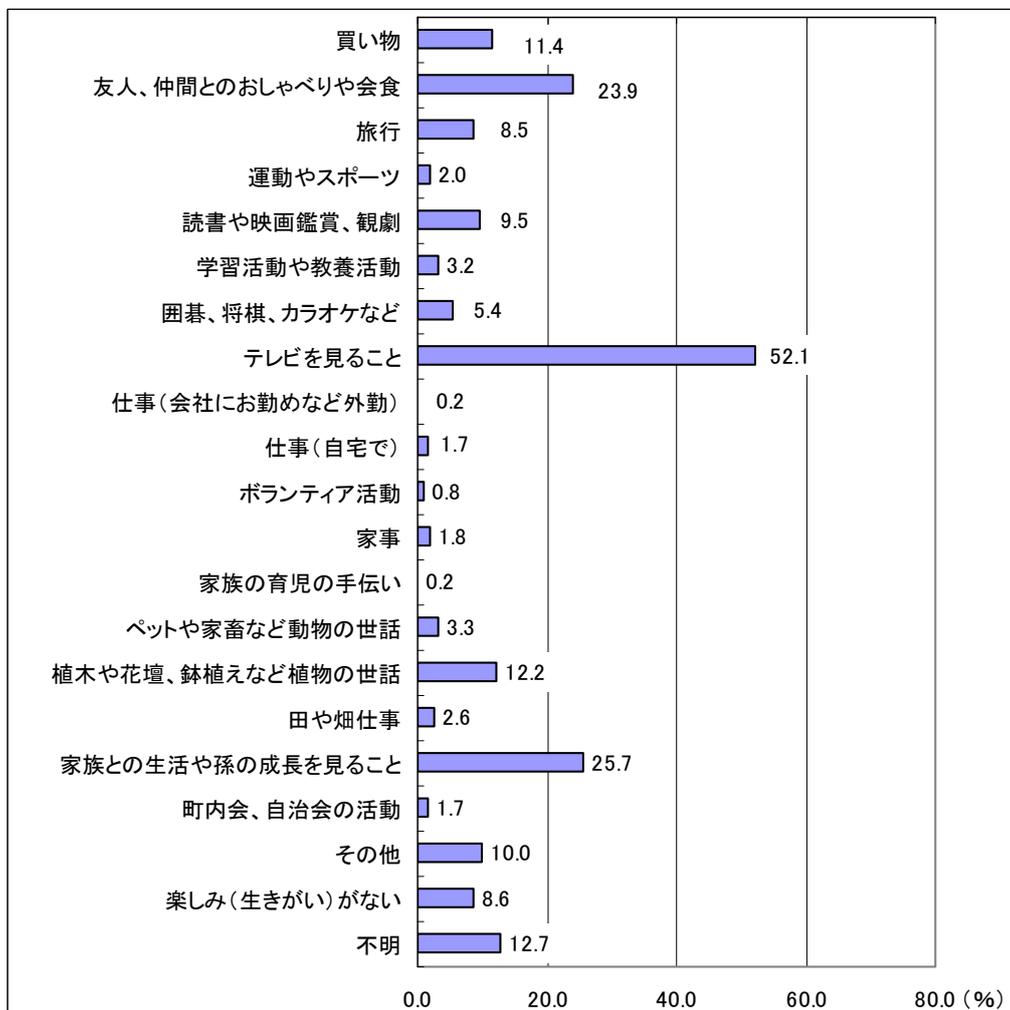
図表 210 利用している通信機器[N=1,000 ; 複数回答]



(14) 日常の楽しみ（生きがい）

日常の楽しみ（生きがい）についてきいたところ、「テレビを見ること」の割合が 52.1%と最も高く、次いで、「家族との生活や孫の成長をみること」が 23.9%となっています。

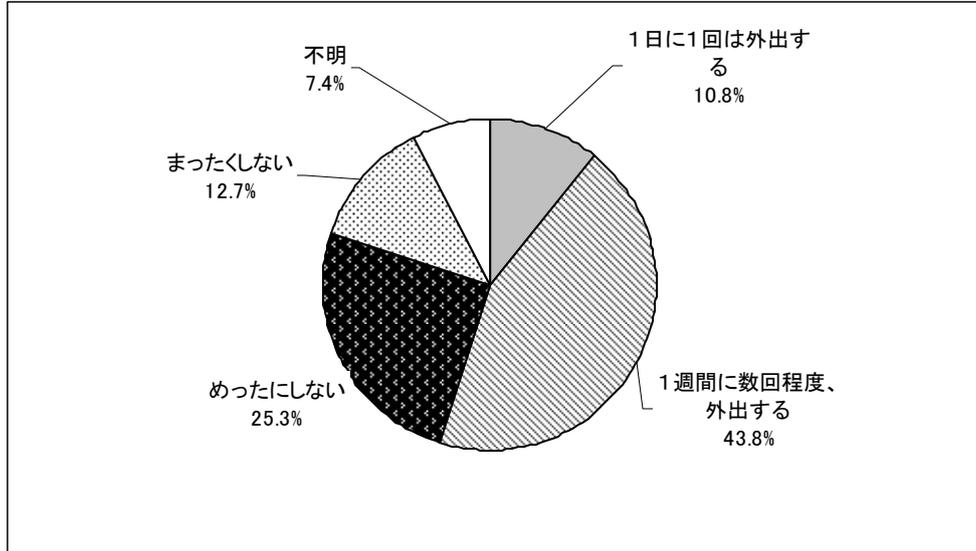
図表 211 日常の楽しみ（生きがい） [N=1,000；複数回答]



(15) 外出する機会

外出する機会についてきいたところ、「1週間に数回程度、外出する」の割合が43.8%と最も高く、次いで、「めったにしない」が25.3%となっています。

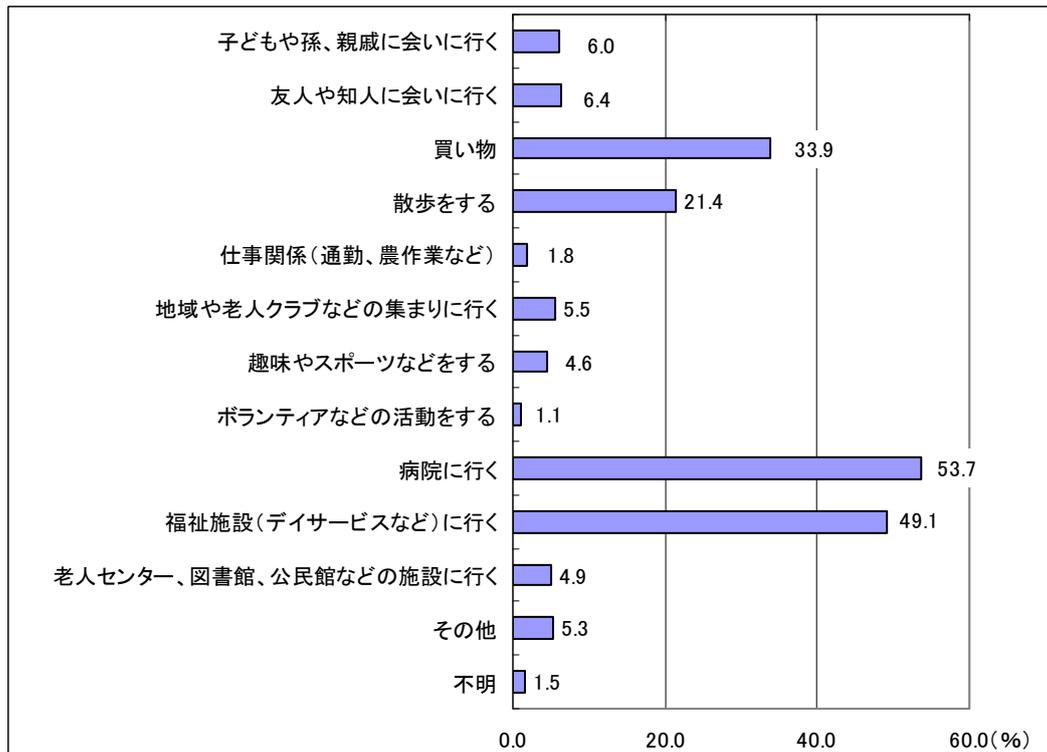
図表 212 外出する機会[N=1,000]



(16) 外出目的

外出目的についてきいたところ、「病院に行く」の割合が53.7%と最も高く、次いで、「福祉施設(デイサービスなど)に行く」が49.1%となっています。

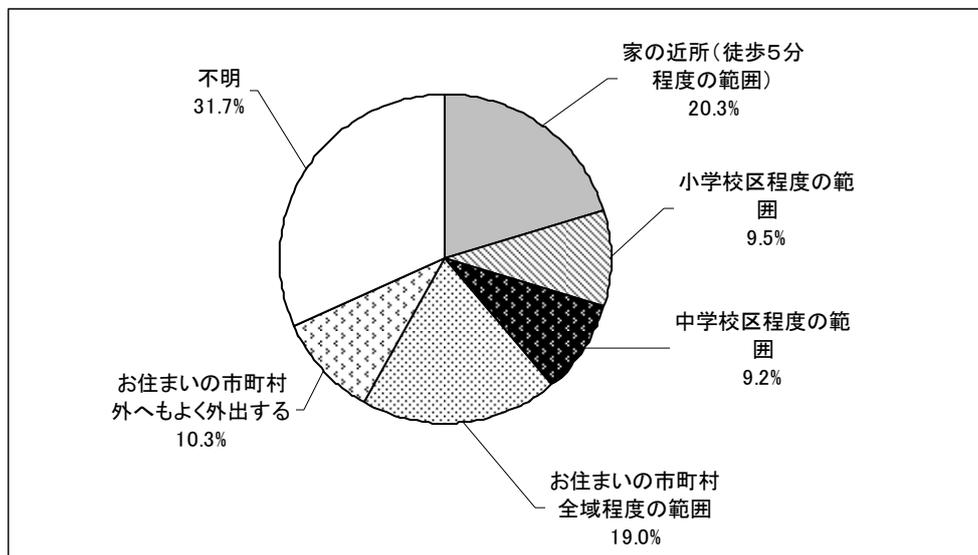
図表 213 外出目的[N=546 ; 複数回答]



(17) 外出範囲

外出範囲についてきいたところ、「家の近所（徒歩5分程度の範囲）」の割合が 20.3%と最も高く、次いで、「住まいの市町村全域程度の範囲」が 19.0%となっています。

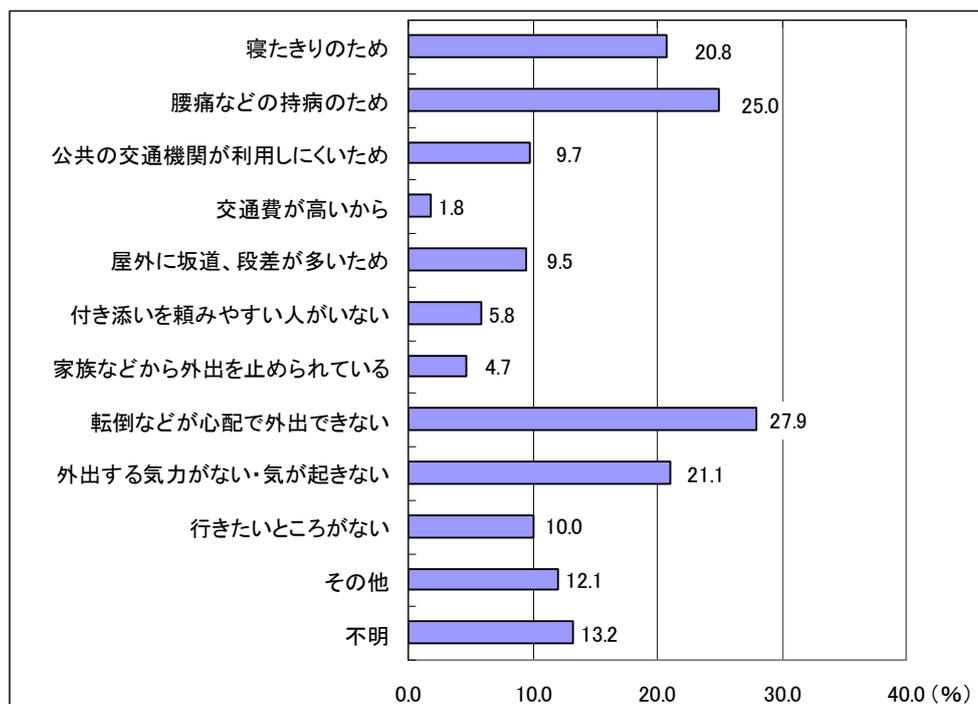
図表 214 外出範囲[N=546]



(18) 外出しない理由

外出しない理由についてきいたところ、「転倒などが心配で外出できない」の割合が 27.9%と最も高く、次いで、「腰痛などの持病のため」が 25.0%となっています。

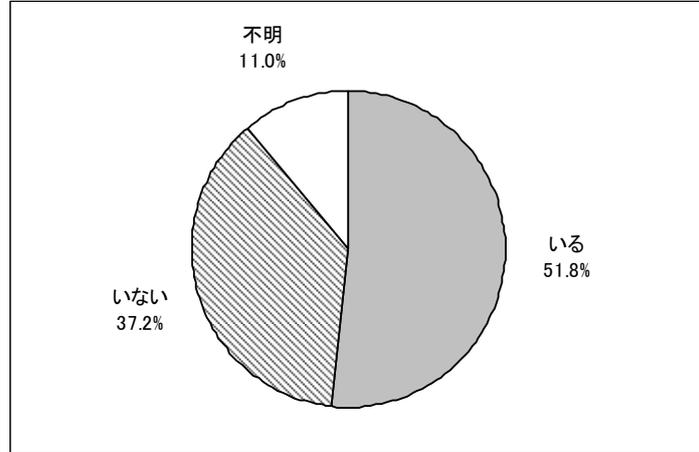
図表 215 外出しない理由[N=380；複数回答]



(19) 家族など以外で親しく話のできる人の有無

家族やヘルパー、介護施設の職員以外で親しく話ができる人がいるかきいたところ、「いる」が51.8%、「いない」が37.2%となっています。

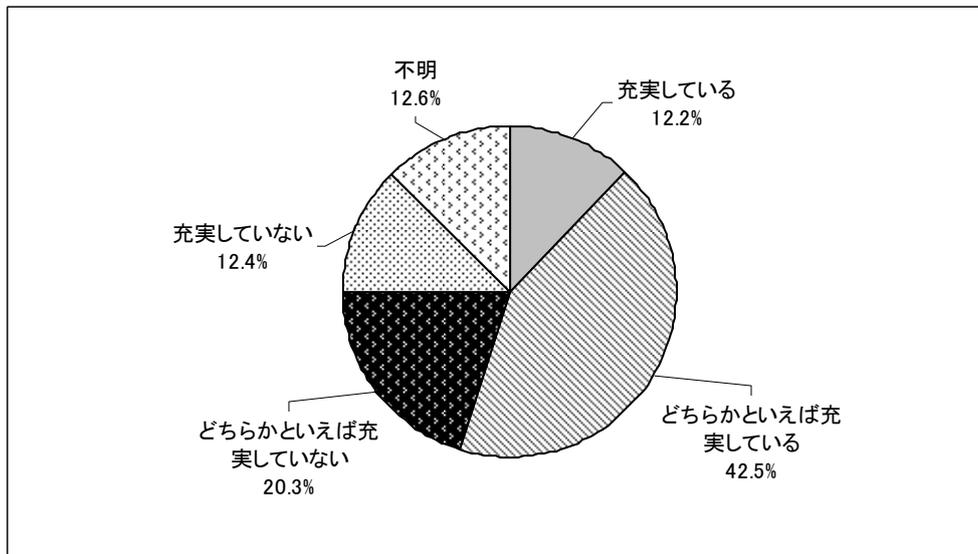
図表 216 外出しない理由[N=380 ; 複数回答]



(20) 生活の充実度

生活の充実度についてきいたところ、「充実している」が12.2%、「どちらかといえば充実している」が42.5%と、充実していると感じている人が約55%、「どちらかといえば充実していない」が20.3%、「充実していない」が12.4%、と充実していないと感じている人が約33%となっています。

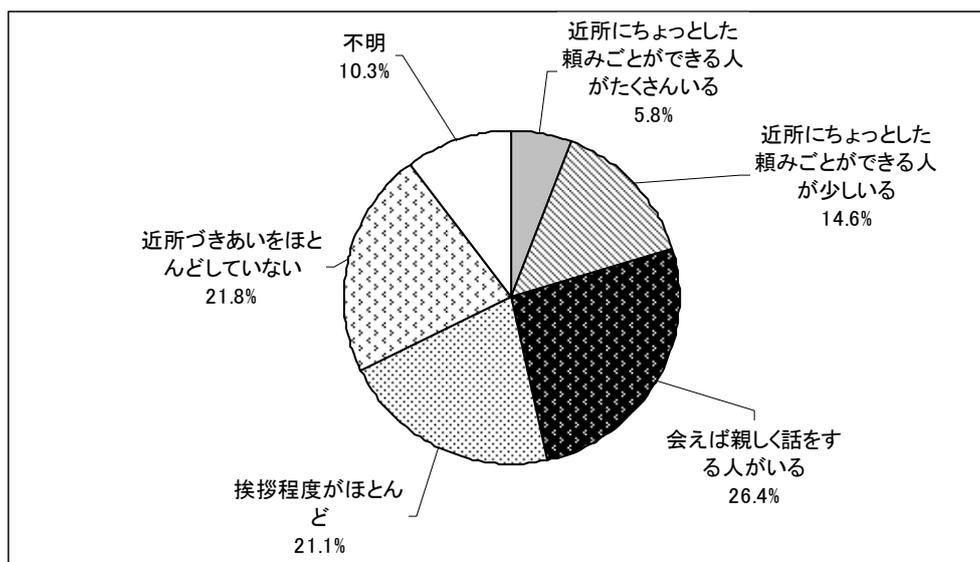
図表 217 生活の充実度[N=1,000]



(21) 近所づきあいの程度

近所づきあいの程度についてきいたところ、「近所にちょっとした頼みごとができる人がたくさんいる」が 5.8%、「近所にちょっとした頼みごとができる人が少しいる」が 14.6%、「会えば親しく話をする人がいる」が 26.4%と、約 47%が比較的親密な近所づきあいをしています。一方、「挨拶程度がほとんど」が 21.1%、「近所づきあいをほとんどしていない」が 21.8%と、比較的近所づきあいをしていない人が約 43%となっています。

図表 218 近所づきあいの程度[N=1,000]

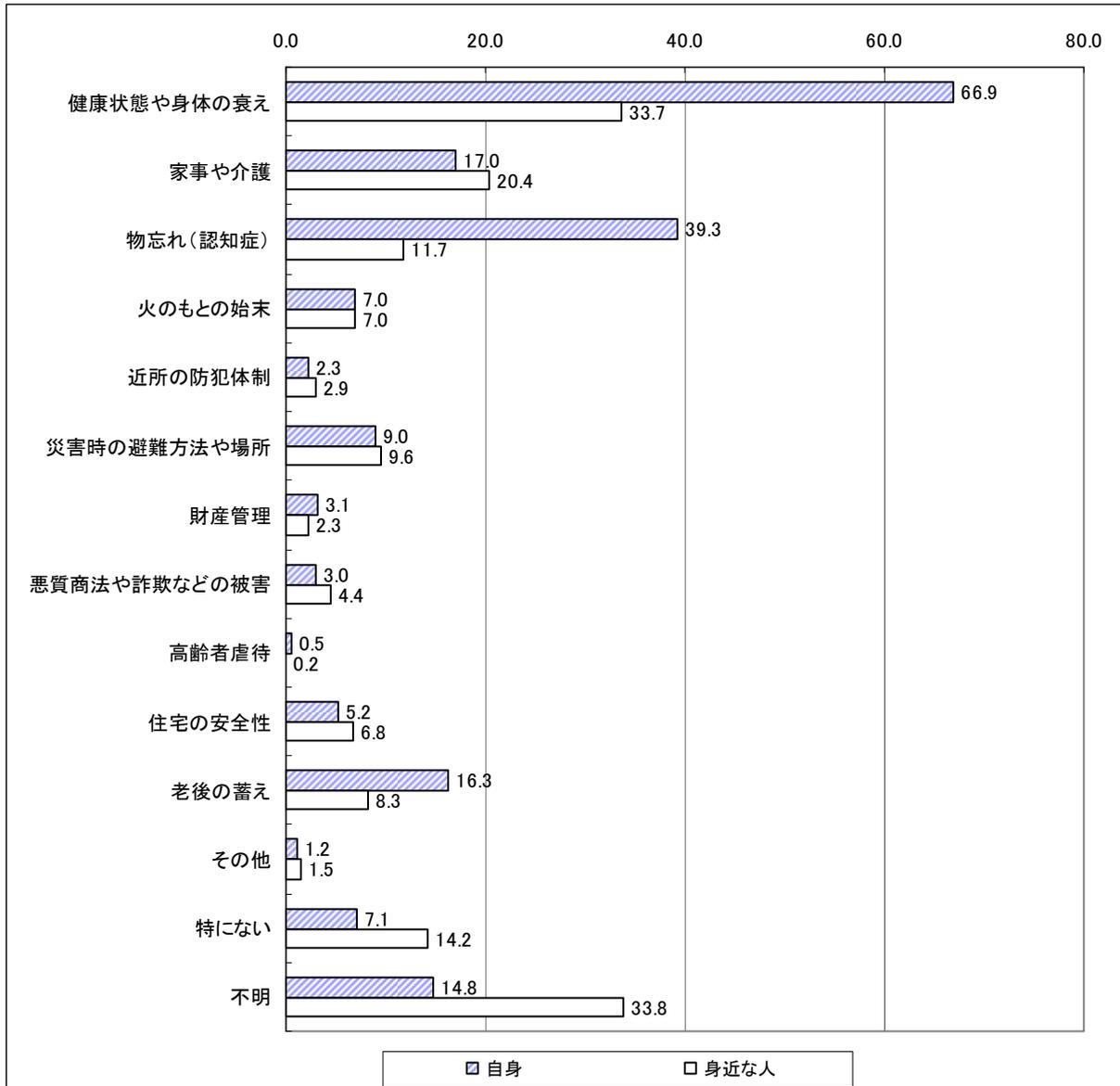


4. 安全・安心について

(1) 自身や身近な人に関する不安

自身や身近な人に関する不安（3 つまで）についてきいたところ、自身、身近な人ともに「健康状態や身体の衰え」の割合が最も高くそれぞれ 66.9%、33.7%となっています。次いで高いのは、自身では「物忘れ（認知症）」が 29.3%、身近な人では「家事や介護」が 20.4%となっています。

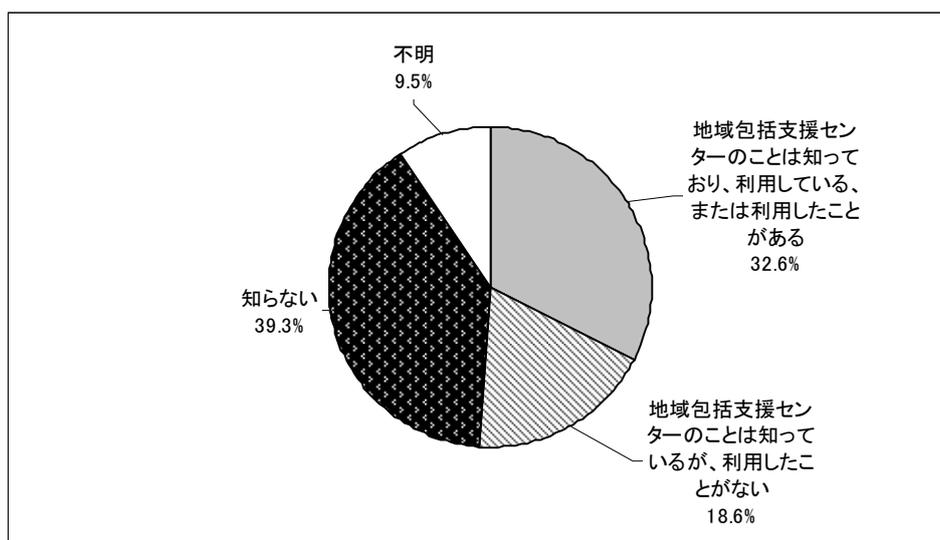
図表 219 自身および身近な人に関する不安（3 つまで） [N=1,000；複数回答]



(2) 地域包括支援センターの認知状況

地域包括支援センターの認知状況についてきいたところ、「地域包括支援センターのことは知っており、利用している、または利用したことがある」が32.6%、「地域包括支援センターのことは知っているが、利用したことがない」が18.6%、と地域包括支援センターを知っている人は約51%、「知らない」が39.3%となっています。

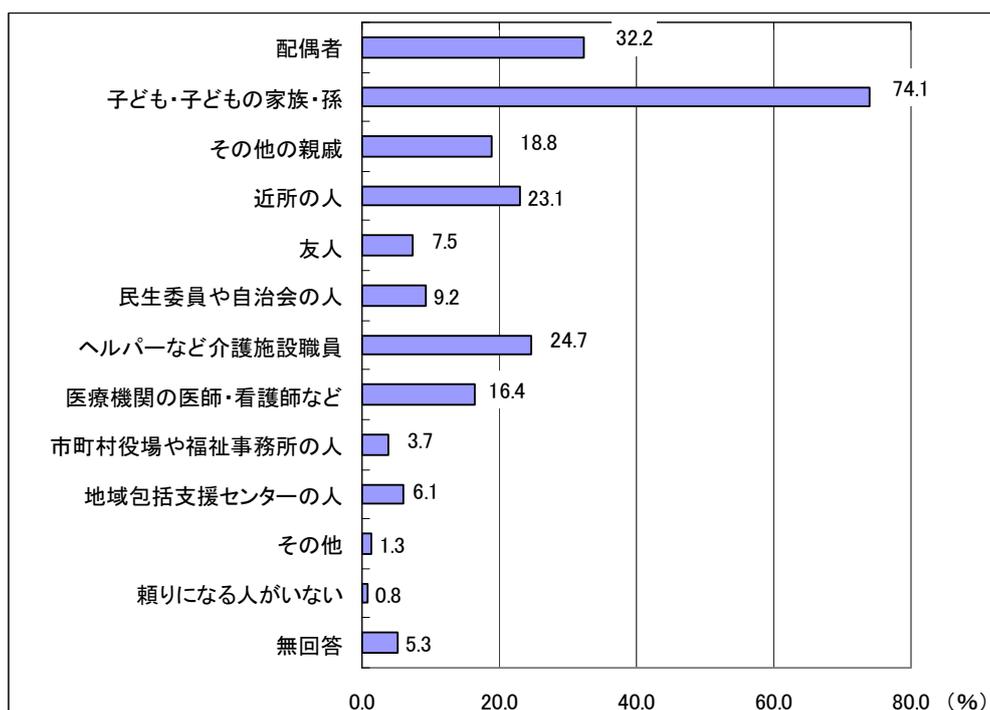
図表 220 地域包括支援センターの認知状況[N=1,000]



(3) 緊急時に頼りになる人

緊急時に頼りになる人についてきいたところ、「子ども・子どもの家族・孫」の割合が74.1%と最も高く、次いで、「配偶者」が32.2%となっています。

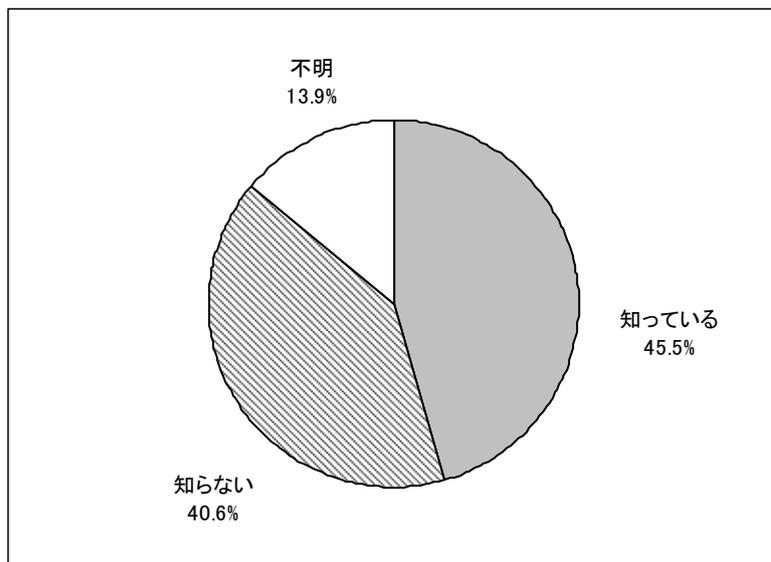
図表 221 緊急時に頼りになる人[N=1,000；複数回答]



(4) 地区担当の民生委員の認知度

地区担当の民生委員さんを知っているかについてきいたところ、「知っている」が 45.5%、「知らない」が 40.6%となっています。

図表 222 地区担当の民生委員の認知度[N=1,000]

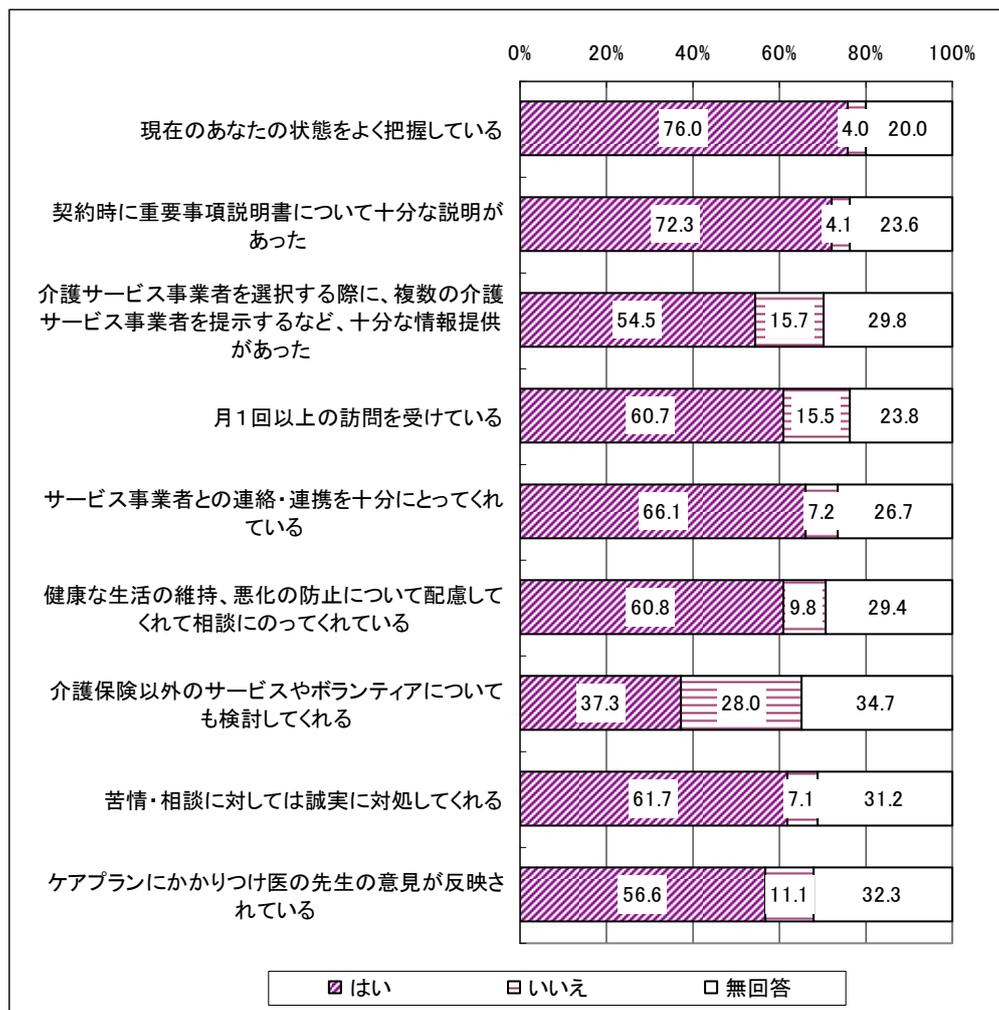


5. ケアプラン・居宅サービスの満足度について

(1) ケアマネジャーの対応について

ケアマネジャーの基本的な業務についてきいたところ、「介護保険以外のサービスやボランティアについても検討してくれる」を除くすべての事項で対応している割合が半数を超えています。特に、「現在のあなたの状態をよく把握している」、「契約時に重要事項説明書について十分な説明があった」については高くなっています。

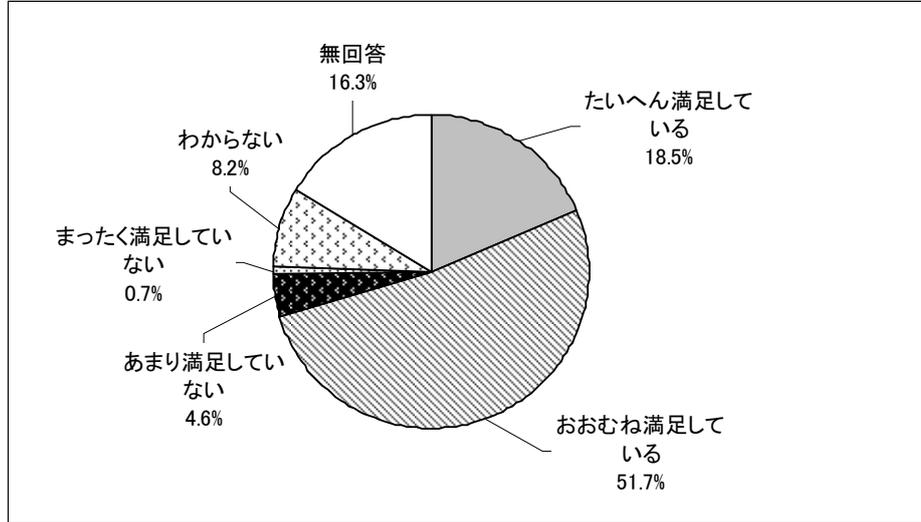
図表 223 ケアマネジャーの対応について [N=1,000]



(2) ケアプランに対する満足度

ケアプランに対する満足度をきいたところ、「おおむね満足している」の割合が 51.7%と最も高く、次いで、「たいへん満足している」が 18.5%となっています。

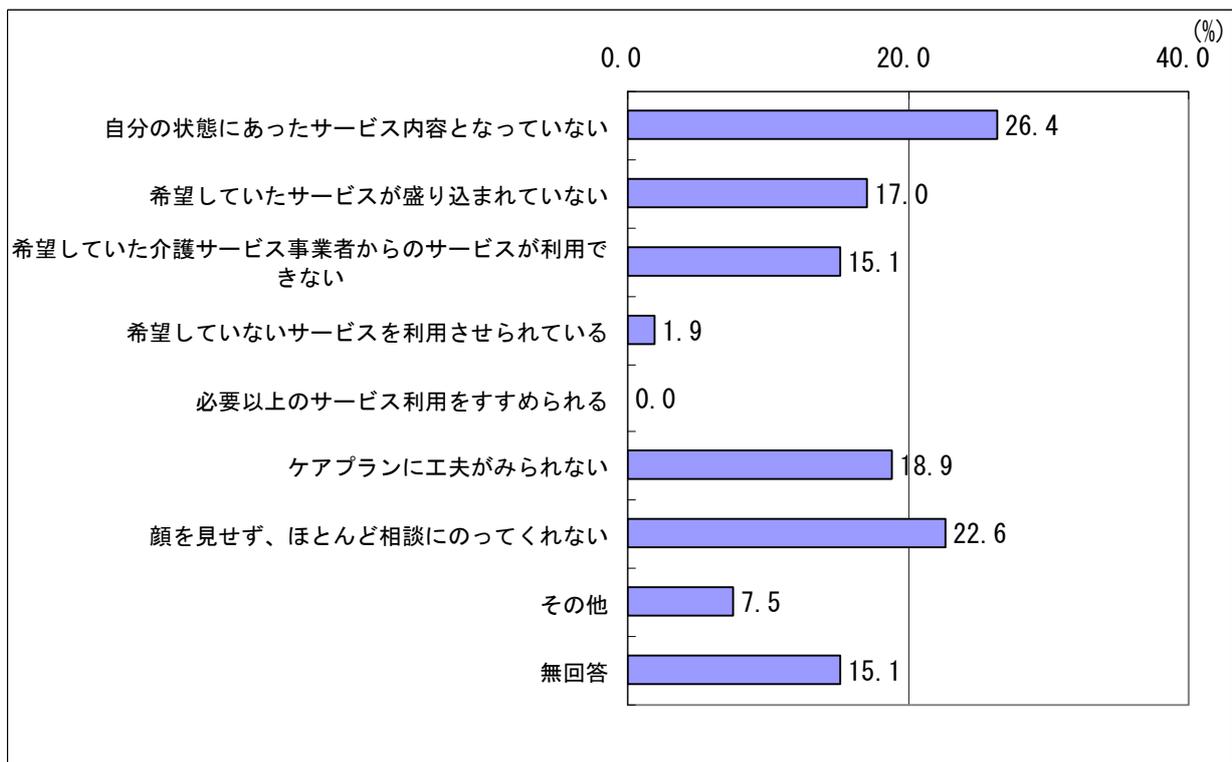
図表 224 ケアプランに対する満足度[N=1,000]



(3) ケアプランで満足していない理由

ケアプランで満足していない理由についてきいたところ、「自分の状態にあったサービス内容となっていない」の割合が 26.4%と最も高く、次いで、「顔を見せず、ほとんど相談にのってくれない」が 22.6%となっています。

図表 225 ケアプランで満足していない理由[N=53 ; 複数回答]

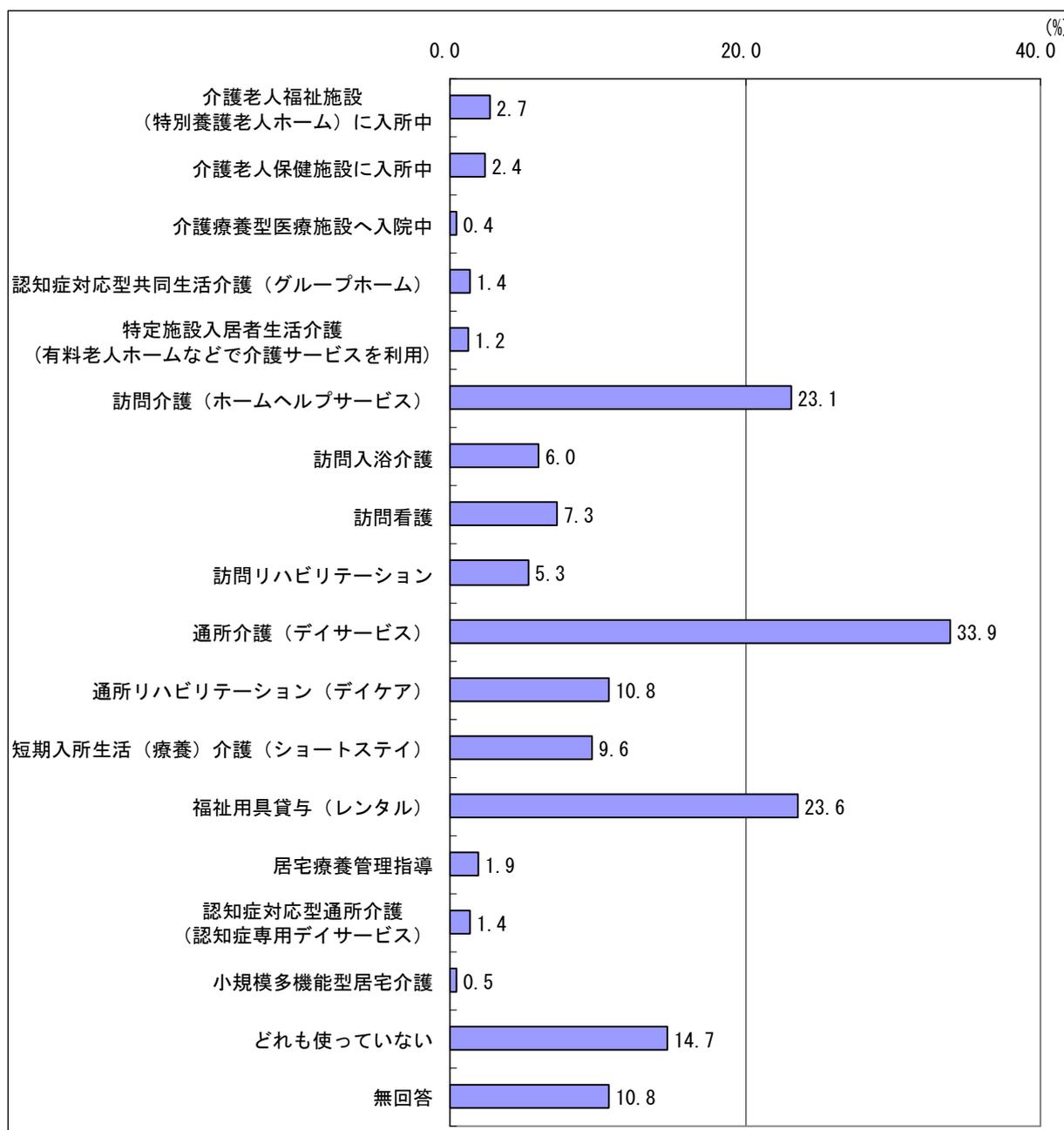


6. 介護サービスの利用状況

(1) 介護サービスの利用状況

介護サービスの利用状況をきいたところ、「通所介護（デイサービス）」の割合が 33.9%と最も高く、次いで、「福祉用具（レンタル）」が 23.6%、「訪問介護（ホームヘルプサービス）」が 23.1%となっています。一方、「どれも使っていない」は 14.7%います。

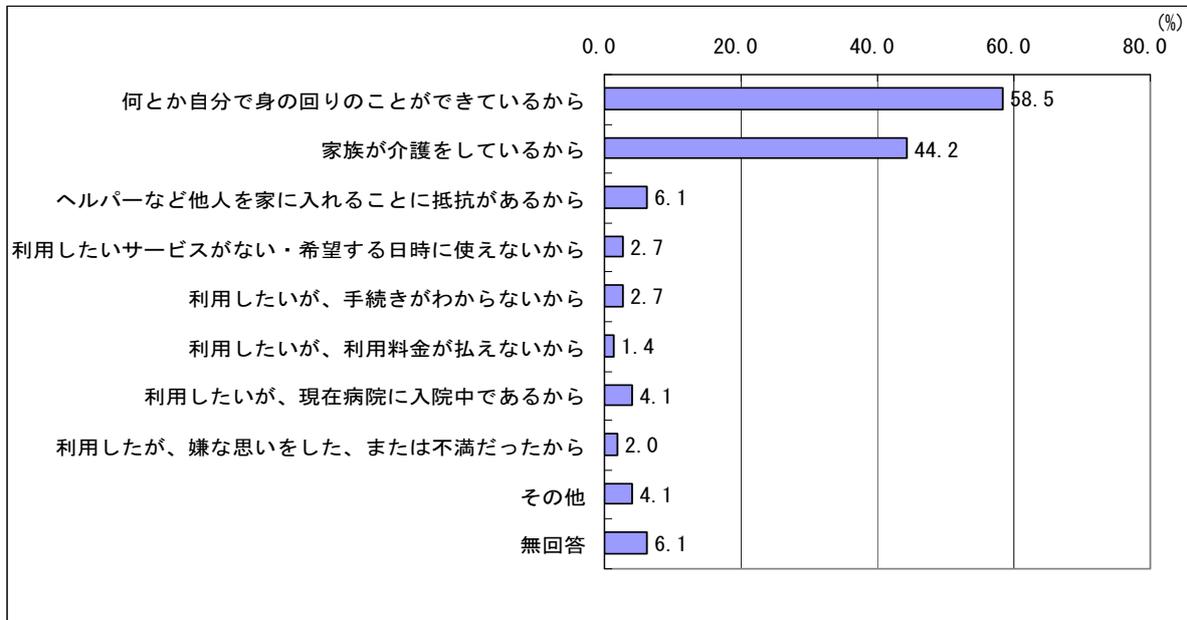
図表 226 介護サービスの利用状況[N=1,000]



(2) サービスを利用していない理由

サービスを利用していない理由についてきいたところ、「何とか自分で身の回りのことができて
いるから」の割合が 58.5%と最も高く、次いで「家族が介護をしているから」が 44.2%となっ
ています。

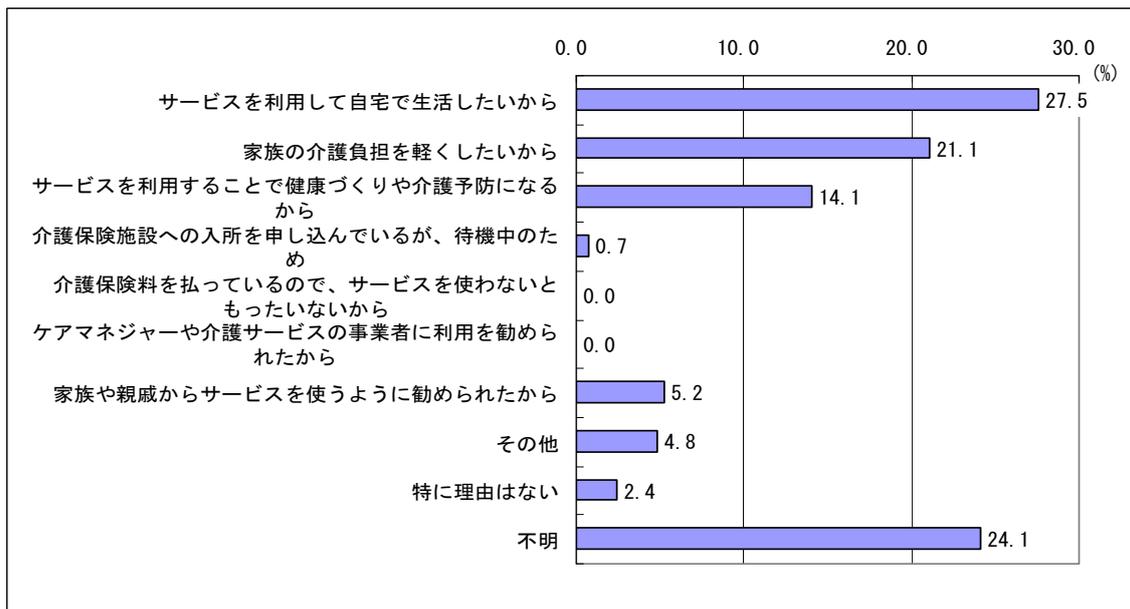
図表 227 サービスを利用していない理由[N=147 ; 複数回答]



(3) サービスを利用している理由

サービスを利用している理由についてきいたところ、「サービスを利用して自宅で生活したいか
ら」割合が 27.5%と最も高く、次いで「家族の介護負担を軽くしたいから」が 21.1%となってい
ます。

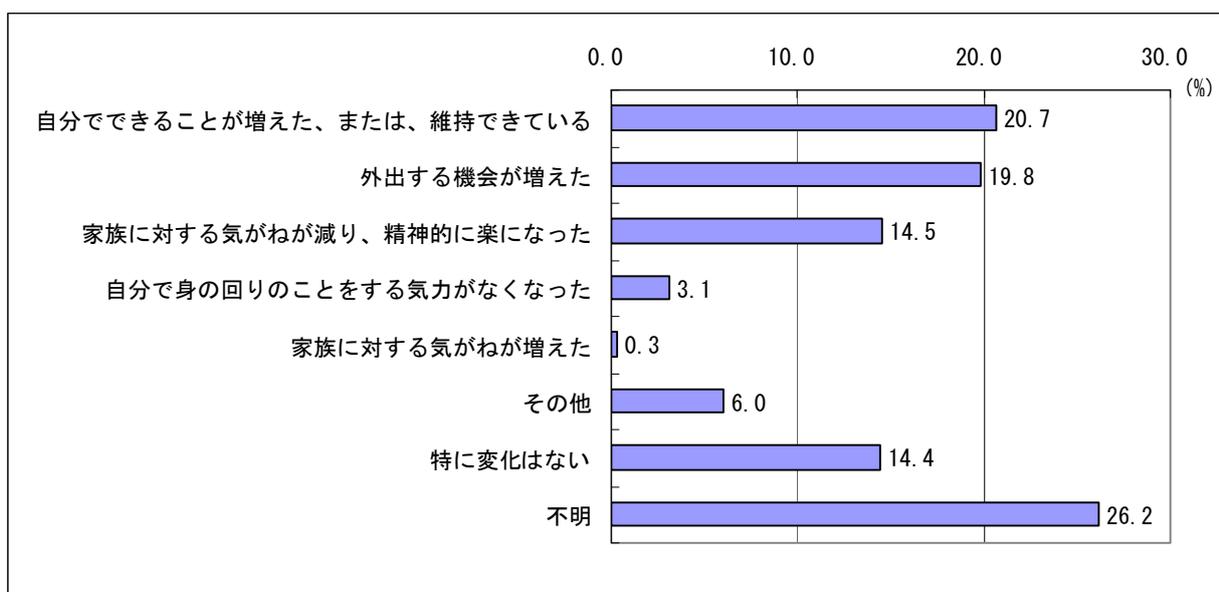
図表 228 サービスを利用している理由[N=668 ; 複数回答]



(4) サービスを利用することによる生活の変化

サービスを利用することによる生活の変化についてきいたところ、何らかの変化があった人は49.5%となっています。変化としては、「自分でできることが増えた、または、維持できている」(20.7%)、「外出する機会が増えた」(19.8%)の割合が高くなっています。一方、「特に変化はない」が14.4%となっています。

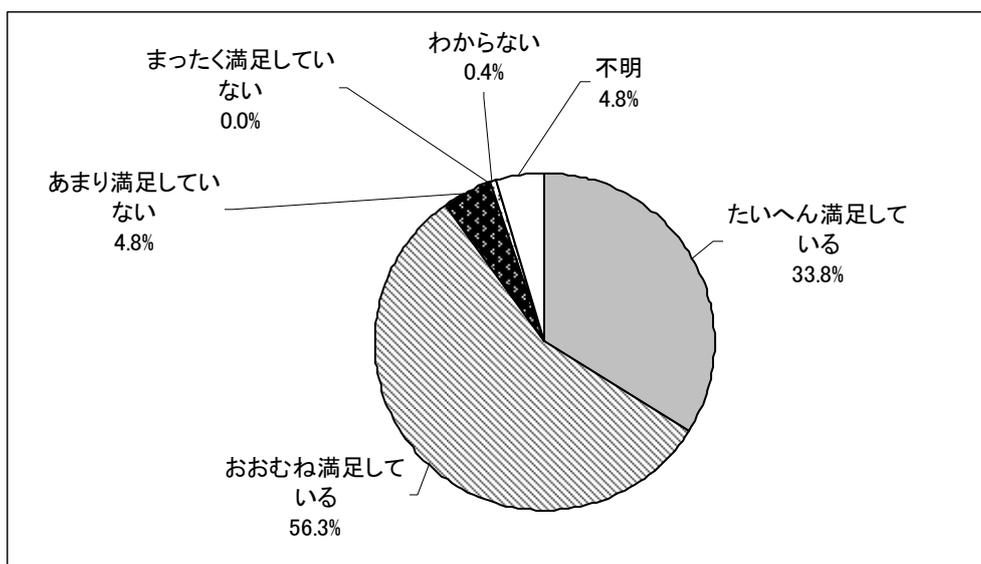
図表 229 サービスを利用することによる生活の変化[N=668 ; 複数回答]



(5) 訪問介護サービスの利用について

訪問介護サービスを利用している人にその満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が33.8%、「おおむね満足している」が56.3%と、約90%が満足しています。一方、「あまり満足していない」が4.8%となっています。

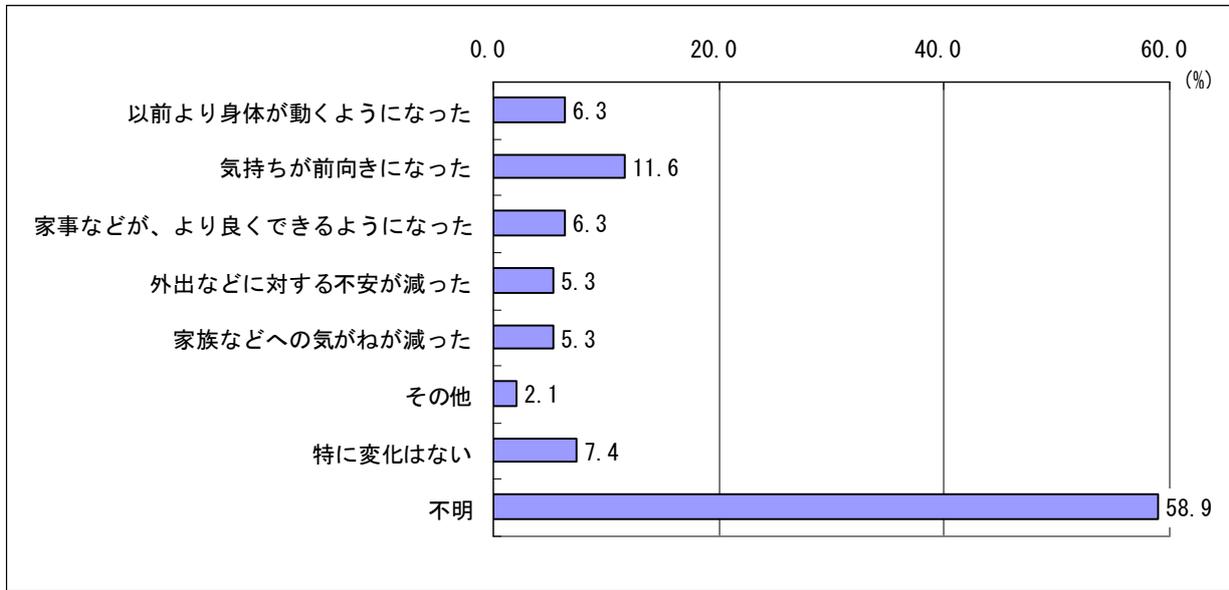
図表 230 訪問介護サービスの満足度[N=231]



(6) 訪問介護サービスを利用しての変化

要支援1, 2の人に訪問介護サービスを利用しての変化についてきいたところ、なんらかの変化があった人は24.2%となっています。なかでも、「気持ちが前向きになった」が11.6%と高くなっています。一方、「特に変化はない」が7.4%となっています。

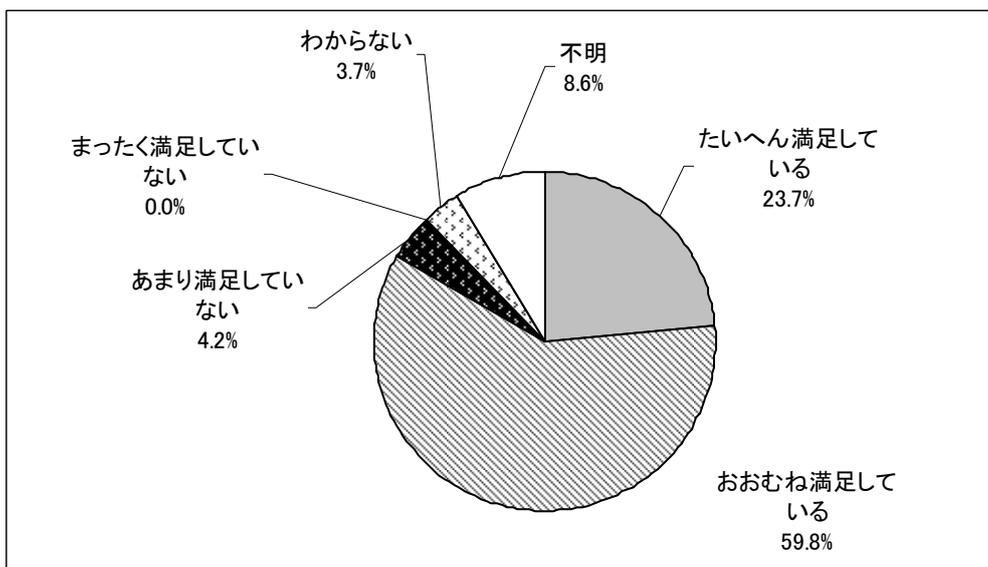
図表 231 訪問介護サービスを利用しての変化[N=95 ; 複数回答]



(7) 通所介護・通所リハビリテーションの満足度

通所介護・通所リハビリテーションを利用している人にその満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が23.7%、「おおむね満足している」が59.8%と、約85%が満足しています。一方、「あまり満足していない」が4.2%となっています。

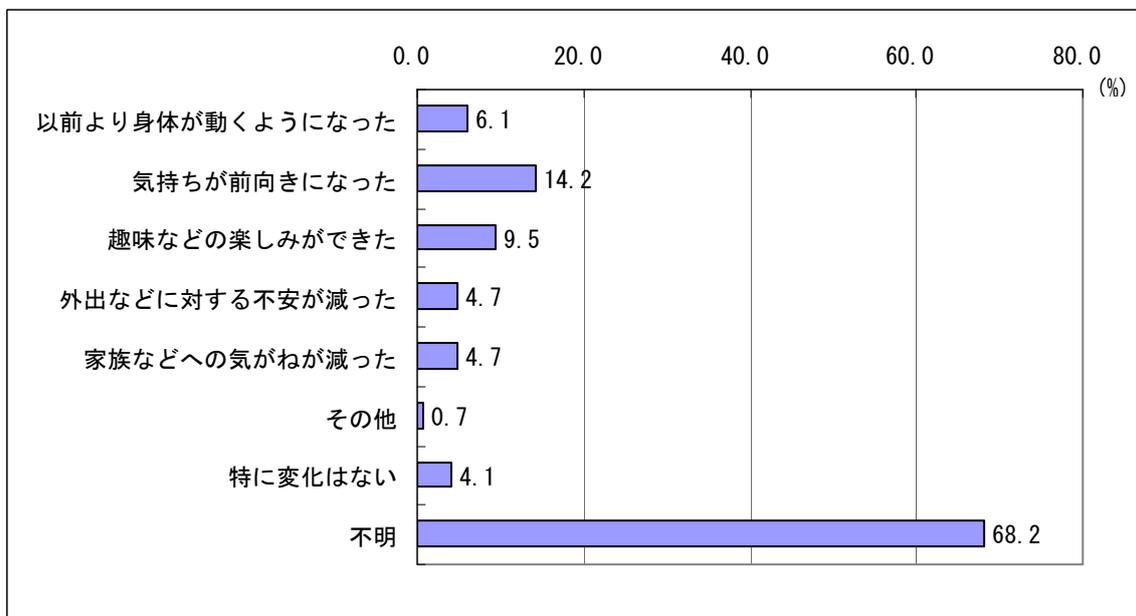
図表 232 通所介護・通所リハビリテーションの満足度[N=405]



(8) 通所介護・通所リハビリテーション訪問介護サービスを利用しての変化

要支援1, 2の人に通所介護・通所リハビリテーションを利用しての変化についてきいたところ、なんらかの変化があった人は25.7%となっています。なかでも、「気持ちが前向きになった」が14.2%と高くなっています。一方、「特に変化はない」が4.1%となっています。

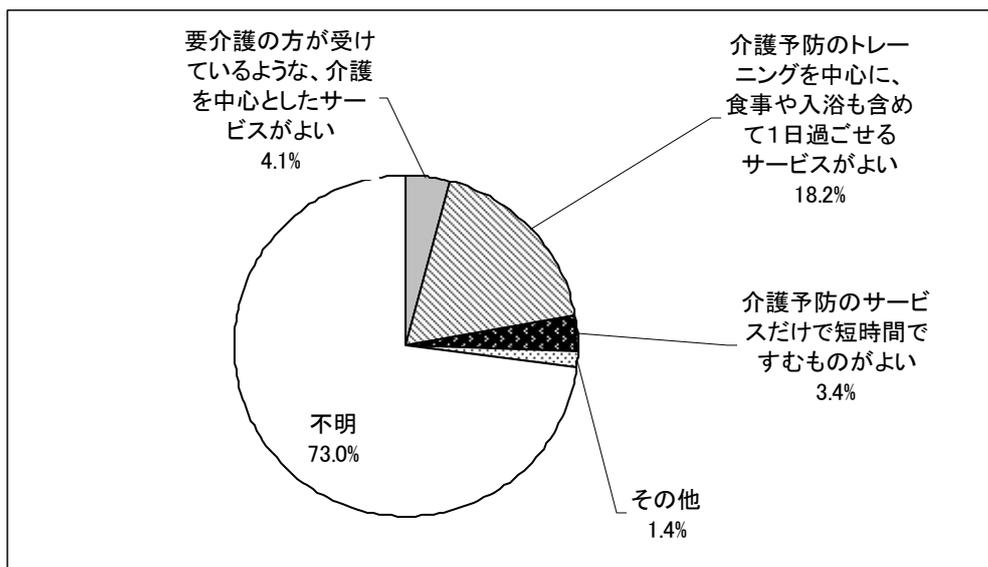
図表 233 通所介護・通所リハビリテーションを利用しての変化足度[N=148；複数回答]



(9) 通所介護・通所リハビリテーション訪問介護サービスを利用しての変化

要支援1, 2の人に今後希望する通所介護・通所リハビリテーションについてきいたところ、「介護予防のトレーニングを中心に、食事や入浴も含めて1日過ごせるサービスがよい」が18.2%と最も高くなっています。

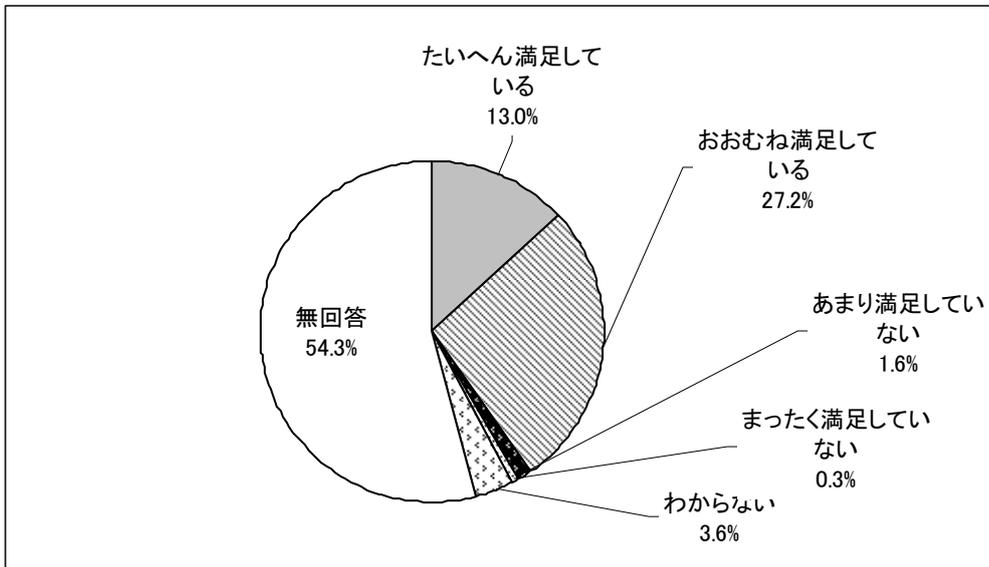
図表 234 今後希望する通所介護・通所リハビリテーション[N=148]



(10) 福祉用具の購入についての満足度

福祉用具を購入したことがある人にその満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が13.0%、「おおむね満足している」が27.2%と、約40%が満足しています。一方、「あまり満足していない」が1.6%、「まったく満足していない」が0.3%となっています。

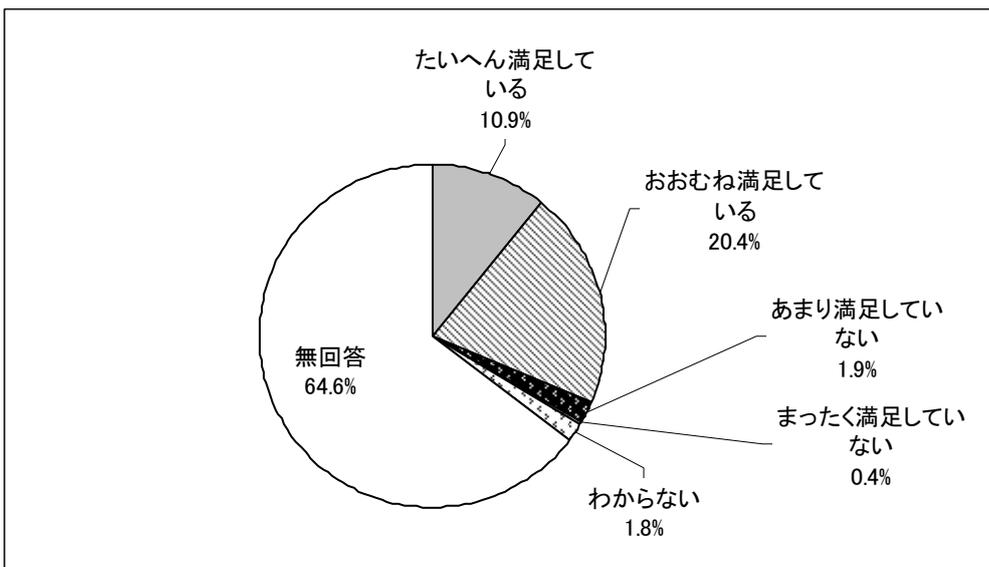
図表 235 福祉用具の購入についての満足度[N=1000]



(11) 住宅改修についての満足度

住宅改修についての満足度をきいたところ、「たいへん満足している」が10.9%、「おおむね満足している」が20.4%と、約30%が満足しています。一方、「あまり満足していない」が1.9%、「まったく満足していない」が0.4%となっています。

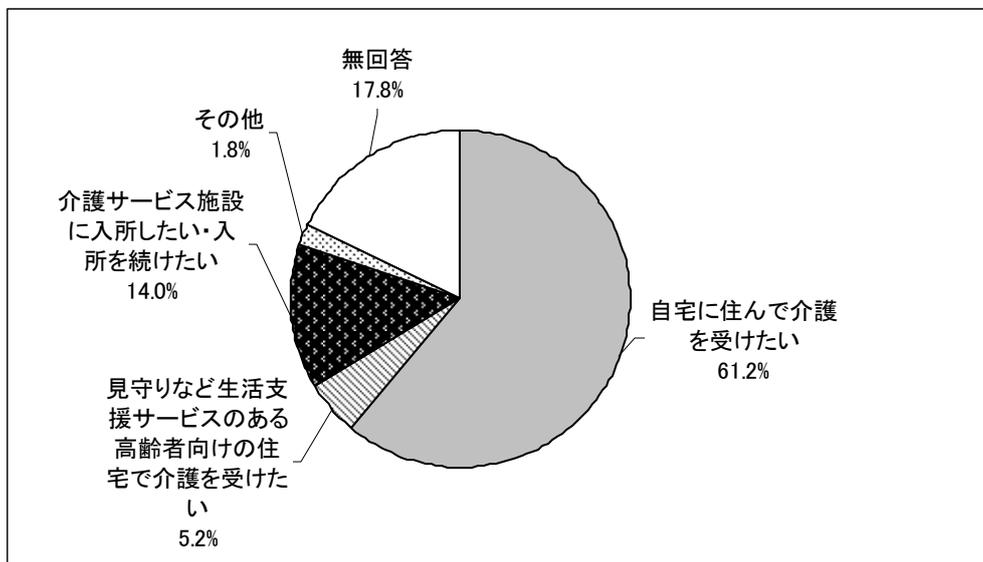
図表 236 住宅改修についての満足度[N=1000]



(12) 今後介護を受けたい場所

今後どこで介護を受けたいかきいたところ、「自宅に住んで介護を受けたい」の割合が 61.2%と最も高く、次いで「介護サービス施設に入所したい・入所を続けたい」が 14.0%となっています。

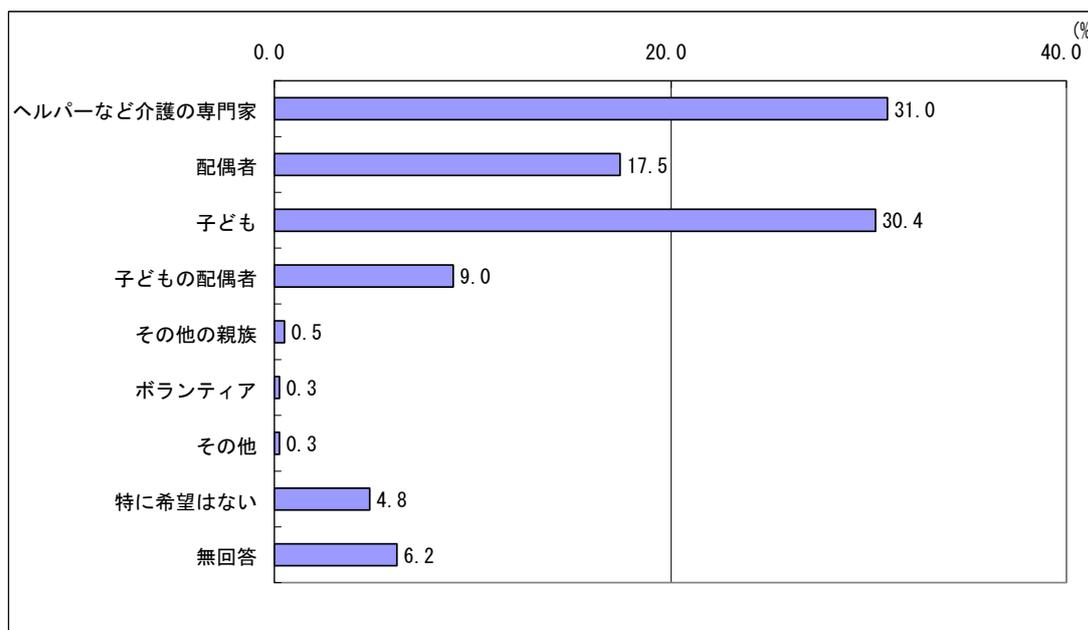
図表 237 今後介護を受けたい場所[N=1,000]



(13) 希望する介護者

在宅での介護を希望する人に、希望する介護者についてきいたところ、「ヘルパーなど介護の専門家」(31.0%)、「子ども」(30.4%)の割合が高くなっています。

図表 238 希望する介護者[N=664]

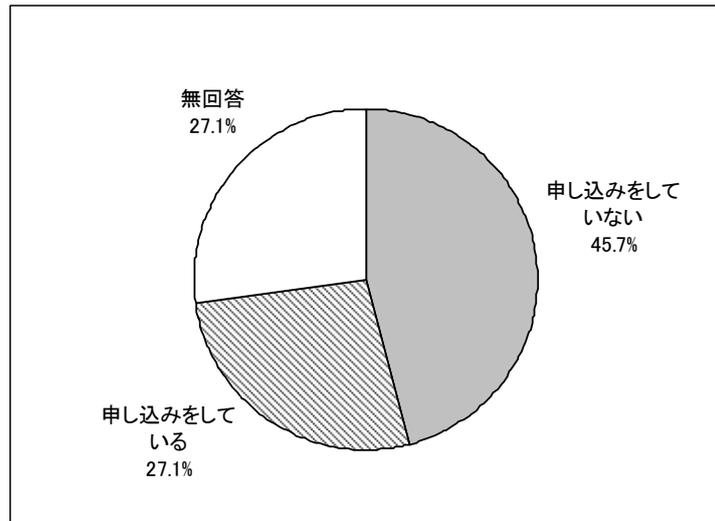


(14) 介護サービス施設への入所申し込みの有無

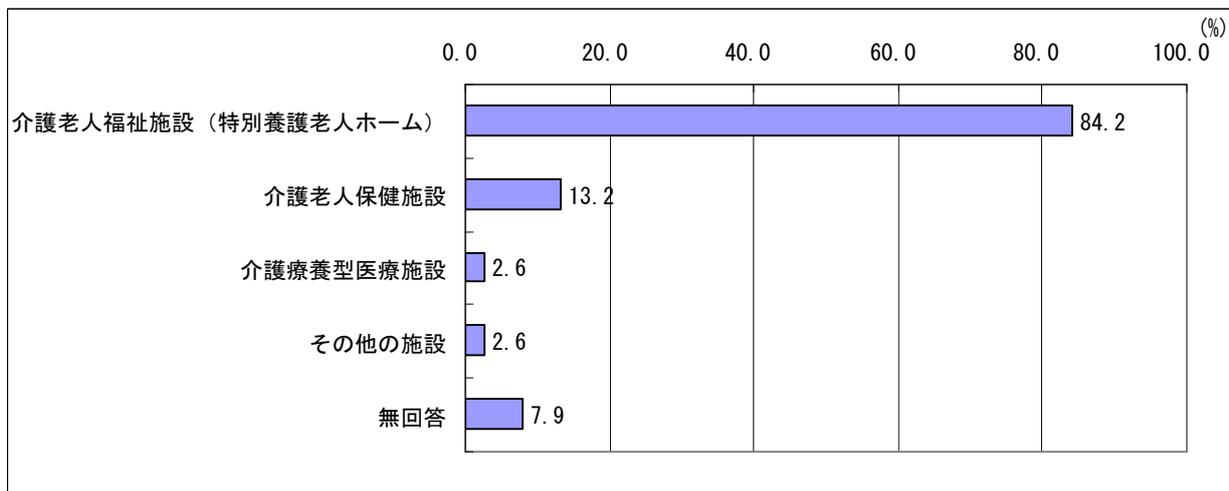
介護サービス施設を希望する人に入所申し込みをしているかきいたところ、「申し込みをしていない」が 45.7%、「申し込みをしている」が 27.1%となっています。

また、申し込んでいる施設については、大半が「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」となっています。入所したい理由については、「施設の方が安心だから」が 42.1%と最も高く、次いで、「症状が進んで在宅での介護が困難になってきた」が 28.9%となっています。

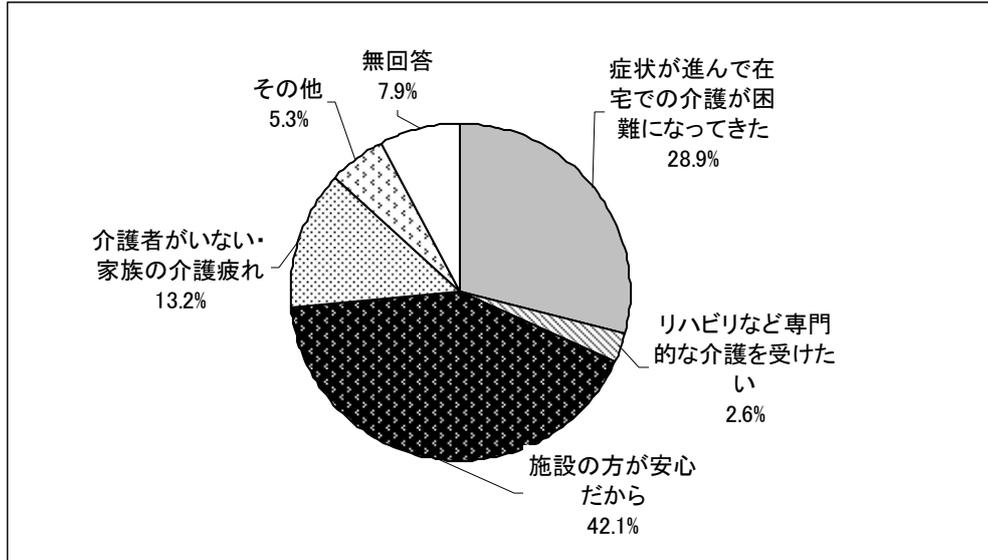
図表 239 介護サービス施設への入所申し込みの有無[N=140]



図表 240 申込み施設 [N=38;複数]



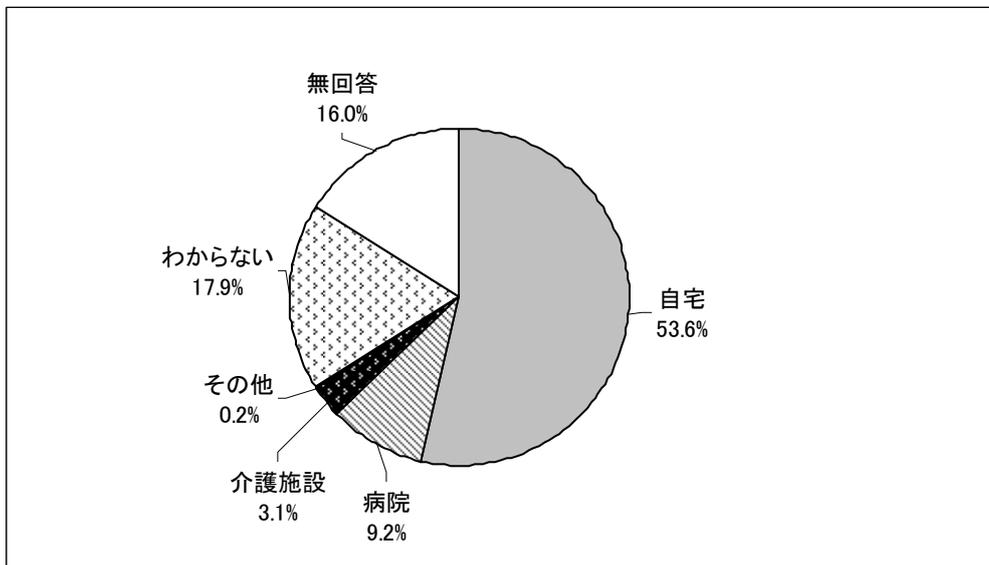
図表 241 介護サービス施設へ入所したい理由 [N=38]



(15) どこで最期を迎えたいか

どこで最期を迎えたいかきいたところ、「自宅」の割合が 53.6%と最も高く、次いで「わからない」が 17.9%となっています。

図表 242 どこで最期を迎えたいか [N=1,000]

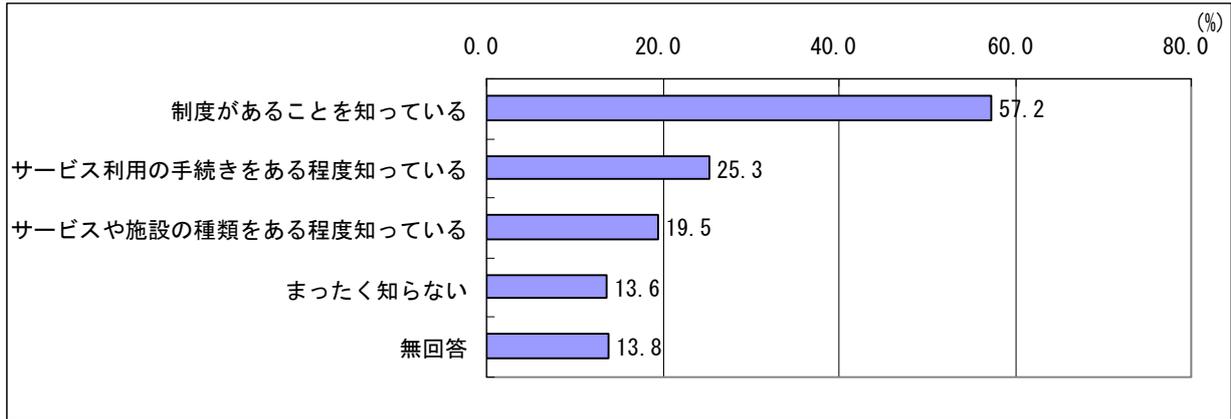


7. 介護保険制度について

(1) 介護保険制度の認知度

介護保険制度についてどの程度知っているかきいたところ、「制度があることを知っている」の割合が57.2%と最も高く、次いで「サービス利用の手続きをある程度知っている」が25.3%となっています。

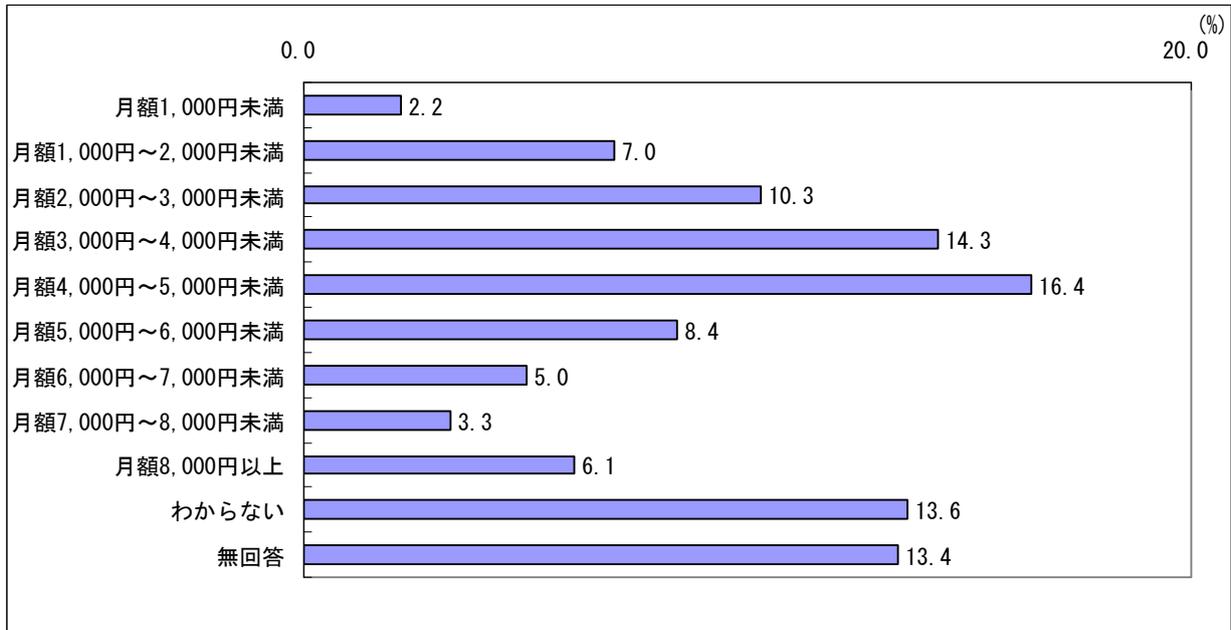
図表 243 介護保険制度の認知度[N=1,000；複数回答]



(2) 現在支払っている介護保険料

現在支払っている介護保険料についてきいたところ、「月額4,000円～5,000円未満」の割合が16.4%と最も高く、次いで「月額3,000円～4,000円未満」が14.3%となっています。

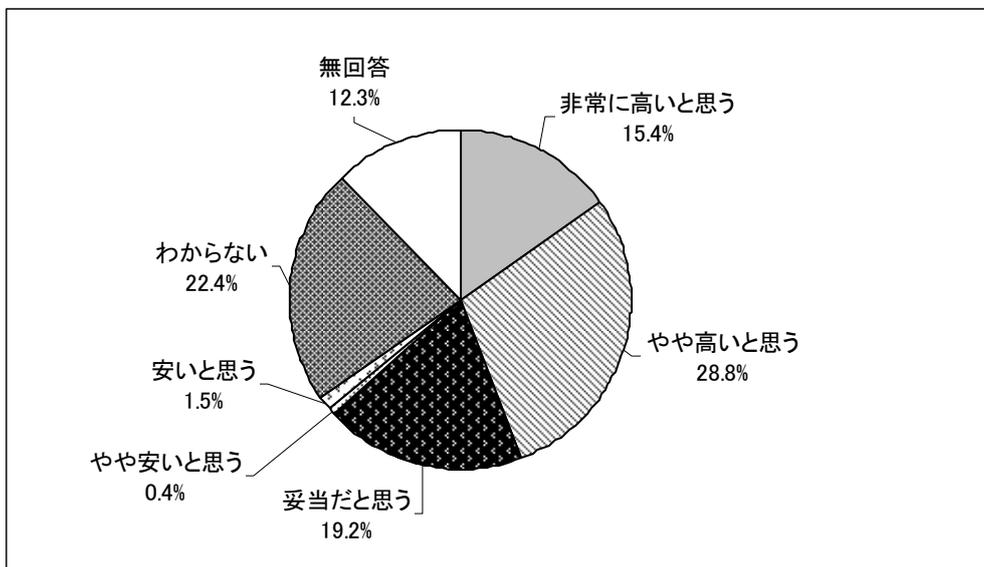
図表 244 現在支払っている介護保険料[N=1,000]



(3) 支払っている介護保険料の金額について

支払っている介護保険料の金額についてきいたところ、「やや高いと思う」の割合が28.8%と最も高く、次いで「非常に高いと思う」が15.4%となっています。

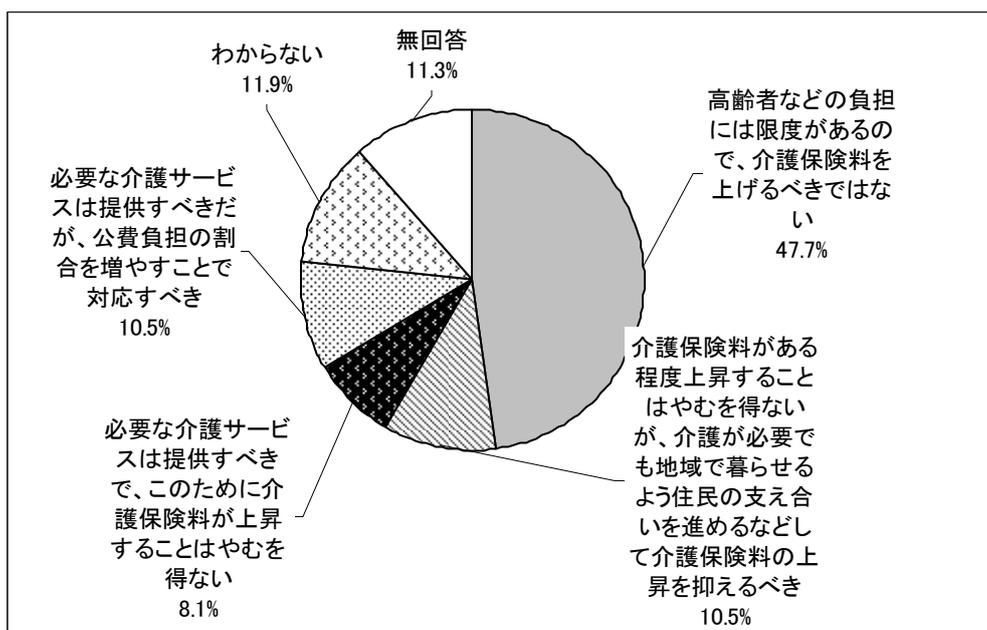
図表 245 支払っている介護保険料の金額について[N=1,000]



(4) 介護保険の今後の費用負担のあり方について

介護保険の今後の費用負担のあり方についてきいたところ、約半数が「高齢者などの負担には限度があるので、介護保険料を上げるべきではない」(47.7%)としています。

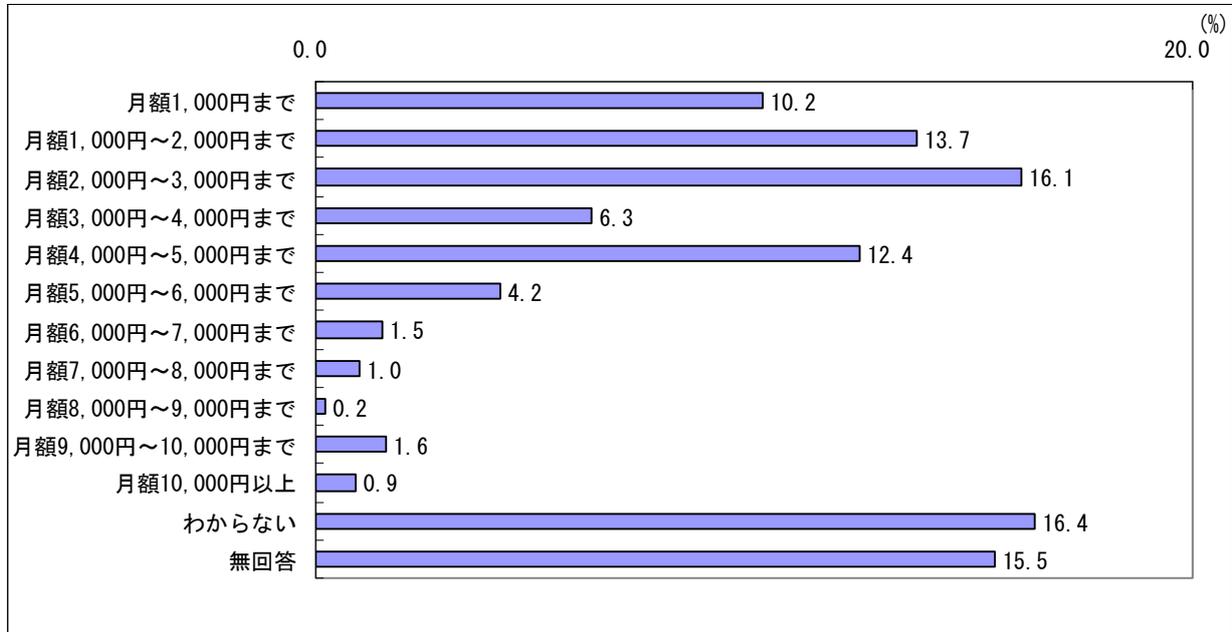
図表 246 介護保険の今後の費用負担のあり方について[N=1,000]



(5) 介護保険料の負担限度について

介護保険料を負担できる限度額についてきいたところ、「わからない」の割合が16.4%と最も高く、次いで「月額2,000円～3,000円まで」が16.1%となっています。

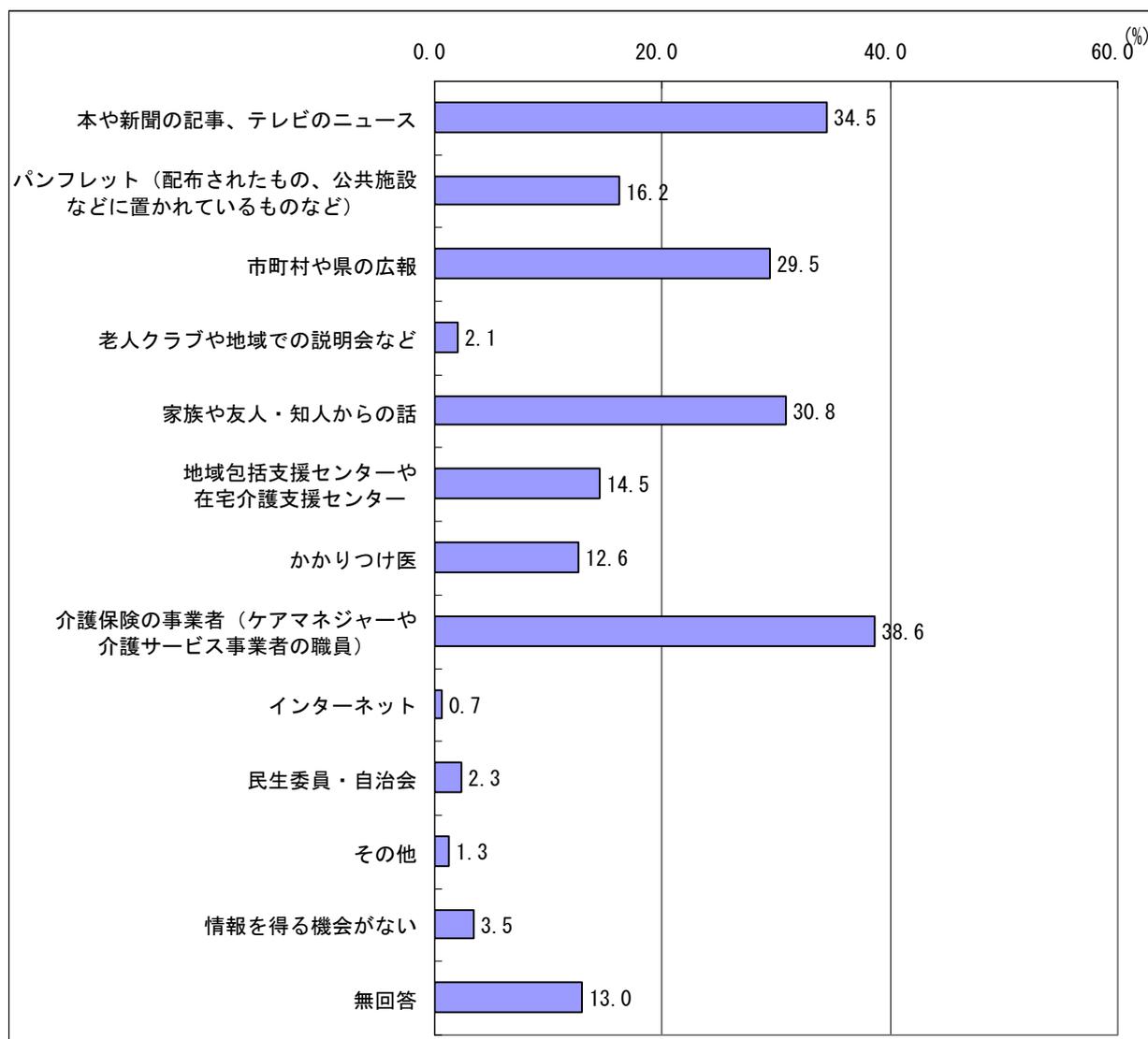
図表 247 介護保険料の負担限度額[N=1,000]



(6) 介護や保健、医療等に関する情報の入手先

介護や保健、医療等に関する情報をどこから入手しているかきいたところ、「介護保険の事業者（ケアマネジャーや介護サービス事業者の職員）」の割合が 38.6%と最も高く、次いで「本や新聞の記事、テレビのニュース」が 34.5%となっています。

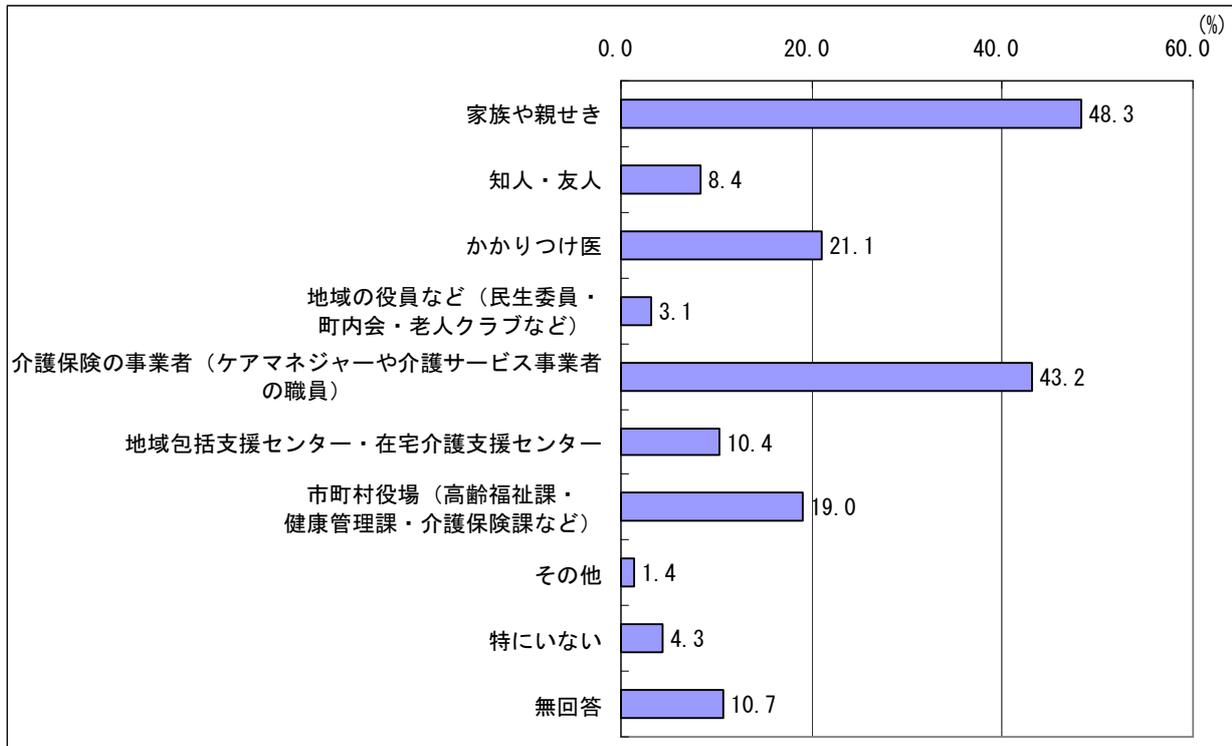
図表 248 介護や保健、医療等に関する情報を、どのような手段で得ているか[N=1,000；複数回答]



(7) 介護や保健、医療等に関することの相談者

介護や保健、医療等に関することについて誰に相談しているかきいたところ、「家族や親せき」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「介護保険の事業者（ケアマネジャーや介護サービス事業者の職員）」が 43.2%となっています。

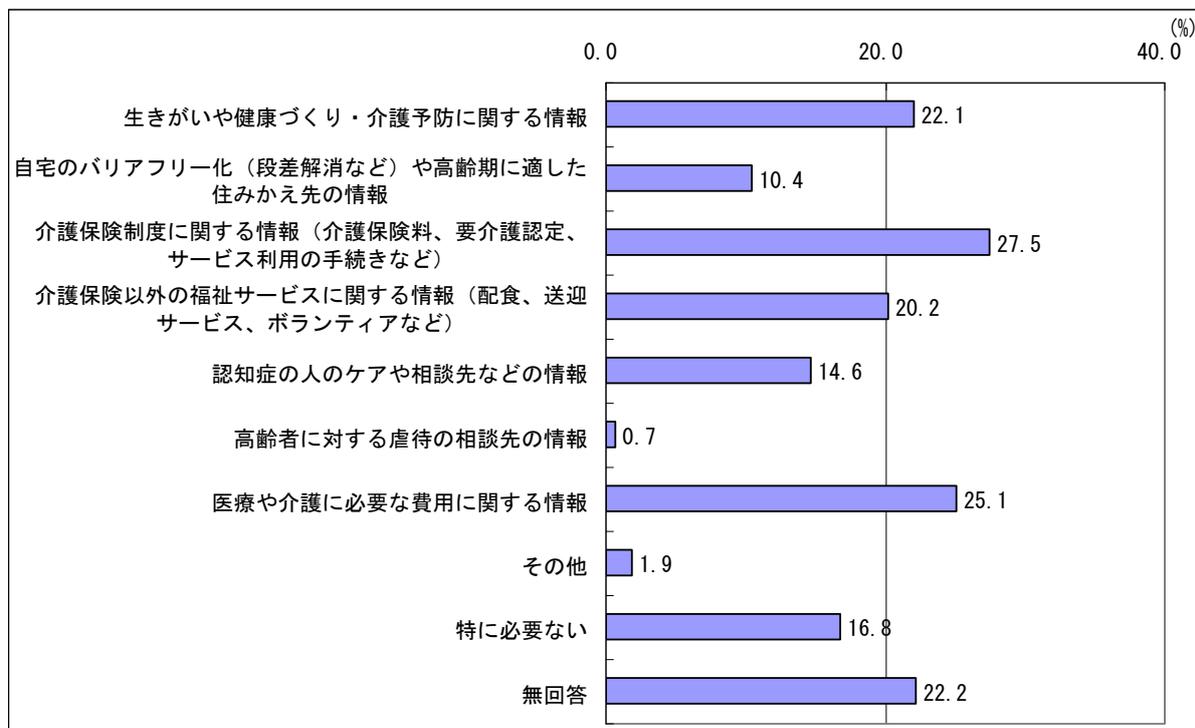
図表 249 介護や保健、医療等に関することの相談者[N=1,000；複数回答]



(8) 介護や保健、医療等に関することでほしい情報

介護や保健、医療等に関することでほしい情報についてきいたところ、「介護保険制度に関する情報（介護保険料、要介護認定、サービス利用の手続きなど）」の割合が 27.5%と最も高く、次いで「医療や介護に必要な費用に関する情報」が 25.1%となっています。

図表 250 介護や保健、医療等に関することでほしい情報[N=1,000；複数回答]

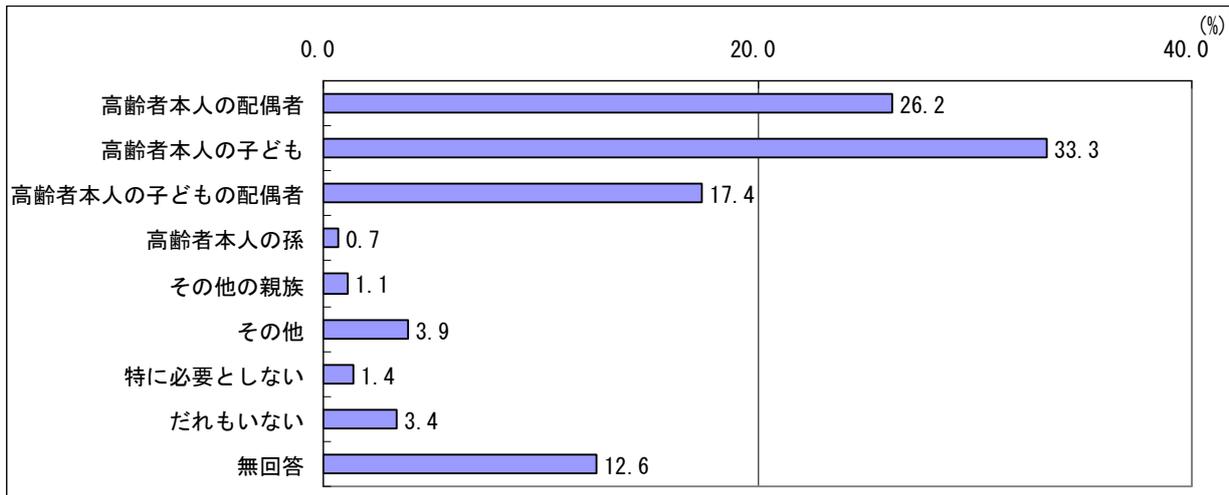


8. 介護者の状況について

(1) 主な介護者

主な介護者についてきいたところ、「高齢者本人の子ども」の割合が33.3%と最も高く、次いで「高齢者本人の配偶者」が26.2%となっています。一方、「特に必要としない」が1.4%、「だれもいない」が3.4%となっています。

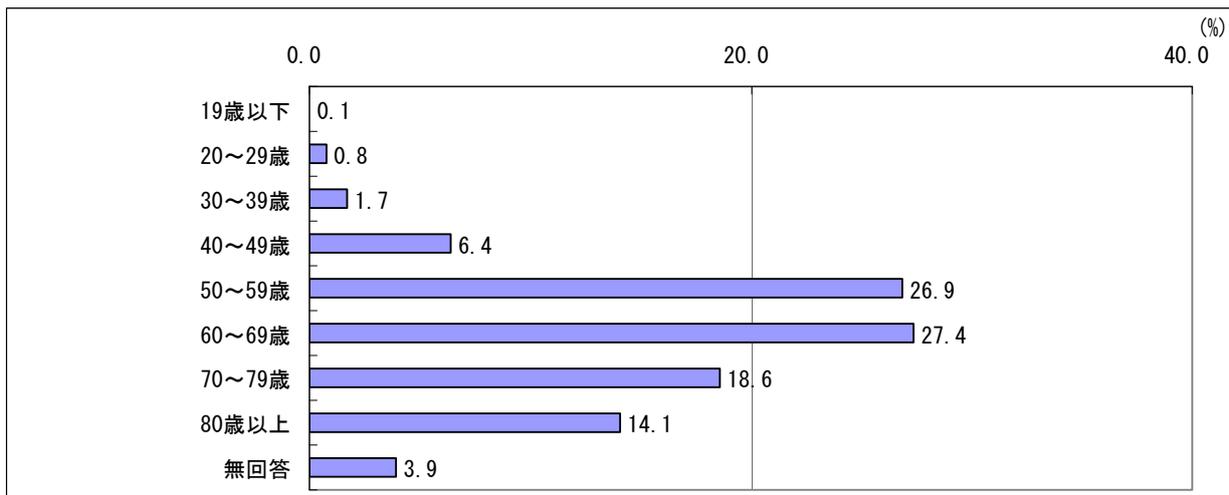
図表 251 主な介護者[N=1,000]



(2) 主な介護者の年齢

主な介護者の年齢についてきいたところ、「60～69歳」(27.4%)、「50～59歳」(26.9%)が高くなっています。

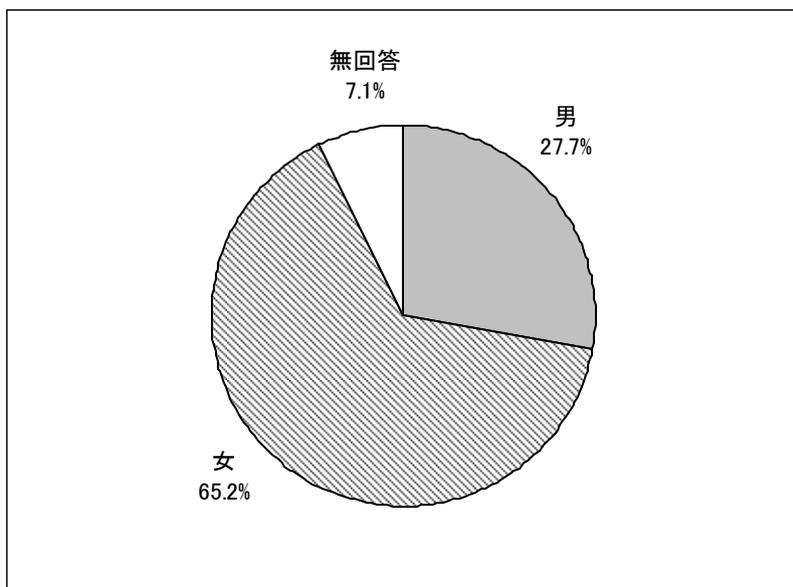
図表 252 主な介護者の年齢[N=871]



(3) 主な介護者の性別

主な介護者の性別は、「女」が65.2%、「男」が27.7%となっています。

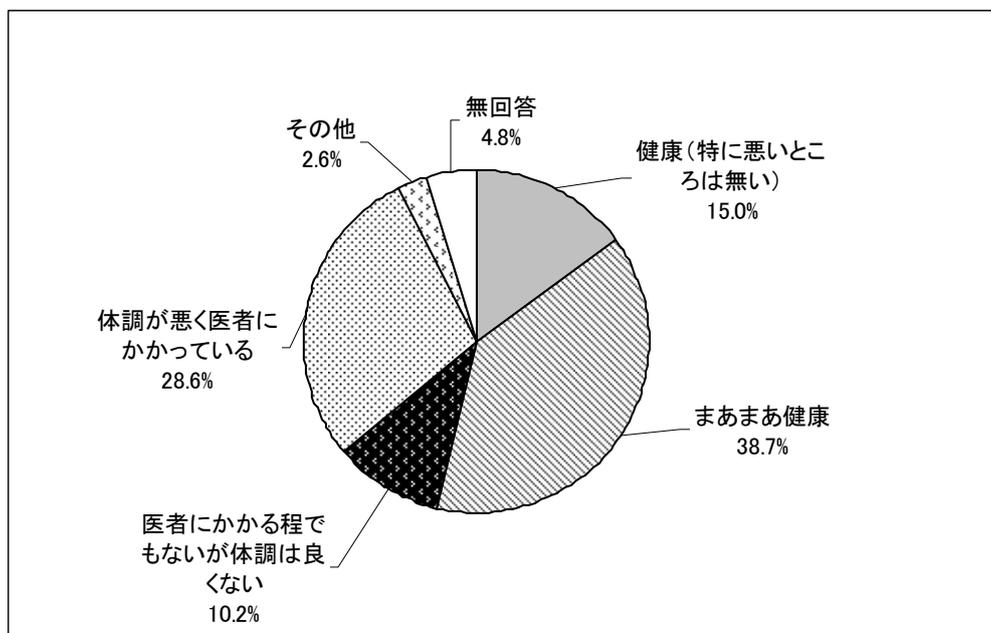
図表 253 主な介護者の性別[N=871]



(4) 主な介護者の健康状態

主な介護者の健康状態についてきいたところ、「まあまあ健康」の割合が38.7%と最も高く、次いで「体調が悪く医者にかかっている」が28.6%となっています。

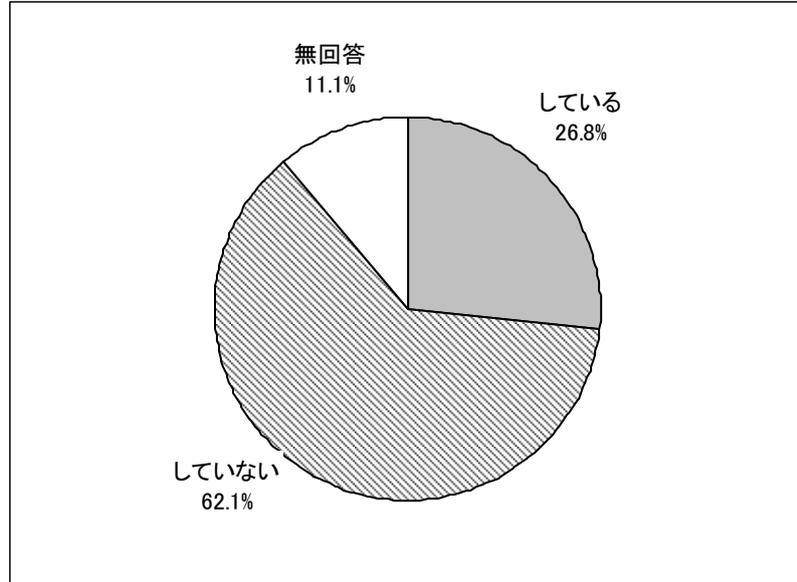
図表 254 主な介護者の健康状態[N=871]



(5) 主な介護者の就業の有無

主な介護者の就業状況についてきいたところ、「していない」が62.1%、「している」が26.8%となっています。

図表 255 主な介護者の就業の有無[N=871]

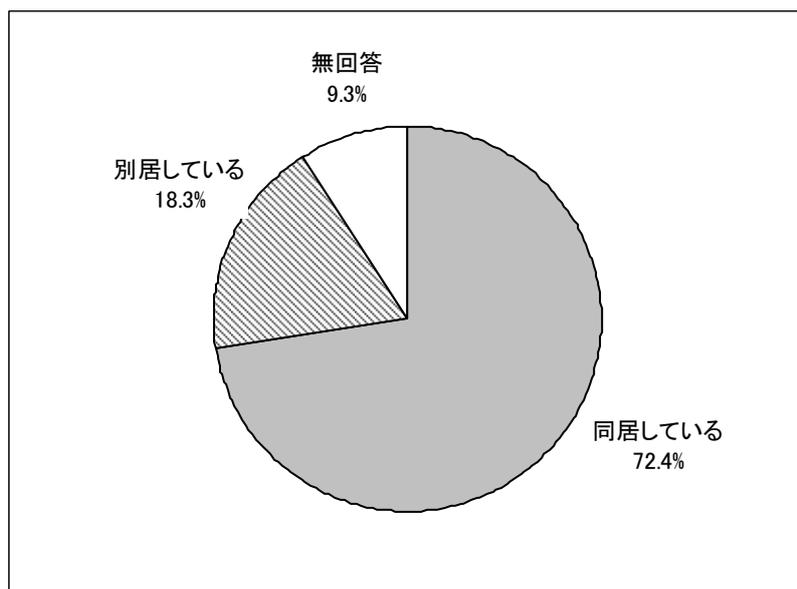


(6) 主な介護者と要介護認定の高齢者本人との同居の有無

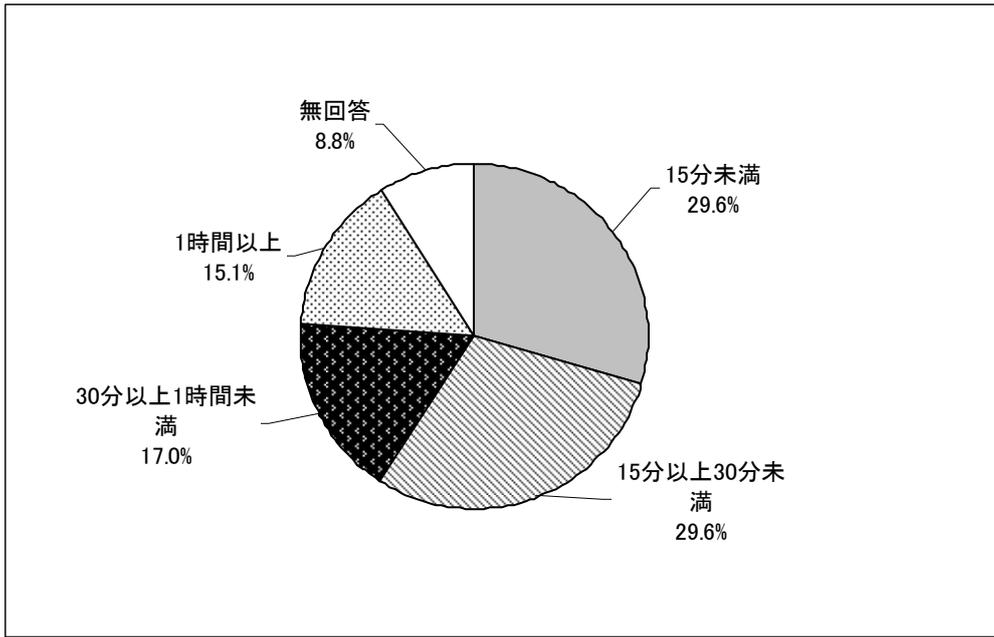
主な介護者と要介護認定の高齢者本人との同居の状況についてきいたところ、「同居している」が72.4%、「別居している」が18.3%となっています。

また別居している人の距離をきいたところ、「15分未満」、「15分以上30分未満」がともに29.6%と高くなっています。

図表 256 主な介護者と要介護認定の高齢者本人との同居の有無[N=871]



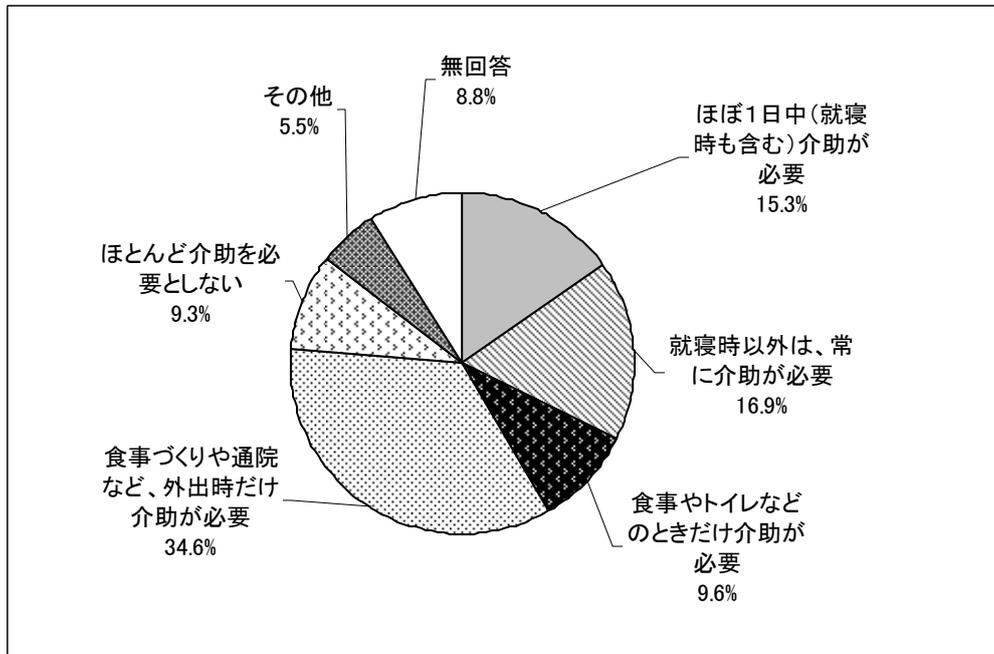
図表 257 別居者の距離[N=159]



(7) 高齢者本人の介助の必要度

高齢者本人の介助の必要度についてきいたところ、「食事づくりや通院など、外出時だけ介助が必要」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「ほぼ1日中（就寝時も含む）介助が必要」が 15.3%となっています。

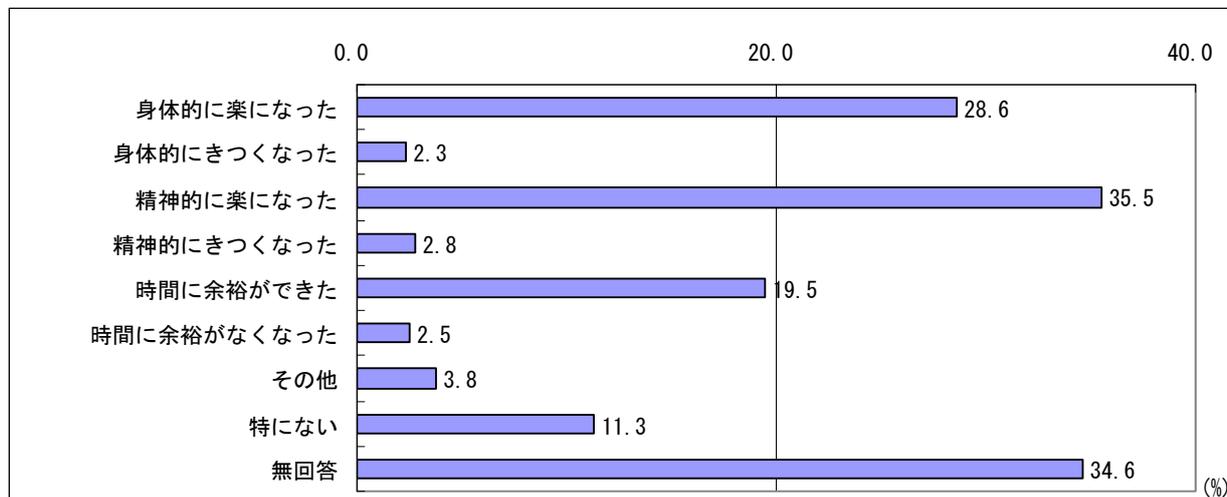
図表 258 高齢者本人の介助の必要度[N=871]



(8) 居宅サービス利用での主な介護者の生活の変化

居宅サービス利用での、主な介護者の生活の変化についてきいたところ、「精神的に楽になった」が35.5%と最も高く、次いで「身体的に楽になった」が28.6%となっています。

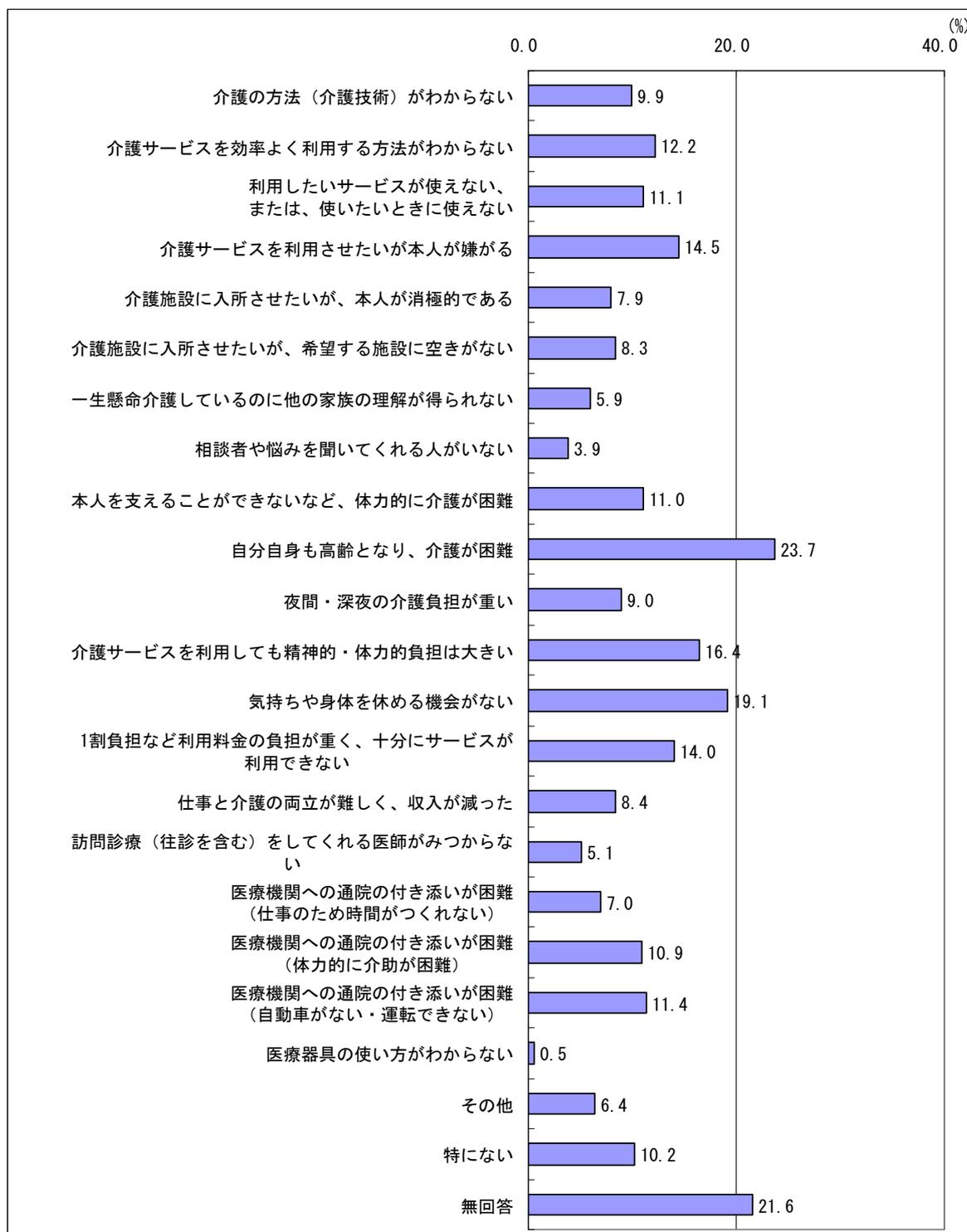
図表 259 居宅サービス利用での、主な介護者の生活の変化[N=871；複数回答]



(9) 主な介護者が介護を行う上で困っていること

主な介護者が介護を行う上で困っていることについてきいたところ、「自分自身も高齢となり、介護が困難」の割合が 23.7%と最も高く、次いで「気持ちや身体を休める機会がない」が 19.1%となっています。

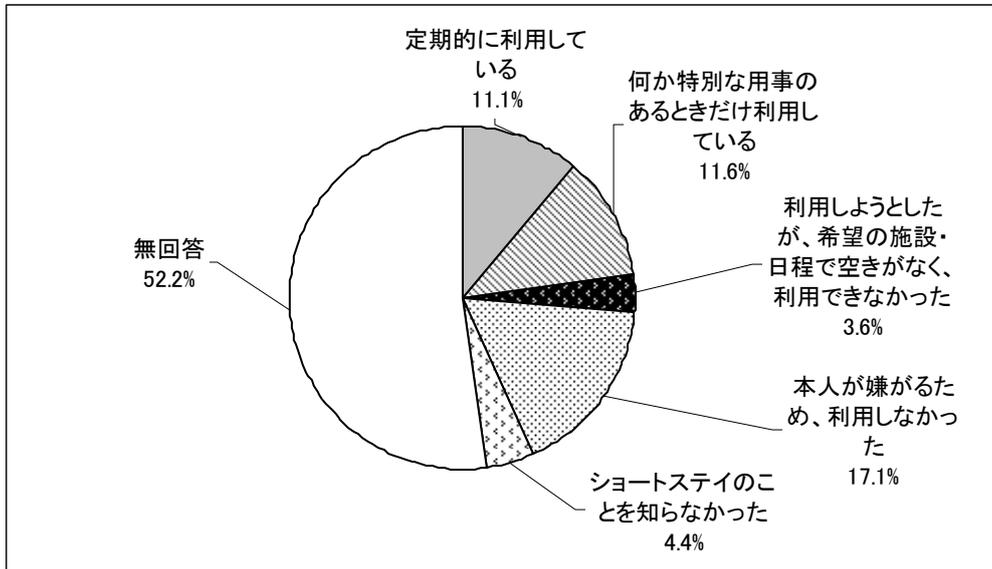
図表 260 主な介護者が介護を行う上で困っていること [N=871 ; 複数]



(10) ショートステイ利用の有無

ショートステイの利用の有無についてきいたところ、「本人が嫌がるため、利用しなかった」が17.1%高くなっています。

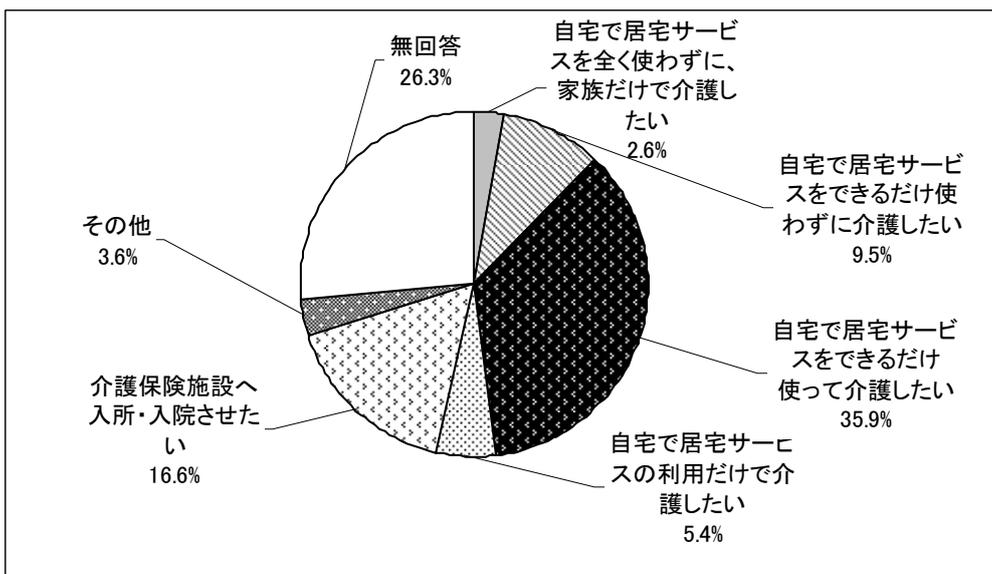
図表 261 ショートステイ利用の有無[N=871]



(11) 今後の介護についての考え

今後の介護についての考えについてきいたところ、「自宅で居宅サービスをできるだけ使って介護したい」の割合が35.9%と最も高く、次いで「介護保険施設へ入所・入院させたい」が16.6%となっています。

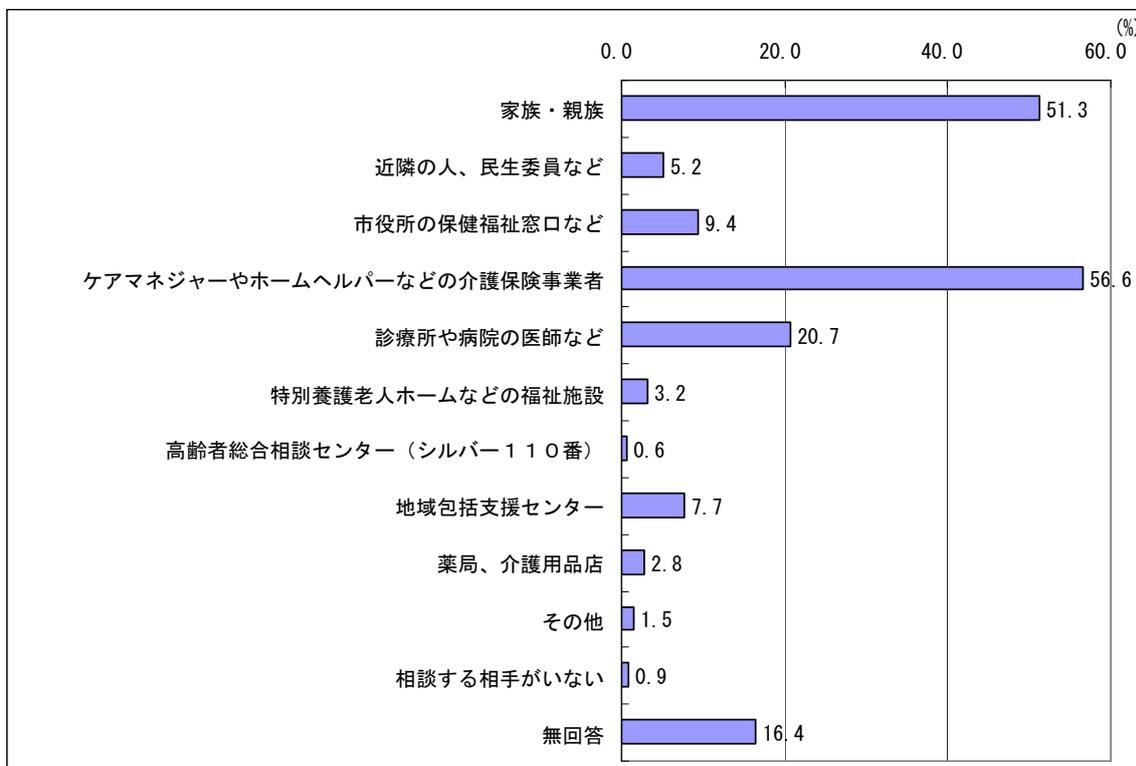
図表 262 今後の介護についての考え[N=871]



(12) 介護で困った時の相談相手

介護で困った時の相談相手についてきいたところ、「ケアマネジャーやホームヘルパーなどの介護保険事業者」の割合が 56.6%と最も高く、次いで「家族・親族」が 51.3%となっています。

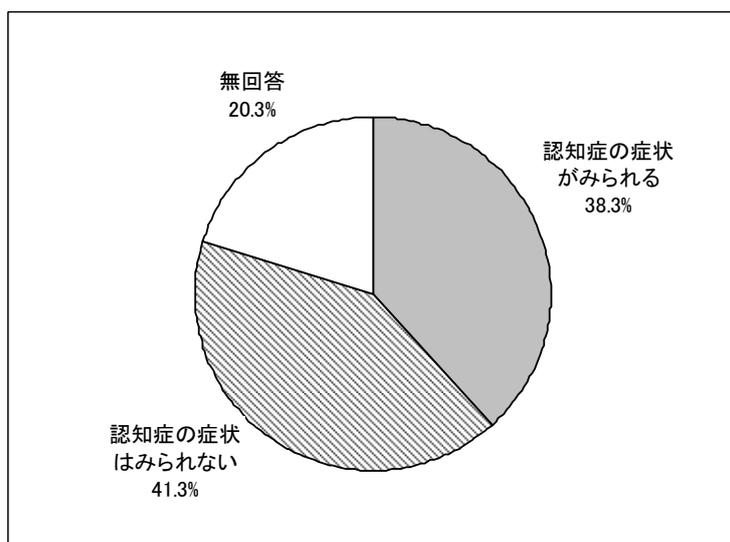
図表 263 介護で困った時の相談相手[N=871；複数回答]



(13) 高齢者本人の認知症状の有無

認知症状の有無をきいたところ、「認知症の症状はみられない」が 41.3%、「認知症の症状がみられる」が 38.3%となっています。

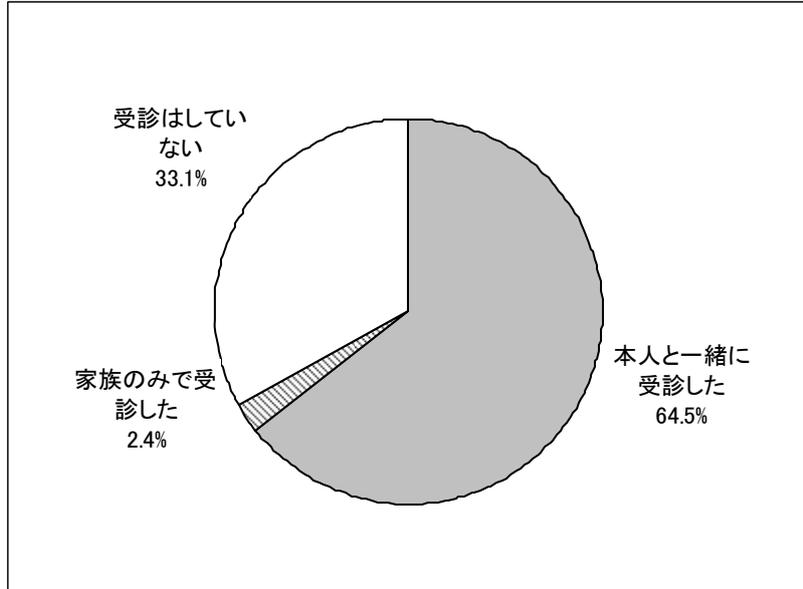
図表 264 高齢者本人の認知症状の有無[N=871]



(14) 認知症についての受診の有無

認知症状がみられる人に病院での受診をしたかきいたところ、「本人と一緒に受診した」が64.5%、「家族のみで受診した」が2.4%、「受診していない」が33.1%となっています。

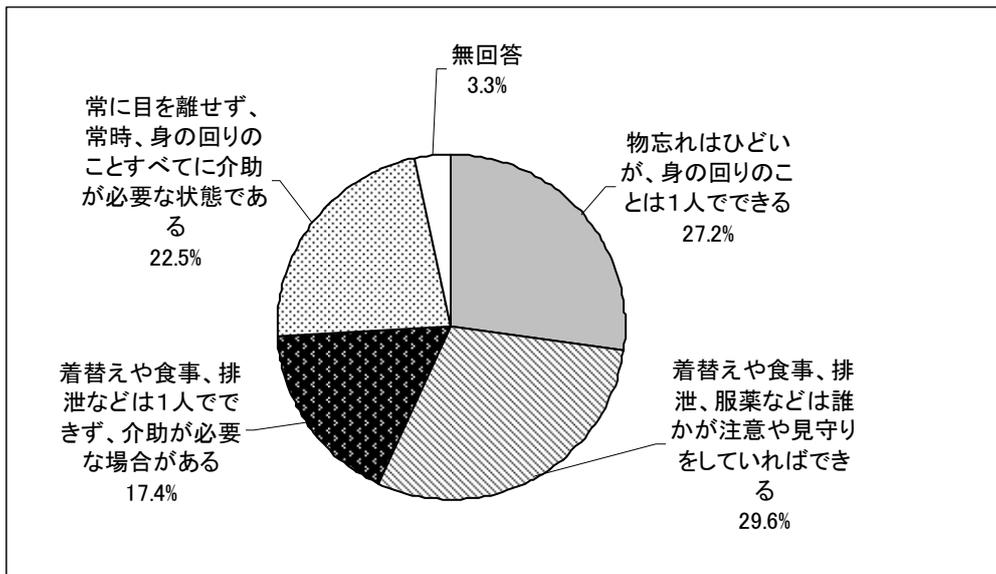
図表 265 高齢者本人の認知症状の有無[N=334]



(15) 認知症の程度について

認知症状がみられる人にその程度についてきいたところ、「着替えや食事、排泄、服薬などは誰かが注意や見守りをしていればできる」の割合が29.6%と最も高く、次いで「物忘れはひどいが、身の回りのことは1人でできる」が27.2%となっています。

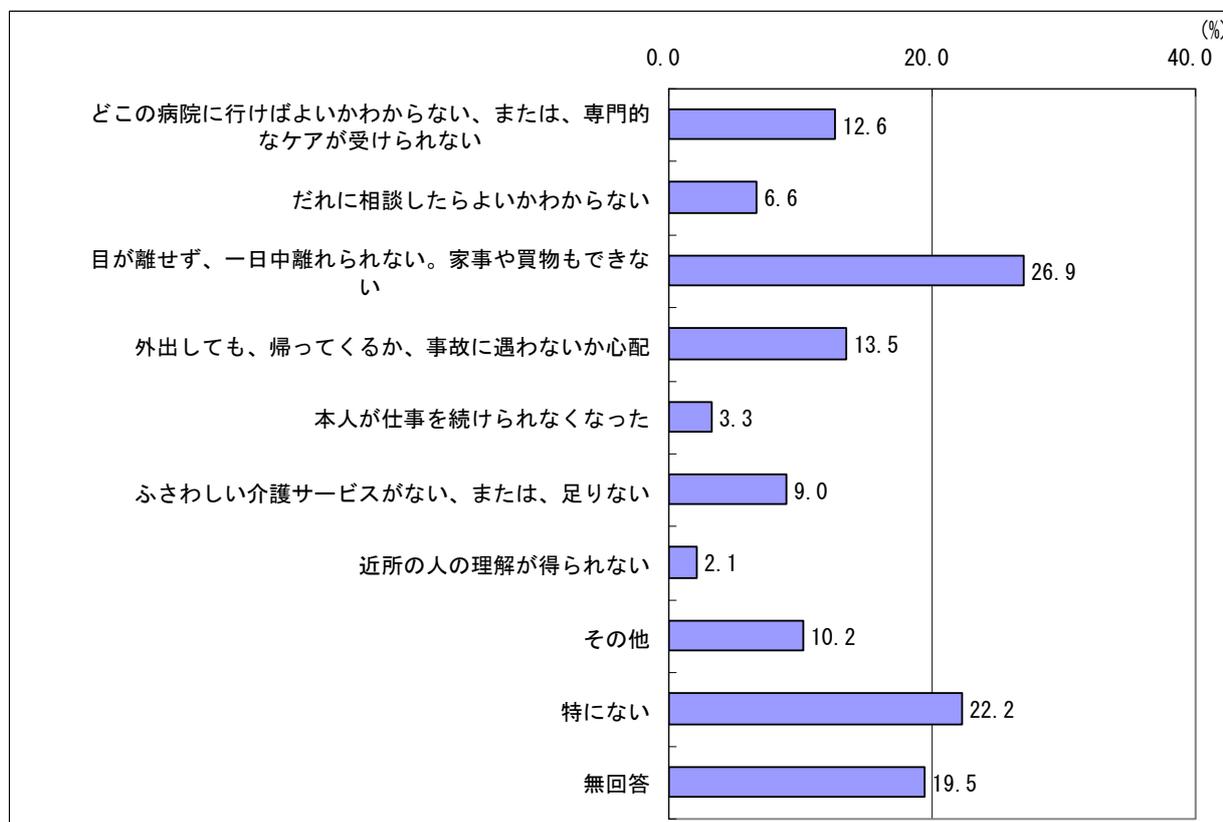
図表 266 認知症の程度について[N=334]



(16) 認知症のある家族の介護で困ったこと

認知症状がみられる人介護で困ったことについてきいたところ、「目が離せず、一日中離れられない。家事や買物もできない」の割合が26.9%と最も高く、次いで「特にない」が22.2%となっています。

図表 267 認知症のある家族の介護で困ったこと [N=334]



(17) 行政がすべき支援

今後行政がすべき支援についてきいたところ、「家族で介護するための方法や助言を相談できる体制を充実する」の割合が 38.5%と最も高く、次いで「介護保険以外の高齢福祉サービスの充実をする」が 30.7%となっています。

図表 268 行政がすべき支援[N=871]

